第 52 回地盤工学研究発表会

52nd Japan National Conference on Geotechnical Engineering

参加者のしおり

2017 年（平成 29 年）7 月　名古屋

日時：　2017 年 7 月 12 日（水）～15 日（土）（15 日は見学会のみ）

会場：　名古屋国際会議場

1. 参加者へのお知らせ …… p.1
2. 会場案内 …… p. 6
3. 研究発表要領 …… p.8
4. 研究発表セッション一覧・プログラム …… p.10
5. ディスカッションセッション（DS） …… p.34
6. 展望 …… p.35
7. 特別セッション（一般開放） …… p.36
8. 特別講演会（一般開放） …… p.41
9. 交流会 …… p.42
10. 技術展示（一般開放） …… p.44
11. 特別会員 PR コーナー（一般開放） …… p.47
12. サロン・土・カフェW（一般開放） …… p.50
13. 見学会（一部一般開放） …… p.51
14. インターネット接続 …… p.53
15. 交通案内 …… p.54

第 52 回地盤工学研究発表会実行委員会 事務局
〒460-0008　名古屋市中区栄二丁目 9 番 26 号 ポーラビル 8 階　公益社団法人地盤工学会中部支部
【事務局】電話／Fax：052-222-3747,　E-mail：jibanchu@jeans.ocn.ne.jp
【大会本部】名古屋国際会議場 2 号館 2 階 211，電話（国際会議場）：052-683-7711 (7/12～14 のみ)
【大会 HP】http://www.knt.co.jp/ec/2017/52jiban/index.html

第52回地盤工学研究発表会（名古屋大会）セッション一覧

会場 \ 日時	7月12日(水)					7月13日(木)					7月14日(金)				
	午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30	午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30	午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30
白鳥ホール (576名) レセプションホール										17:00-18:00 特別講演会(白鳥ホール) 18:30-20:30 交流会(レセプションホール)					
第1 2号館 221 (72名)	6 地盤と構造物 ため池 石原 雅規 土研 0458-0464	6 地盤と構造物 堤防① 澤田 豊 神戸大 0465-0472	6 地盤と構造物 堤防② 藤澤 和謙 京大 0473-0479	6 地盤と構造物 堤防③ 森 啓年 山口大 0480-0487	6 地盤と構造物 堤防④ 高橋 章浩 東工大 0488-0494	6 地盤と構造物 ダム・堤防① 堀越 一輝 東工大 0495-0502	6 地盤と構造物 ダム・堤防② 李 圭太 建設技術研究所 0503-0510	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土① 大竹 雄 新潟大 0511-0517			6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土② 原 隆史 富山大 0518-0525	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土③ 川尻 峻三 北見工大 0526-0533	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土④ 平川 大貴 中央大 0534-0540	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑤ 磯部 公一 北大 0541-0547	
第2 2号館 222 (72名)	6 地盤と構造物 シールド 砂金 伸治 土研 0701-0706	6 地盤と構造物 トンネル① 澤村 康生 京大 0685-0692	6 地盤と構造物 トンネル② 津野 究 鉄道総研 0693-0700	6 地盤と構造物 埋設管① 石井 裕泰 大成建設 0707-0714	6 地盤と構造物 埋設管② 桑野 玲子 東大 0715-0722	6 地盤と構造物 抗土圧構造物 野々山栄人 防衛大 0663-0670	6 地盤と構造物 抗土圧構造物・山留め 堀田 洋之 清水建設 0671-0677	6 地盤と構造物 岸壁・護岸 小竹 望 香川高専 0678-0684	6 地盤と構造物 地盤補強① 荒木 裕行 中央大 0723-0729		6 地盤と構造物 地盤補強② 中島 進 鉄道総研 0730-0736	6 地盤と構造物 地盤補強・改良① 宮本慎太郎 防衛大 0737-0744	6 地盤と構造物 地盤補強・改良② 河村 隆 信州大 0745-0752	6 地盤と構造物 地盤補強・改良③ 中村 努 苫小牧高専 0753-0760	
第3 2号館 223 (72名)	**6 地盤と構造物** 基礎構造物(直接基礎) 渡邉 康司 大林組 0581-0588	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎①) 佐原 守 大林組 0589-0595	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎②) 西岡 英俊 鉄道総研 0596-0603	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎③) 本多 剛 竹中工務店 0604-0611	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎④) 伊藤 和也 東京都市大 0612-0618	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎⑤) 濱田 純次 竹中工務店 0619-0625	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎⑥) 冨澤 幸一 寒地土研 0626-0632	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎⑦) 神田 政幸 鉄道総研 0633-0640	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎⑧) 鈴木比呂子 千葉工大 0641-0648		6 地盤と構造物 グラウンドアンカー① 渡辺 健治 鉄道総研 0649-0655	6 地盤と構造物 グラウンドアンカー② 竹村 次朗 東工大 0656-0662	**6 地盤と構造物** 基礎構造物(基礎一般①) 谷川 友浩 竹中工務店 0565-0572	**6 地盤と構造物** 基礎構造物(基礎一般②) 森 伸一郎 愛媛大 0573-0580	
第4 2号館 224(a) (100名)	7 地盤防災 地震(液状化①) 原 忠 高知大 0782-0789	7 地盤防災 地震(液状化②) 宇野 浩樹 大成建設 0790-0797	7 地盤防災 地震(液状化③) 清田 隆 東大 0798-0805	7 地盤防災 地震(液状化④) 風間 基樹 東北大 0806-0812		DS-9 地盤品質判定士の役割と期待 座長:北詰昌樹(東工大) 副座長:小田部雄二(アサノ大成基礎エンジニアリング) 0010-0026		7 地盤防災 地震(液状化⑤) 中澤 博志 防災科研 0813-0819	7 地盤防災 地震(一般) 河井 正 東北大 0775-0781		7 地盤防災 地震(液状化対策①) 末政 直晃 東京都市大 0820-0827	7 地盤防災 地震(液状化対策②) 小濱 英司 港空研 0828-0835	7 地盤防災 地震(液状化対策③) 上野 一彦 五洋建設 0836-0843	7 地盤防災 地震(液状化対策④) 塚本 良道 東京理科大 0844-0851	
第5 2号館 224(b) (60名)	6 地盤と構造物 路盤・路床 阿部 長門 東亜道路工業 0548-0556	6 地盤と構造物 土構造物(その他) 笠間 清伸 九大 0557-0564	7 地盤防災 地震(地盤震動①) 一井 康二 関西大 0865-0873	7 地盤防災 地震(地盤震動②) 野津 厚 港空研 0874-0881	7 地盤防災 地震(地盤震動③) 片岡 俊一 弘前大 0882-0889	7 地盤防災 斜面防災 他 高柳 剛 鉄道総研 0970-0975	7 地盤防災 波浪・津波 他 高橋 英紀 港空研 0976-0981	7 地盤防災 洗掘・陥没・充填 他 佐藤 真理 島根大 0982-0987			7 地盤防災 地震(斜面安定①) 内村 太郎 埼玉大 0852-0858	7 地盤防災 地震(斜面安定②) 野並 賢 神戸高専 0859-0864	7 地盤防災 斜面動態モニタリング① 深川 良一 立命館大 0917-0923	7 地盤防災 斜面動態モニタリング② 藤本 将光 立命館大 0924-0930	
第6 2号館 231 (72名)	**3 地盤材料** 粘性土(強度・変形①) 金田 一広 竹中工務店 0139-0144	**3 地盤材料** 粘性土(強度・変形②) 杉山 太宏 東海大 0145-0151	**3 地盤材料** 粘性土(強度・変形③) 橘 伸也 神戸大 0152-0157	**3 地盤材料** 粘性土(物理化学的性質) 末次 大輔 佐賀大 0158-0165	**3 地盤材料** 粘性土(動的性質) 京川 裕之 東大 0166-0172	**3 地盤材料** 中間土(強度・変形) 片岡沙都紀 神戸大 0173-0178	**3 地盤材料** 砂質土(強度) 高野 大樹 港空研 0179-0185	**3 地盤材料** 砂質土(変形) 松丸 貴樹 鉄道総研 0186-0193	**3 地盤材料** 砂質土(物理化学的性質・動的性質) 飛田 哲男 関西大 0194-0200		**3 地盤材料** 軟岩・硬岩① 小山 倫史 関西大 0201-0208	**3 地盤材料** 礫質土、軟岩・硬岩② 富樫 陽太 鉄道総研 0209-0215	**3 地盤材料** 不飽和土① 酒匂 一成 鹿児島大 0292-0299	**3 地盤材料** 不飽和土② 渦岡 良介 京大防災研 0300-0307	
第7 2号館 232 (72名)	**3 地盤材料** 改良土・軽量土① 水野 健太 若築建設 0249-0255	**3 地盤材料** 改良土・軽量土② 原 弘行 山口大 0256-0263	**3 地盤材料** 改良土・軽量土③ ハザリカヘマンタ 九大 0264-0271	**3 地盤材料** 改良土・軽量土④ 山田 岳峰 鹿島建設 0272-0278	**3 地盤材料** 改良土・軽量土⑤ 宮下 千花 土研 0279-0284	**3 地盤材料** 改良土・軽量土⑥ 大石 幹太 日建設計シビル 0285-0291	**3 地盤材料** 特殊土① 清原 雄康 八戸高専 0308-0313	**3 地盤材料** 特殊土② 高井 敦史 京大 0314-0321	**3 地盤材料** 特殊土③ 松島 亘志 筑波大 0322-0329		**3 地盤材料** リサイクル材料① 石藏 良平 九大 0216-0223	**3 地盤材料** リサイクル材料② 吉本 憲正 山口大 0224-0227,0229-0232	**3 地盤材料** リサイクル材料③ 藤川 拓朗 福岡大 0228,0233-0240	**3 地盤材料** 補強材・排水材 林 豪人 岡三リビック 0241-0248	
第8 2号館 233 (72名)	8 地盤環境 土壌・地下水汚染① 伊藤圭二郎 鹿島建設 0996-1003	8 地盤環境 土壌・地下水汚染② 乾 徹 京大 1004-1010	8 地盤環境 土壌・地下水汚染③ 中島 誠 国際航業 1011-1017	8 地盤環境 地盤環境調査・試験技術 小澤 一喜 鹿島建設 1018-1023	8 地盤環境 廃棄物処分(放射性物質・その他)① 渡邊 保貴 電中研 1024-1030	8 地盤環境 廃棄物処分(放射性物質・その他)② 成島 誠一 西武建設 1031-1037	8 地盤環境 廃棄物処分(放射性物質・その他)③ 椋木 俊文 熊本大 1038-1045	8 地盤環境 自然環境・生態系 畠 俊郎 富山県立大 1060-1067			8 地盤環境 リサイクル材 稲積 真哉 芝浦工大 1068-1073	8 地盤環境 地下水流動・改良土・災害廃棄物 他 大野 博之 環境地質 1074-1079	8 地盤環境 廃棄物処分(一般) 日笠山徹巳 大林組 1046-1052	8 地盤環境 廃棄物処分(管理型・中間貯蔵) 西田 憲司 大林組 1053-1059	
第9 2号館 234(a) (100名)	7 地盤防災 豪雨(斜面安定①) 小泉 圭吾 大阪大 0890-0896	7 地盤防災 豪雨(斜面安定②) 石澤 友浩 防災科研 0897-0903	7 地盤防災 豪雨(斜面安定③) 平岡 伸隆 安衛研 0904-0910	7 地盤防災 豪雨(斜面安定④) 里見 知昭 東北大 0911-0916	7 地盤防災 豪雨(その他) 酒井 直樹 防災科研 0943-0949	4 地盤挙動 地盤改良① 佐藤 研一 福岡大 0330-0336	4 地盤挙動 地盤改良② 西村 聡 北大 0337-0343	4 地盤挙動 地盤改良③ 田中 洋輔 東亜建設工業 0344-0350			4 地盤挙動 地盤改良④ 浅香 美治 清水建設 0351-0357	4 地盤挙動 地盤改良⑤ 足立 雅樹 みらい建設工業 0358-0364	4 地盤挙動 凍結・凍土 小野 丘 北海学園大 0365-0371		
第10 2号館 234(b) (60名)	2 調査・分類 ボーリング・サンプリング 藤原 照幸 地域地盤 0109-0115	2 調査・分類 地下水調査 中嶌 誠門 鹿島建設 0101-0108	特別セッション 地盤工学会におけるダイバーシティの実現 座長:田中真弓(鹿島建設)	DS-5 交通地盤工学における設計・評価・維持管理のイノベーション 座長:石川達也(北大) 副座長:桃谷尚嗣(鉄道総研) 0453-0457	DS-1 地下水面より上の地盤の現場飽和透水性評価 座長:西垣誠(岡山大) 副座長:杉井俊夫、細谷真一(中部大学、ダイヤコンサルタント) 0001	DS-3 遺産の地盤災害からの保全 座長:岩崎好規(地域地盤環境研究所) 副座長:三村衛(京大) 0047-0054		2 調査・分類 物理探査 他 榊原 淳一 JFEシビル 0093-0100	2 調査・分類 サウンディング・物理探査① 北田奈緒子 地域地盤 0077-0084		2 調査・分類 サウンディング・物理探査② 森 友宏 前橋工科大 0085-0092	2 調査・分類 サウンディング② 山田 卓 大阪市大 0063-0069	2 調査・分類 サウンディング③ 田中 剛 東京都市大 0070-0076		
第11 1号館 131/132 (120名)	5 地盤中の物質移動 移流拡散・地下水移動 日比 義彦 名城大 0418-0424	5 地盤中の物質移動 浸透① 所 哲也 苫小牧高専 0425-0430	5 地盤中の物質移動 浸透② 川口 貴之 北見工大 0431-0438	5 地盤中の物質移動 浸透③ 木元小百合 京大 0439-0445	5 地盤中の物質移動 浸透④ 井上 一哉 神戸大 0446-0452	特別セッション 平成28年度道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会 司会:宮田喜壽(防衛大)	特別セッション 平成28年度地盤工学会賞受賞者講演会 司会:大谷順(熊本大)	特別セッション 平成28年8月北海道豪雨災害調査報告会 座長:石川達也(北大)	展望 テーマ:河川堤防 講演者:岡村未対(愛媛大)		1 一般 規格・基準 三上 武子 前田建設工業 0034-0040	1 一般 基準・その他 木幡 行宏 室蘭工大 0041-0046	4 地盤挙動 現地計測 川村 志麻 室蘭工大 0372-0378		
第12 1号館 133/134 (120名)	2 調査・分類 地形・地質 村上 哲 福岡大 0123-0130	DS-2 室内土質試験へのISO規格の導入とJIS改訂作業の進捗状況 座長:豊田浩史(長岡技科大) 副座長:仙頭紀明(日大) 0002-0009	2 調査・分類 地盤情報データベース 大井 昌弘 防災科研 0131-0138	DS-4 地盤情報データベースの整備とその利活用 座長:三村衛(京大) 副座長:北田奈緒子(地域地盤環境研究所) 0055-0056		特別セッション 原子力発電所廃止措置のための地盤工学(廃炉地盤工学)の創出と人材育成 座長:東畑郁生(関東学院大) 副座長:小峯秀雄(早大)	DS-7 エネルギーに基づく液状化予測の可能性 座長:國生剛治(中央大) 副座長:風間基樹(東北大) 0761-0768	DS-6 新しい地盤環境管理と基準に向けた取組 座長:肴倉宏史(国環研) 副座長:乾徹(京大) 0988-0995			DS-8 南海トラフ巨大地震による地盤災害に備えて 座長:三村衛(京大) 副座長:野田利弘(名大) 0769-0774		2 調査・分類 ボーリング・サウンディング・リスクマネジメント・地下水調査 渡部 要一 北大 0116-0118,0120-0122		
第13 1号館 135 (48名)	4 地盤挙動 圧密・沈下① 小島 謙一 鉄道総研 0379-0386	4 地盤挙動 圧密・沈下② 早野 公敏 横国大 0387-0394	4 地盤挙動 圧密・沈下③ 大向 直樹 応用地質 0395-0401	4 地盤挙動 締固め 佐野 良久 NEXCO総研 0402-0410	4 地盤挙動 切土・掘削 張 鋒 名工大 0411-0417	7 地盤防災 豪雨(土石流①) 中瀬 仁 東電設計 0931-0935	7 地盤防災 豪雨(土石流②) 若井 明彦 群馬大 0936-0937,0939-0942	1 一般 設計法・教育 他 谷 和夫 東京海洋大 0027-0033	2 調査・分類 サウンディング① 神宮司元治 産総研 0057-0062		7 地盤防災 地すべり・落石① 荒木 功平 山梨大 0950-0956	7 地盤防災 地すべり・落石② 石丸 真 電中研 0957-0962	7 地盤防災 地すべり・落石③ 沢田 和秀 岐阜大 0963-0969		
イベントホール	**技術展示**					**技術展示**					**技術展示**				
2号館 212 (108名)								地盤品質判定士会 市民向け講演会(会員も参加可) ～住宅地盤に潜むリスクに関する講演会～							

◎ 特別講演会　7月13日(木) 17:00-18:00 会場 名古屋国際会議場4号館1F白鳥ホール
◎ 交流会　7月13日(木) 18:30-20:30 会場 名古屋国際会議場3号館4Fレセプションホール
◎ 技術展示コーナー　7月12日(水)～7月14日(金) 会場 名古屋国際会議場1号館1Fイベントホール
◎ 見学会　7月15日(土)
◎ 市民向け講演会　7月13日(木) 13:20-16:40 会場 名古屋国際会議場2号館1F212
◎ サロン・土・カフェW　7月12日(水) 15:10-16:40 会場 名古屋国際会議場2号館3Fロビー

1. 参加者へのお知らせ

発表申込みまたは事前参加申込み（5 月末日まで）がお済みでない方は、「総合受付」（国際会議場 1 号館 1 階☞ pp. 6）で、当日参加申込みの手続きをしてください。その際、下表に示す参加料のお支払いをお願いします。

総合受付は、7 月 12 日（水）から 3 日の間、8 時 15 分から業務を開始します（業務終了は各日とも最終セッション終了時)。

発表者以外の参加料（DVD 版講演集含む）

	会員		非会員	
	正・国際会員	学生会員	一般	学生
大会期間中の参加申込み	13,000 円	7,000 円	18,000 円	10,000 円
参考：事前申込み（5 月末日まで）	10,000 円	4,000 円	15,000 円	8,000 円

※ 特別会員特典につきましては、総合受付にてお問合せください。

本研究発表会のお世話をします係員は「STAFF」と入ったネームプレートをつけていますので、不明な点はお尋ねください。「参加者のしおり」は総合受付で配布します。

各行事の参加受付に関するご案内

- **参加者全員**

  会場内では必ず参加票（名札）をお付けください。ただし、一般開放行事（☞ 本しおり表紙を参照）は参加申込み不要で、無料で自由に入場できます。

- **座長・副座長**

  担当するセッションの開始 10 分前までに、各セッション会場の係員に会場到着の旨をお伝えください。

- **口頭発表者**

  発表セッションの 10 分前までにご自身の発表される会場に入室してください。セッション開始前に、セッション会場内の発表用パソコンに発表用ファイルをコピーし、各自で動作確認をしてください（本大会ではセッション会場の外に発表受付および受付用パソコンは設置いたしませんので、発表者は発表用パソコンにデータを直接コピーしてください)。詳細は**「3. 研究発表要領」**（☞ pp. 8-9）をご覧ください。

- **交流会参加者**

  事前申込み（6 月 9 日まで）をされている方は，事前に交流会参加票と領収書をお送りしております。

  事前申込みをされていない方は、交流会参加受付にて参加のお申込みを受付けております。交流会参加証と領収書をお渡ししますので、会費（一般 7,000 円，学生 3,000 円）を現金にて

お支払い願います。

交流会会場にご入場の際は交流会参加証をネームホルダーに入れて入口係員にご提示ください。

ただし、定員に達した場合は、当日のお申し込みをお断りすることがあります。

交流会に関する詳細は**「9. 交流会」**（☞ pp. 42-43）をご覧ください。

- **見学会参加者**

市民向け見学会（会員も参加可）に事前申込み（6 月 16 日まで）をされている方は、見学会当日の集合時刻・場所などの詳細案内について**「13. 見学会」**（☞ pp. 51-52）をご覧ください。

会員用見学会に事前申込み（5 月 26 日まで）をされている方は、見学会当日に所定の集合時刻・場所にお集まりください。

各行事のご案内

- **研究発表**

セッション一覧ならびに研究発表プログラムは**「4. 研究発表一覧・プログラム」**（☞ pp. 10-33）にございます。各発表会場の場所は、**「2. 会場案内」**（☞ pp. 6-7）をご参照ください。研究発表要領については、**「3. 研究発表要領」**（☞ pp. 8-9）をご覧ください。

- **ディスカッションセッション（DS）**

全 9 テーマのディスカッションセッション (DS) を開催します。テーマ一覧・日時・場所等については、**「5. ディスカッションセッション」**（☞ pp. 34-35）をご覧ください。

- **特別セッション（一般開放）**

次の 5 セッションを開催します。詳細は「7.特別セッション」（☞ pp. 36-40）をご覧ください。

○ 7 月 12 日（水）13:20 ~ 14:50，第 10 会場
「地盤工学会におけるダイバーシティの実現」

○ 7 月 13 日（木）9:00 ~ 10:30，第 12 会場
「原子力発電所廃止措置のための地盤工学（廃炉地盤工学）の創出と人材育成」

○ 7 月 13 日（木）9:00 ~ 10:30，第 11 会場
「平成 28 年度道路保全地盤技術向上に資する調査・研究成果報告」

○ 7 月 13 日（木）10:50 ~ 12:20，第 11 会場
「平成 28 年度地盤工学会賞受賞者講演会」

○ 7 月 13 日（木）13:20 ~ 14:50，第 11 会場
「平成 28 年 8 月北海道豪雨災害調査報告会」

- **展望講演**

  7 月 13 日（木）15:10～16:40、第 11 会場において、展望講演を行います。詳細は**「6. 展望」**（☞ p. 35）をご覧ください。

- **特別講演会（一般開放）**

  7 月 13 日（木）17:00～18:00、白鳥ホールにおいて、特別講演会を行います。事前申込みは不要、参加無料です。詳細は**「8. 特別講演会」**（☞ p. 41）をご覧ください。

- **交流会**

  7 月 13 日（木）18:30～20:30（17:00 受付開始）に、レセプションホールにおいて、地盤技術者や研究者の懇親を目的とした交流会を開催します。お誘い合わせの上、ご参加ください。事前申込みされていない方でも、大会初日または交流会当日に参加お申し込み頂けます（ただし、定員に達した場合はお断りすることがあります）。詳細は**「9. 交流会」**（☞ pp. 42-43）をご覧ください。

- **技術展示（一般開放）**

  イベントホールでは、新しい施工法、材料、調査法、試験法、設計法、解析法や防災、環境保全に関して、72 団体による技術展示を行っております。同会場内には、G-CPD 登録機、特別会員 PR コーナー、和菓子フェアコーナー、地震体験車も併設してあります。無料ドリンクコーナーや休憩・商談スペースも設置してありますので、ちょっとした打ち合せや休息、昼食の場としてもご利用いただけます。また、市民向け行事の一環として、技術展示会場内で、地盤品質判定士による住宅地盤相談会を実施いたします。

  7 月 12 日（水）の夕刻には、技術展示会場内で、歓迎行事（ウェルカムイベント）も実施いたしますので、ふるってご参加ください。展示技術一覧などの詳細については、**「10. 技術展示」**（☞ p. 44-46）および別冊**「技術展示のしおり」**をご覧ください。

- **特別会員 PR コーナー（一般開放）**

  イベントホール内に、地盤工学会特別会員の紹介パンフレット・資料を展示する「特別会員 PR コーナー」を設置しております。詳細は**「11. 特別会員 PR コーナー」**（☞ pp. 47-49）をご覧ください。

- **サロン・土・カフェ W（一般開放）**

  7 月 12 日（水）15:10～16:40、2 号館 3 階ロビーにおいて、地盤工学における男女共同参画・ダイバーシティに関する懇親会を開催します。場所・参加費用などの詳細は**「12. サロン・土・カフェ W」**（☞ p. 50）をご覧ください。

- **見学会（一部一般開放）**

  7 月 15 日（土）に、会員用見学会と市民向け見学会（会員も参加可）を開催します。両見学会とも事前申し込み制です。市民向け見学会の集合時刻・場所、見学会行程などの詳細案

内は「13. 見学会」（☞ pp. 51-52）をご覧ください。なお、会員用見学会についての詳細はメールニュースにて配信されております。

- **市民向け行事（一般開放）**

  市民向け行事（会員も参加可）として、以下のイベントを開催致します。

【地盤品質判定士による住宅地盤相談会】

開催日時： 7 月 12 日（水）～14 日（金） 9：00～16：00

開催場所：名古屋国際会議場 1 号館 1 階 イベントホール内

【住宅地盤に潜むリスクに関する講演会】

開催日時： 7 月 13 日（木） 13:20～16:40

開催場所：名古屋国際会議場 2 号館 1 階 212 号室

その他にも、本しおりの表紙に「一般開放」と記された行事は参加登録を行っていない方々にも無料で開放しております。

市民向け行事に関する詳細は、大会 HP もしくは市民向け行事用チラシをご参照ください。

- **起震車による揺れの体験（一般開放）**

名古屋市消防局のご協力により、揺れの体験ができます。
イベントホールにご来場ください。

その他のご案内

- **書籍紹介**

学会刊行物の書籍紹介コーナーを「総合受付」付近に設けております。

- G-CPD 登録

G-CPD ポイントは、研究発表会の各日、特別講演会および見学会にそれぞれに対し、それぞれ以下のように設定しております。

研究発表会： 1 日目 7.5, 2 日目 6.0 , 3 日目 6.0
特別講演会：1.0
会員用見学会：3.0
市民向け見学会：5.0
住宅地盤に潜むリスクに関する講演会：3.0 (ただし、研究発表会 2 日目でポイントを得ている場合は除く)

研究発表会分については、カードリーダーにて登録が可能です。カードリーダーは、「総合受付」付近、及び技術展示コーナーに設置しておりますのでご利用ください。その他の企画については、当日の会場の案内に従ってください。

- **昼食**

【弁当販売】　事前予約制にてお弁当を販売いたします。詳しくは大会ホームページをご覧ください。

【館内の飲食店】　１号館７階の展望レストラン「パステル」（120 席）、３号館地下１階のカフェテリア「カスケード」（250 席）、２号館２階の喫茶「ユリ」（100 席）があります。

【周辺の飲食店】　名古屋国際会議場のホームページ上に情報が出ておりますので、参考にしてください。（☞ http://www.nagoya-congress-center.jp/syuhen/shop.html ）

- **ドリンクコーナー，休憩スペース**

技術展示コーナーにおいて無料ドリンクサービスを行っております。休憩スペースも併設しており、打ち合せや休息・昼食の場としてもご利用いただけます。

- **名古屋市の「名水」の配布**

名古屋市上下水道局より「名水」をご提供頂いております。総合受付において受付時に配布いたします。また、技術展示会場でも配布しますので、是非お試しください。

- **インターネット接続**

会場内の所定の場所で、無線 LAN によるインターネットの利用が可能です。詳細は**「14. インターネット接続」**（☞ p. 53）をご覧ください。

- **一時保育**

託児所のご利用は、大会ホームページでの事前申込み制となっております。ご利用は事前にお申し込みいただいた方のみとさせて頂きますのでご了承ください。

- **会場内のご案内**

会場内でご不明な点がございましたら、最寄りの係員、または総合受付にお尋ねください。本研究発表会のお世話をします係員は「STAFF」と入ったネームプレートをつけています。

- **喫煙コーナー**

館内は全て禁煙となっております。喫煙は必ず屋外の喫煙コーナーにてお願いします。喫煙コーナーの場所は国際会議場のホームページにてご確認ください。

（☞ http://www.nagoya-congress-center.jp/img/map.pdf ）

喫煙所

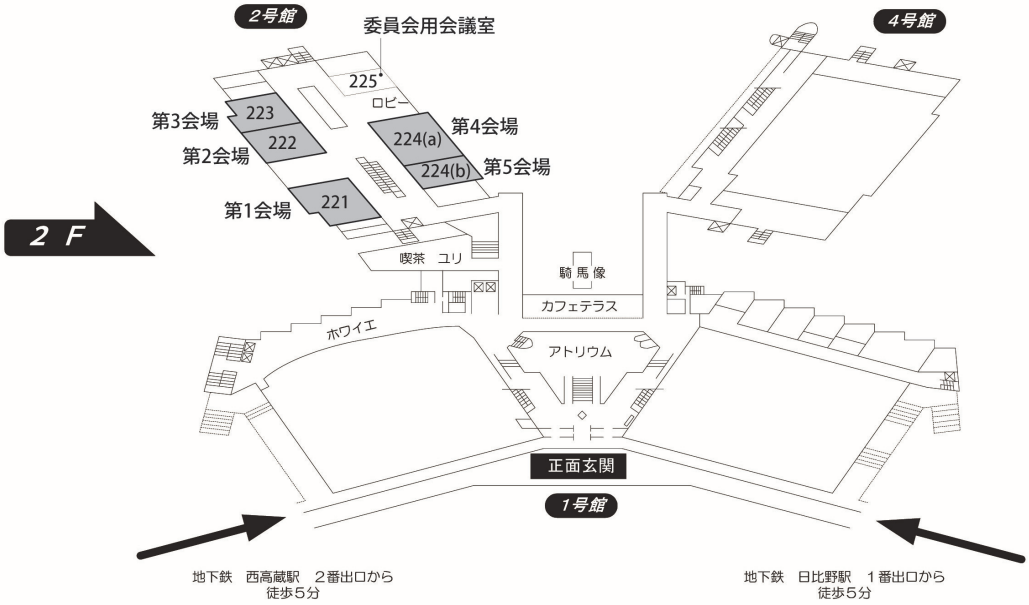
- **大会期間中の連絡先**

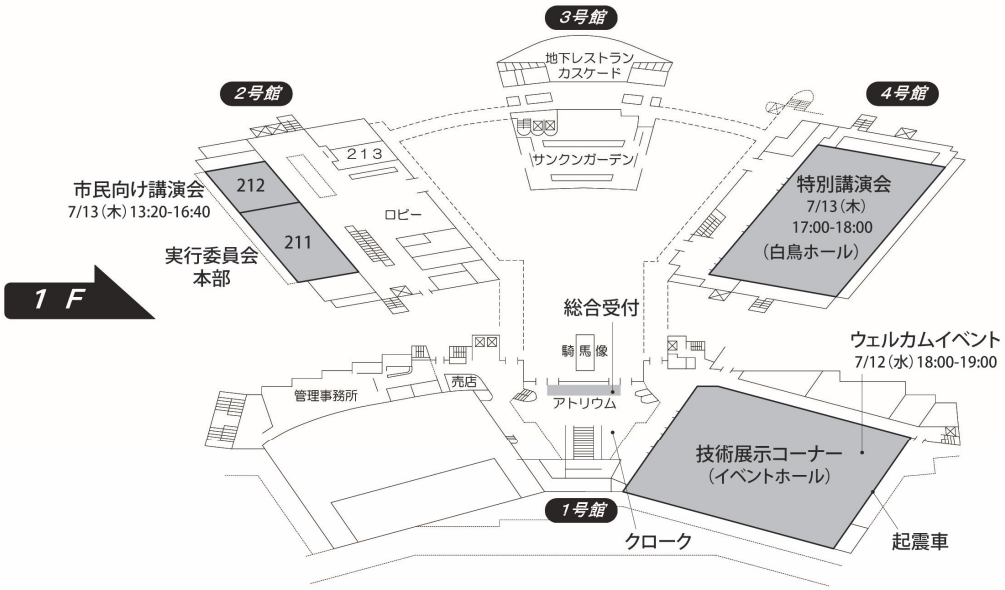
大会期間中の万一の事故などの際の緊急時連絡は、最寄りの係員にお申し出いただくか、総合受付または大会本部へご連絡ください（7 月 12 日（水）～14 日（金））。

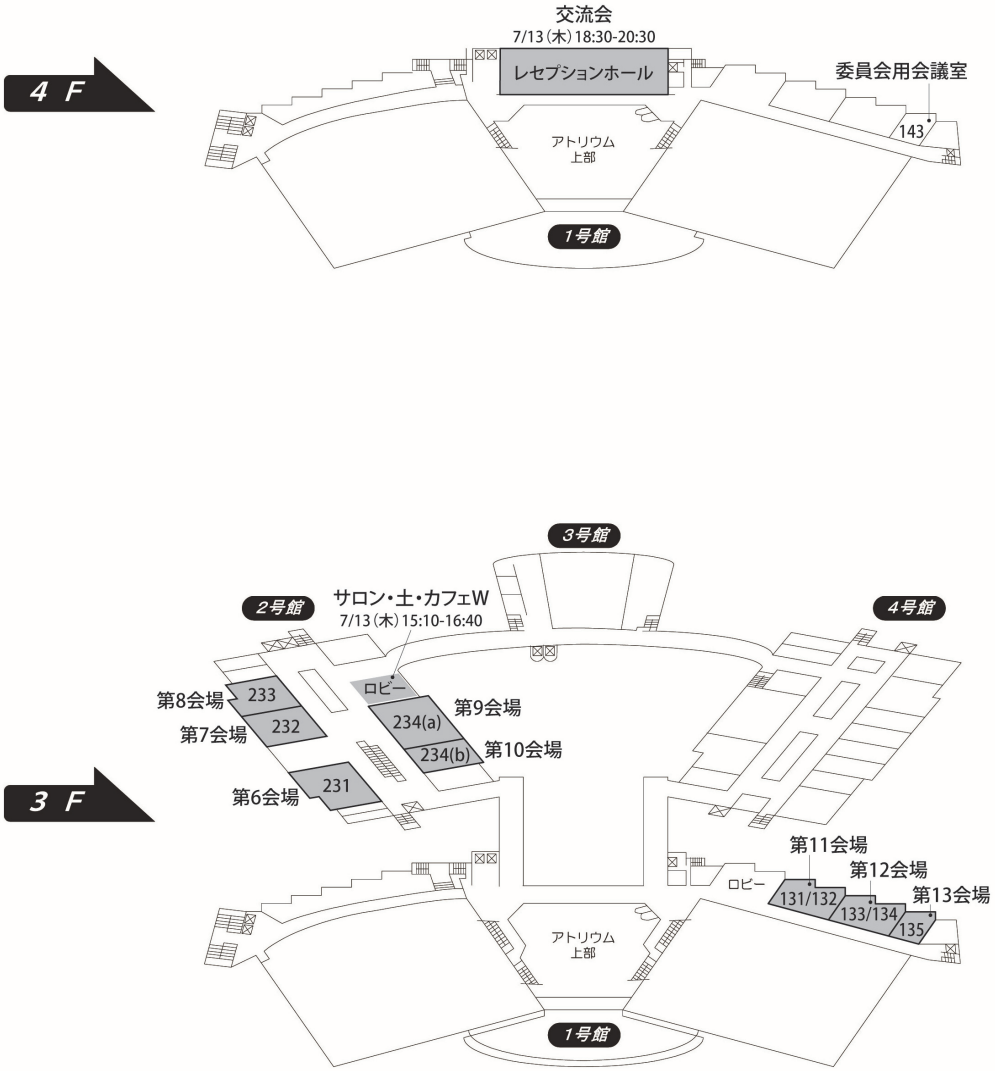
2. 会場案内

会場配置図を以下に示します。各会場への交通アクセスは、**「15. 交通案内」**をご参照ください。

名古屋国際会議場　〒456-0036　名古屋市熱田区熱田西町１番１号　ＴＥＬ：052-683-7711






4 F
交流会
7/13（木）18:30-20:30
レセプションホール
委員会用会議室
143
アトリウム
上部
1号館
3号館
2号館
サロン・土・カフェW
7/13（木）15:10-16:40
4号館
ロビー
第8会場
233
第7会場
232
第9会場
234(a)
234(b)
第10会場
第6会場
231
3 F
第11会場
第12会場
第13会場
ロビー
131/132
133/134
135
アトリウム
上部
1号館

3. 研究発表要領

発表用ファイルの作成

- 発表形式はパソコンを用いたプロジェクタ方式です。OHP やスライドは使用できませんのでご注意ください。発表にあたっては、会場に備え付けの発表用ノートパソコンを使用することを原則とします。なお、パソコンの操作は講演者自身で行ってください。
- 発表用ファイル作成においては、Windows の標準フォント（MS ゴシックや MS 明朝等）をご利用ください。それ以外のフォントをご使用の場合は、正しく表示されない場合があります。
- 発表用パソコンの基本仕様は以下のとおりです。

  OS　　：Windows7 Professional SP1 32bit

  アプリケーション　：Microsoft PowerPoint 2013，Adobe Acrobat Reader DC，QuickTime Player，Windows Media Player，VLC media player

  ※フォント等については発表者の環境と異なる可能性もあります
- 発表用ファイル名は論文番号、アンダーバー、発表者名を用いて以下のように付けてください。

  例）　論文番号 121　発表者名が地盤太郎の場合 → 「0121_地盤太郎.pptx」
- 発表者は、発表用ファイルを記憶メディア（主として USB メモリ）に保存し、自分が発表するセッション会場にご持参ください。
- SD カード、CD-R、DVD-R などの媒体の場合は別途ドライブを講演者自身でご準備ください。なお、動作保証はいたしかねます。

発表ファイルのコピー，動作確認

- 発表セッションの 10 分前までにご自身の発表される会場に入室してください。
- セッション開始前に、セッション会場内の発表用パソコンに発表用ファイルをコピーし、ファイル名を「論文番号（4 ケタ）_発表者氏名」に変更してください（本大会ではセッション会場の外に発表受付および受付用パソコンを設置いたしませんので、発表者は発表用パソコンにデータを直接コピーしてください。）
- 発表時のトラブルを回避するために、発表者は発表用パソコンにデータをコピー後、正常に表示・動作するかを必ず確認してください。
- 各日とも 8 時 30 分からファイルをコピーできるようにします。早目のコピーを推奨しますが、混雑が生じている場合は、直近のセッションでの発表者を優先します。午前中の混雑を避けるため、午後のセッションの発表者はなるべく昼休憩中にコピーするようお願いします。
- 発表用パソコンでの動画再生は、リンク設定を含めて動作保証は致しかねます。動画ファイルを使用される場合は、必ず動作確認をしてください。会場のパソコンで動画が上手く動作しない場合は、発表者自身でパソコンをご用意いただき、それを用いて発表してください。後者の場合、モニタケーブルの差し替えも含めて発表時間内にお済ませください。

  ※モニタケーブルは D-Sub15 ピン（ミニ）ケーブルです
- USB メモリ等経由のウイルス感染がないよう、主催者側でもウイルス対策を行っておりますが、発表者各位におかれましても十分注意をお願いします。

・ 発表会終了後に、発表用ファイルは主催者側で責任を持って削除します。

セッションの進行方法，発表時間

・ 一般発表での発表時間は 1 編あたり 7 分を基本とします。報告数の多いセッション、少ないセッションや、特別セッション、ディスカッションセッションについては、発表時間および討論の形式は座長に一任しています。
・ 発表者は会場の前方にご着席ください。
・ 発表はプログラム記載の順序で行い、割り当ての時間よりも早く終わったり、発表者が遅刻したりしても、発表時間は変更しません。また、パソコン操作や接続切り替え等に要する時間も発表時間に含まれます。
・ 発表中のベル合図は、発表 6 分経過後（1 鈴）と 7 分経過後（2 鈴）に行います。2 鈴が鳴ったら、直ちに発表を終了してください。
・ 主催者側では、発表中のパソコン操作の補助者は用意しておりません。発表者各自でパソコン操作を行ってください。なお、発表者用にレーザーポインターを用意しております。

優秀論文・講演賞

・ 申込み時に 35 才以下の若手研究者奨励のため、優秀論文・講演賞を設けています。選出は各セッション座長の推薦に基づき、表彰者には賞状を授与するとともに、地盤工学会誌に受賞者氏名を掲載します。
・ 実りのある議論を期待するため、優秀論文・講演賞に関する評価対象は、

① 論文と発表内容，発表方法
② 各質疑における初回の回答

のみとし、その後の共同研究者からの補足や議論については、評価対象とはいたしません。これは、評価を気にされて、補足説明がないまま無難な討議に終始したり、質問者も受賞対象者に遠慮されて、議論が未消化のまま終わってしまったりすることがある、といったご意見を受け変更したものです。連名者も含め、セッション参加者全員での自由闊達な討議をお願いいたします。

4. 研究発表セッション一覧・プログラム

7月12日（水）

日時 / 会場		7月12日（水）				
		午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30
白鳥ホール（576名）レセプションホール						
第1	2号館 221 (72名)	6 地盤と構造物 ため池 石原 雅規 土研 0458-0464	6 地盤と構造物 堤防① 澤田 豊 神戸大 0465-0472	6 地盤と構造物 堤防② 藤澤 和謙 京大 0473-0479	6 地盤と構造物 堤防③ 森 啓年 山口大 0480-0487	6 地盤と構造物 堤防④ 高橋 章浩 東工大 0488-0494
第2	2号館 222 (72名)	6 地盤と構造物 シールド 砂金 伸治 土研 0701-0706	6 地盤と構造物 トンネル① 澤村 康生 京大 0685-0692	6 地盤と構造物 トンネル② 津野 究 鉄道総研 0693-0700	6 地盤と構造物 埋設管① 石井 裕泰 大成建設 0707-0714	6 地盤と構造物 埋設管② 桑野 玲子 東大 0715-0722
第3	2号館 223 (72名)	6 地盤と構造物 基礎構造物(直接基礎) 渡邉 康司 大林組 0581-0588	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎①) 佐原 守 大林組 0589-0595	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎②) 西岡 英俊 鉄道総研 0596-0603	6 地盤と構造物 基礎構造物(杭基礎③) 本多 剛 竹中工務店 0604-0611	 基礎構造物(杭基礎④) 伊藤 和也 東京都市大 0612-0618
第4	2号館 224(a) (100名)	7 地盤防災 地震(液状化①) 原 忠 高知大 0782-0789	7 地盤防災 地震(液状化②) 宇野 浩樹 大成建設 0790-0797	7 地盤防災 地震(液状化③) 清田 隆 東大 0798-0805	7 地盤防災 地震(液状化④) 風間 基樹 東北大 0806-0812	
第5	2号館 224(b) (60名)	6 地盤と構造物 路盤・路床 阿部 長門 東亜道路工業 0548-0556	6 地盤と構造物 土構造物(その他) 笠間 清伸 九大 0557-0564	7 地盤防災 地震(地盤震動①) 一井 康二 関西大 0865-0873	7 地盤防災 地震(地盤震動②) 野津 厚 港空研 0874-0881	7 地盤防災 地震(地盤震動③) 片岡 俊一 弘前大 0882-0889
第6	2号館 231 (72名)	3 地盤材料 粘性土(強度・変形①) 金田 一広 竹中工務店 0139-0144	3 地盤材料 粘性土(強度・変形②) 杉山 太宏 東海大 0145-0151	3 地盤材料 粘性土(強度・変形③) 橘 伸也 神戸大 0152-0157	3 地盤材料 粘性土(物理化学的性質) 末次 大輔 佐賀大 0158-0165	3 地盤材料 粘性土(動的性質) 京川 裕之 東大 0166-0172
第7	2号館 232 (72名)	3 地盤材料 改良土・軽量土① 水野 健太 若築建設 0249-0255	3 地盤材料 改良土・軽量土② 原 弘行 山口大 0256-0263	3 地盤材料 改良土・軽量土③ ハザリカヘマンタ 九大 0264-0271	3 地盤材料 改良土・軽量土④ 山田 岳峰 鹿島建設 0272-0278	3 地盤材料 改良土・軽量土⑤ 宮下 千花 土研 0279-0284
第8	2号館 233 (72名)	8 地盤環境 土壌・地下水汚染① 伊藤圭二郎 鹿島建設 0996-1003	8 地盤環境 土壌・地下水汚染② 乾 徹 京大 1004-1010	8 地盤環境 土壌・地下水汚染③ 中島 誠 国際航業 1011-1017	8 地盤環境 地盤環境調査・試験技術 小澤 一喜 鹿島建設 1018-1023	8 地盤環境 廃棄物処分(放射性物質・その他)① 渡邊 保貴 電中研 1024-1030
第9	2号館 234(a) (100名)	7 地盤防災 豪雨(斜面安定①) 小泉 圭吾 大阪大 0890-0896	7 地盤防災 豪雨(斜面安定②) 石澤 友浩 防災科研 0897-0903	7 地盤防災 豪雨(斜面安定③) 平岡 伸隆 安衛研 0904-0910	7 地盤防災 豪雨(斜面安定④) 里見 知昭 東北大 0911-0916	7 地盤防災 豪雨(その他) 酒井 直樹 防災科研 0943-0949
第10	2号館 234(b) (60名)	2 調査・分類 ボーリング・サンプリング 藤原 照幸 地域地盤 0109-0115	2 調査・分類 地下水調査 中嶌 誠門 鹿島建設 0101-0108	特別セッション 地盤工学会におけるダイバーシティの実現 座長：田中真弓(鹿島建設)	DS-5 交通地盤工学における設計・評価・維持管理のイノベーション 座長：石川達也(北大) 副座長：桃谷尚嗣(鉄道総研) 0453-0457	DS-1 地下水面より上の地盤の現場飽和透水性評価 座長：西垣誠(岡山大) 副座長：杉井俊夫、細谷真一(中部大学、ダイヤコンサルタント) 0001
第11	1号館 131/132 (120名)	5 地盤中の物質移動 移流拡散・地下水移動 日比 義彦 名城大 0418-0424	5 地盤中の物質移動 浸透① 所 哲也 苫小牧高専 0425-0430	5 地盤中の物質移動 浸透② 川口 貴之 北見工大 0431-0438	5 地盤中の物質移動 浸透③ 木元小百合 京大 0439-0445	5 地盤中の物質移動 浸透④ 井上 一哉 神戸大 0446-0452
第12	1号館 133/134 (120名)	2 調査・分類 地形・地質 村上 哲 福岡大 0123-0130	DS-2 室内土質試験へのISO規格の導入とJIS改訂作業の進捗状況 座長：豊田浩史(長岡技科大) 副座長：仙頭紀明(日大) 0002-0009	2 調査・分類 地盤情報データベース 大井 昌弘 防災科研 0131-0138	DS-4 地盤情報データベースの整備とその利活用 座長：三村衛(京大) 副座長：北田奈緒子(地域地盤環境研究所) 0055-0056	
第13	1号館 135 (48名)	4 地盤挙動 圧密・沈下① 小島 謙一 鉄道総研 0379-0386	4 地盤挙動 圧密・沈下② 早野 公敏 横国大 0387-0394	4 地盤挙動 圧密・沈下③ 大向 直樹 応用地質 0395-0401	4 地盤挙動 締固め 佐野 良久 NEXCO総研 0402-0410	4 地盤挙動 切土・掘削 張 鋒 名工大 0411-0417
イベントホール		技術展示				
2号館 212 (108名)						

7月13日（木）

日時 / 会場		7月13日（木）				
		午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30
白鳥ホール（576名）レセプションホール						17:00-18:00 特別講演会（白鳥ホール） 18:30-20:30 交流会（レセプションホール）
第1	2号館 221 (72名)	6 地盤と構造物 ダム・堤防① 堀越 一輝 東工大 0495-0502	6 地盤と構造物 ダム・堤防② 李 圭太 建設技術研究所 0503-0510	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土① 大竹 雄 新潟大 0511-0517		
第2	2号館 222 (72名)	6 地盤と構造物 抗土圧構造物 野々山栄人 防衛大 0663-0670	6 地盤と構造物 抗土圧構造物・山留め 堀田 洋之 清水建設 0671-0677	6 地盤と構造物 岸壁・護岸 小竹 望 香川高専 0678-0684	6 地盤と構造物 地盤補強① 荒木 裕行 中央大 0723-0729	
第3	2号館 223 (72名)	6 地盤と構造物 基礎構造物（杭基礎⑤） 濱田 純次 竹中工務店 0619-0625	6 地盤と構造物 基礎構造物（杭基礎⑥） 冨澤 幸一 寒地土研 0626-0632	6 地盤と構造物 基礎構造物（杭基礎⑦） 神田 政幸 鉄道総研 0633-0640	6 地盤と構造物 基礎構造物（杭基礎⑧） 鈴木比呂子 千葉工大 0641-0648	
第4	2号館 224(a) (100名)	DS-9 地盤品質判定士の役割と期待 座長：北詰昌樹（東工大） 副座長：小田部雄二（アサノ大成基礎エンジニアリング） 0010-0026		7 地盤防災 地震（液状化⑤） 中澤 博志 防災科研 0813-0819	7 地盤防災 地震（一般） 河井 正 東北大 0775-0781	
第5	2号館 224(b) (60名)	7 地盤防災 斜面防災 他 高柳 剛 鉄道総研 0970-0975	7 地盤防災 波浪・津波 他 高橋 英紀 港空研 0976-0981	7 地盤防災 洗掘・陥没・充填 他 佐藤 真理 島根大 0982-0987		
第6	2号館 231 (72名)	3 地盤材料 中間土（強度・変形） 片岡沙都紀 神戸大 0173-0178	3 地盤材料 砂質土（強度） 高野 大樹 港空研 0179-0185	3 地盤材料 砂質土（変形） 松丸 貴樹 鉄道総研 0186-0193	3 地盤材料 砂質土（物理化学的性質・動的性質） 飛田 哲男 関西大 0194-0200	
第7	2号館 232 (72名)	3 地盤材料 改良土・軽量土⑥ 大石 幹太 日建設計シビル 0285-0291	3 地盤材料 特殊土① 清原 雄康 八戸高専 0308-0313	3 地盤材料 特殊土② 高井 敦史 京大 0314-0321	3 地盤材料 特殊土③ 松島 亘志 筑波大 0322-0329	
第8	2号館 233 (72名)	8 地盤環境 廃棄物処分（放射性物質・その他）② 成島 誠一 西武建設 1031-1037	8 地盤環境 廃棄物処分（放射性物質・その他）③ 椋木 俊文 熊本大 1038-1045	8 地盤環境 自然環境・生態系 畠 俊郎 富山県立大 1060-1067		
第9	2号館 234(a) (100名)	4 地盤挙動 地盤改良① 佐藤 研一 福岡大 0330-0336	4 地盤挙動 地盤改良② 西村 聡 北大 0337-0343	4 地盤挙動 地盤改良③ 田中 洋輔 東亜建設工業 0344-0350		
第10	2号館 234(b) (60名)	DS-3 遺産の地盤災害からの保全 座長：岩崎好規（地域地盤環境研究所） 副座長：三村衛（京大） 0047-0054		2 調査・分類 物理探査 他 榊原 淳一 JFEシビル 0093-0100	2 調査・分類 ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ・物理探査① 北田奈緒子 地域地盤 0077-0084	
第11	1号館 131/132 (120名)	特別セッション 平成28年度道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会 司会：宮田喜壽（防衛大）	特別セッション 平成28年度地盤工学会賞受賞者講演会 司会：大谷順（熊本大）	特別セッション 平成28年8月北海道豪雨災害調査報告会 座長：石川達也（北大）	展望 テーマ：河川堤防 講演者：岡村未対（愛媛大）	
第12	1号館 133/134 (120名)	特別セッション 原子力発電所廃止措置のための地盤工学（廃炉地盤工学）の創出と人材育成 座長：東畑郁生（関東学院大） 副座長：小峯秀雄（早大）	DS-7 エネルギーに基づく液状化予測の可能性 座長：國生剛治（中央大） 副座長：風間基樹（東北大） 0761-0768	DS-6 新しい地盤環境管理と基準に向けた取組 座長：肴倉宏史（国環研） 副座長：乾徹（京大） 0988-0995		
第13	1号館 135 (48名)	7 地盤防災 豪雨（土石流①） 中瀬 仁 東電設計 0931-0935	7 地盤防災 豪雨（土石流②） 若井 明彦 群馬大 0936-0937,0939-0942	1 一般 設計法・教育 他 谷 和夫 東京海洋大 0027-0033	2 調査・分類 サウンディング① 神宮司元治 産総研 0057-0062	
イベントホール		技術展示				
2号館 212 (108名)				地盤品質判定士会 市民向け講演会（会員も参加可） ～住宅地盤に潜むリスクに関する講演会～		

7月14日（金）

日時 ＼ 会場		7月14日(金)				
		午前Ⅰ 9:00-10:30	午前Ⅱ 10:50-12:20	午後Ⅰ 13:20-14:50	午後Ⅱ 15:10-16:40	午後Ⅲ 17:00-18:30
白鳥ホール (576名) レセプションホール						
第1	2号館 221 (72名)	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土② 原 隆史 / 富山大 0518-0525	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土③ 川尻 峻三 / 北見工大 0526-0533	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土④ 平川 大貴 / 中央大 0534-0540	6 地盤と構造物 道路・鉄道盛土⑤ 磯部 公一 / 北大 0541-0547	
第2	2号館 222 (72名)	6 地盤と構造物 地盤補強② 中島 進 / 鉄道総研 0730-0736	6 地盤と構造物 地盤補強・改良① 宮本慎太郎 / 防衛大 0737-0744	6 地盤と構造物 地盤補強・改良② 河村 隆 / 信州大 0745-0752	6 地盤と構造物 地盤補強・改良③ 中村 努 / 苫小牧高専 0753-0760	
第3	2号館 223 (72名)	6 地盤と構造物 グラウンドアンカー① 渡辺 健治 / 鉄道総研 0649-0655	6 地盤と構造物 グラウンドアンカー② 竹村 次朗 / 東工大 0656-0662	6 地盤と構造物 基礎構造物(基礎一般①) 谷川 友浩 / 竹中工務店 0565-0572	6 地盤と構造物 基礎構造物(基礎一般②) 森 伸一郎 / 愛媛大 0573-0580	
第4	2号館 224(a) (100名)	7 地盤防災 地震(液状化対策①) 末政 直晃 / 東京都市大 0820-0827	7 地盤防災 地震(液状化対策②) 小濱 英司 / 港空研 0828-0835	7 地盤防災 地震(液状化対策③) 上野 一彦 / 五洋建設 0836-0843	7 地盤防災 地震(液状化対策④) 塚本 良道 / 東京理科大 0844-0851	
第5	2号館 224(b) (60名)	7 地盤防災 地震(斜面安定①) 内村 太郎 / 埼玉大 0852-0858	7 地盤防災 地震(斜面安定②) 野並 賢 / 神戸高専 0859-0864	7 地盤防災 斜面動態モニタリング① 深川 良一 / 立命館大 0917-0923	7 地盤防災 斜面動態モニタリング② 藤本 将光 / 立命館大 0924-0930	
第6	2号館 231 (72名)	3 地盤材料 軟岩・硬岩① 小山 倫史 / 関西大 0201-0208	3 地盤材料 礫質土、軟岩・硬岩② 富樫 陽太 / 鉄道総研 0209-0215	3 地盤材料 不飽和土① 酒匂 一成 / 鹿児島大 0292-0299	3 地盤材料 不飽和土② 湯岡 良介 / 京大防災研 0300-0307	
第7	2号館 232 (72名)	3 地盤材料 リサイクル材料① 石蔵 良平 / 九大 0216-0223	3 地盤材料 リサイクル材料② 吉本 憲正 / 山口大 0224-0227,0229-0232	3 地盤材料 リサイクル材料③ 藤川 拓朗 / 福岡大 0228,0233-0240	3 地盤材料 補強材・排水材 林 豪人 / 岡三リビック 0241-0248	
第8	2号館 233 (72名)	8 地盤環境 リサイクル材 稲積 真哉 / 芝浦工大 1068-1073	8 地盤環境 地下水流動・改良土・災害廃棄物 他 大野 博之 / 環境地質 1074-1079	8 地盤環境 廃棄物処分(一般) 日笠山徹巳 / 大林組 1046-1052	8 地盤環境 廃棄物処分(管理型・中間貯蔵) 西田 憲司 / 大林組 1053-1059	
第9	2号館 234(a) (100名)	4 地盤挙動 地盤改良④ 浅香 美治 / 清水建設 0351-0357	4 地盤挙動 地盤改良⑤ 足立 雅樹 / みらい建設工業 0358-0364	4 地盤挙動 凍結・凍土 小野 丘 / 北海学園大 0365-0371		
第10	2号館 234(b) (60名)	2 調査・分類 ｻｳﾝﾃﾞｨﾝｸﾞ・物理探査② 森 友宏 / 前橋工科大 0085-0092	2 調査・分類 サウンディング② 山田 卓 / 大阪市大 0063-0069	2 調査・分類 サウンディング③ 田中 剛 / 東京都市大 0070-0076		
第11	1号館 131/132 (120名)	1 一般 規格・基準 三上 武子 / 前田建設工業 0034-0040	1 一般 基準・その他 木幡 行宏 / 室蘭工大 0041-0046	4 地盤挙動 現地計測 川村 志麻 / 室蘭工大 0372-0378		
第12	1号館 133/134 (120名)	DS-8 南海トラフ巨大地震による地盤災害に備えて 座長：三村衛(京大) 副座長：野田利弘(名大) 0769-0774		2 調査・分類 ボーリング・サウンディング・リスクマネジメント・地下水調査 渡部 要一 / 北大 0116-0118,0120-0122		
第13	1号館 135 (48名)	7 地盤防災 地すべり・落石① 荒木 功平 / 山梨大 0950-0956	7 地盤防災 地すべり・落石② 石丸 真 / 電中研 0957-0962	7 地盤防災 地すべり・落石③ 沢田 和秀 / 岐阜大 0963-0969		
イベントホール		技術展示				
2号館 212 (108名)						

第 52 回地盤工学研究発表会プログラム

第 1 会場～第 13 会場：　名古屋国際会議場

・一般セッションの発表時間は 1 人約 7 分です。
・口頭発表者は最初に記載しました。
・紙面の都合上，共著者の所属は省略しました。
・所属は申し込み時のものです。
・本データは発表申込み時に申込者によってご入力いただいたデータを基に構成しております。

●7 月 12 日（水）　午前（I）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – ため池】　9:00 ～ 10:30
座　長：石原　雅規（土木研究所）

0458 低拘束圧下におけるため池堤体土の繰返しせん断強度に及ぼす初期せん断応力の影響
神木雄一（山口大）・鈴木素之・神山　惇・河内義文・松下英次

0459 ため池の堤体の地震時挙動の評価 ～その 1 遠心力模型実験と LIQCA による解析～
福田謙太郎（日本工営）・ソッキアン スレン・佐藤誠一・石川裕規・小林浩二

0460 ため池の堤体の地震時挙動の評価 ～その 2 繰返し一面せん断試験による強度低下特性の検討～
ソッキアン スレン（日本工営）・石川裕規・日高久美子・斉藤　淳

0461 ため池の堤体の地震時挙動の評価 ～その 3 ニューマーク D 法による解析～
石川裕規（日本工営）・佐藤誠一・白石保律・ソッキアン スレン

0462 ニューマーク法による実物大ため池堤体加振実験の残留すべり解析
丁　經凡（神戸大）・澁谷　啓・片岡沙都紀・白　濟民・河端俊典・澤田　豊・中澤博志

0463 鋼矢板によるため池堤の耐震補強工法の検討（その 1 室内試験）
棚谷南海彦（高知大）・原　　忠・藤原覚太・乙志和孝・奥田洋一

0464 鋼矢板によるため池堤の耐震補強工法の検討（その 2 模型実験）
藤原覚太（新日鐵住金）・乙志和孝・奥田洋一・原　　忠・棚谷南海彦

●7 月 12 日（水）　午前（II）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – 堤防①】　10:50 ～ 12:20
座　長：澤田　豊（神戸大学）

0465 河川堤防の基礎地盤材料を用いたパイピング進行性破壊に関する模型実験（その 1）
小松　満（岡山大）・西垣　誠・増山博之・新村卓也・舘川逸朗

0466 河川堤防の基礎地盤材料を用いたパイピング進行性破壊に関する模型実験（その 2）
増山博之（パシフィックコンサルタンツ）・新村卓也・舘川逸朗・小松　満・西垣　誠

0467 吸水軟化試験による細粒分が卓越した堤防土の浸透耐性の評価
田中貴之（名城大）・小高猛司・李　圭太・石原雅規・久保裕一・崔　　瑛

0468 細粒分が卓越した堤防土の浸透耐性評価に及ぼすサンプリング法と凍結履歴の影響
久保裕一（中部土質試験協同組合）・小高猛司・李　圭太・石原雅規・田中貴之・崔　　瑛

0469 記録的降雨によって河川堤防で発生した噴砂に関する地盤調査
川尻峻三（北見工大）・川口貴之・橋本和明・国峯紀彦・林　宏親・岡本拓三・古溝幸永

0470 越流浸食および破堤が発生した堤防に対する地盤調査
川口貴之（北見工大）・川尻峻三・橋本和明・国峯紀彦・岡本拓三・古溝幸永

0471 記録的降雨によって発生した釧路川堤防のり面の表層崩壊に関する地盤調査
劉　　爽（北見工大）・川口貴之・川尻峻三・川俣さくら・早川　博・中村　大・新藤和男・川岸秀敏

0472 記録的降雨によって発生した釧路川堤防のり面の表層崩壊に関する浸透流解析
川俣さくら（北見工大）・川尻峻三・川口貴之・劉　　爽・早川　博・中村　大・新藤和男・川岸秀敏

●7 月 12 日（水）　午後（I）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – 堤防②】　13:20 ～ 14:50
座　長：藤澤　和謙（京都大学）

0473 繰り返し浸透流による堤防基礎地盤の内部侵食の進展に関する遠心模型実験
丸山貴広（東工大）・関　　栄・堀越一輝・高橋章浩

0474 河川堤防における漏水対策型水防工法の浸透破壊に対する効果
櫛山総平（名工大）・前田健一・李　兆卿・西村柾哉・泉　典洋・齊藤　啓

0475 三次元浸透流に着目した透水性基礎地盤を有する河川堤防の噴砂孔のモデル化
西村柾哉（名工大）・前田健一・櫛山総平・李　兆卿・泉　典洋・齊藤　啓

0476 河川堤防の高水時パイピング破壊を模擬した遠心模型実験
田村元希（愛媛大）・岡村未対

0477 空気圧を用いた連通試験の河川堤防への適用
新村卓也（パシフィックコンサルタンツ）・西垣　誠・小松　満・舘川逸朗

0478 粒子法による河川堤防のパイピングの発達過程の解析
森　啓年（山口大）

0479 Hole Erosion Test による 2015 年関東・東北豪雨で被災した鬼怒川堤防基礎地盤土の内部侵食進展速度に関する研究
藤本幹太（東工大）・堀越一輝・高橋章浩

●7 月 12 日（水）　午後（II）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – 堤防③】　15:10 ～ 16:40
座　長：森　啓年（山口大学）

0480 透水性互層地盤における河川堤防の浸透破壊に関する遠心力模型実験
新子晃生（徳島大）・柳　振錫・居上靖弘・上野勝利・渦岡良介

0481 透水性互層地盤における河川堤防の浸透破壊に関する三相系連成解析
柳　振錫（徳島大）・新子晃生・居上靖弘・上野勝利・渦岡良介

0482 基礎地盤の複層構造が河川堤防の浸透破壊に及ぼす影響
林　愛実（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・森三史郎・森　智彦・李　圭太

0483 複層構造基礎地盤を有する河川堤防の非定常浸透流解析
森三史郎（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・林　愛実・森　智彦・李　圭太

0484 河川縦断方向に均質な模型堤体に浸透破壊を引き起こす基礎地盤の条件
森　智彦（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・森三史郎・林　愛実・李　圭太

0485 かご工による越流に対する堤防の粘り強さ向上の検討
常田賢一（大阪大）・植田裕也・小柿裕治・藤木孝則

0486 土留め矢板工による越流侵食対策に関する実験的研究
跡治志由大（大阪大）・常田賢一・植田裕也・森田晃司・川本卓人

0487 一面せん断試験による表面遮水壁型堤体のベントナイトシートの層内すべり強度特性
堀田崇由（フジタ）・福島伸二・北島　明

●7 月 12 日（水）　午後（III）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – 堤防④】　17:00 ～ 18:30
座　長：高橋　章浩（東京工業大学）

0488 水中盛土上における河川堤防の評価手法に関する考察
富澤彰仁（建設技術研究所）・李　圭太・中上宗之・宗行正則・小林猛嗣・小高猛司

0489 細粒分含有率が河川堤防の安全性に及ぼす影響に関する研究
小林弘昌（岡山大）・金　秉洙・加藤正司・竹下祐二

0490 牽引式電気探査による比抵抗の差分断面図を用いた堤防の浸透性評価
小西千里（応用地質）・新清　晃・斎藤秀樹・阿部知之・佐藤喜一郎・小林　剛・山下善弘

0491 マイクロ X 線 CT を用いた砂供試体の内部侵食に与える拘束圧の影響に関する研究
濱田祐輔（京大）・肥後陽介・岩永　英

0492 高水の浸透による河川堤防裏法面の破壊領域
小阪佳平（愛媛大）・岡村未対

0493 河川堤防の礫質基礎地盤土の力学特性の評価
梅村逸遊（名城大）・小高猛司・崔　　瑛・田村太郎・李　圭太

0494 天端補強による堤防の耐越水性強化技術の開発
篠原麻太郎（東京理科大）・倉上由貴・二瓶泰雄・土橋和敬・吉村拓也

●7 月 13 日（木）　午前（I）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – ダム・堤防①】　9:00 ～ 10:30
座　長：堀越　一輝（東京工業大学）

0495 波の侵食作用による盛土斜面の崩壊と安定性評価
土田雄貴（室蘭工大）・川村志麻・Minh Hieu Dao

0496 腹付工を含む防波堤での津波実験と円弧すべり解析の精度検証
高橋英紀（港空研）・佐々真志・森川嘉之・丸山憲治

0497 斜面のスライス法による円弧すべり安定解析での諸留意点
龍岡文夫（東京理科大）・Antoine Duttine

0498 ひずみ空間多重せん断モデルによる大変形解析の事例解析－盛土を対象とした検討－
兵頭順一（東電設計）・島端嗣浩・佐藤恭兵・溜　幸生・上田恭平

0499 熊本地震における河川堤防被災箇所の ALID による再現解析
石原雅規（土研）・秋場俊一・佐々木哲也

0500 河川堤防の浸透すべり破壊への剛塑性有限要素法の適用
小高猛司（名城大）・李　圭太

0501 外水位変動が堤体内の応力状態に及ぼす影響
小野里花子（福島高専）・金澤伸一・松崎慎也

0502 非排水繰返し載荷による土の剛性・強度の劣化を考慮した Newmark 法と準静的 FEM による藤沼ダムの崩壊の解析
Antoine Duttine（複合技術研究所）・龍岡文夫・田中忠次・毛利栄征・上野和広

●7 月 13 日（木）　午前（II）の部　第 1 会場
【地盤と構造物 – ダム・堤防②】　10:50 ～ 12:20
座　長：李　圭太（建設技術研究所）

0503 A long term field monitoring and investigation of river dyke slopes' near-surface strength
Anand Panta（北大）・西村　聡

0504 裏法尻にドレーン材を用いた盛土での地表面水収支を考慮した築堤時間隙水圧挙動の解析
中野渡博道（北大）・西村　聡・林　宏親・山本正彦・田村真次

0505 重力場および遠心場におけるフィルダム模型振動実験による変形・破壊に対する間隙水圧の影響
石松悠輝（東京農工大）・Win Tun Tun・佐藤友孝・田頭秀和・林田洋一・泉　明良・向後雄二・鵜沼　亮

0506 遠心載荷振動実験を用いたフィルダム砂模型の変形・破壊挙動に対する密度・間隙水圧の影響
佐藤友孝（東京農工大）・Win Tun Tun・石松悠輝・鵜沼　亮・田頭秀和・林田洋一・泉　明良・向後雄二

0507 築造過程の締固めの影響を反映した、既存ため池堤体土の強度評価方法に関する考察
赤坂幸洋（基礎地盤コンサルタンツ）・向井亮介・島田徹也・野村英雄

0508 地震・洪水複合災害実験水路に基づく地震及び浸透の影響を受けた堤防被災に関する基礎的実験
二瓶泰雄（東京理科大）・倉上由貴・入江美月・桜庭拓哉

0509 上向き浸透流作用下での限界掃流力測定
藤澤和謙（京大）・杉野公亮・村上　章

0510　ケーソン滑動時における防波堤背後の腹付工の耐力発現特性
丸山憲治（ジオデザイン）・高橋英紀・佐々真志・森川嘉之

●7月13日（木）　午後（I）の部　第1会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土①】　13:20 ～ 14:50
座　長：大竹　雄（新潟大学）

0511　列車荷重を考慮した模型実験による陥没形成・進展メカニズムに関する基礎的研究
山本　亮（JR東日本）・小南直翔・桑野玲子

0512　鉄道盛土の陥没原因の解明を目的としたモールド要素試験
高柳　剛（鉄道総研）・阪東聖人・佐々木智之・布川　修

0513　急勾配化した補強盛土の品質および施工性
高野裕輔（鉄道・運輸機構）・山崎貴之・阪田　暁・中島　進・浅野翔也・成田浩明・渡辺健治

0514　礫質地盤に対する空隙充填を目的としたグラウト材注入実験
馬目　凌（鉄道総研）・高柳　剛・阪東聖人・佐々木智之

0515　常時微動観測記録に基づく鉄道盛土の等価1自由度モデル構築手法の妥当性確認
赤坂大介（テス）・荒木　豪・坂井公俊・小島謙一・藤原雅仁・山田孝弘

0516　鉄道盛土滑動部分の振動特性評価法の提案
鈴木　聡（鉄道総研）・坂井公俊・荒木　豪・室野剛隆

0517　地山補強・無補強盛土の動的応答と破壊形態に関する振動台実験
中島　進（鉄道総研）・工藤敦弘・藤井公博・渡辺健治

●7月14日（金）　午前（I）の部　第1会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土②】　9:00 ～ 10:30
座　長：原　隆史（富山大学）

0518　ばらつきをもつ盛土材の盛土締固め特性と盛土の品質管理
下川大介（川崎地質）・三嶋信雄・中村洋丈

0519　既設盛土における同一深度の供試体を用いた強度試験方法の提案
太田雅之（ダイヤコンサルタント）・新井新一・大賀政秀・藤永　優・西田和彦・梅基　稜

0520　供用中道路盛土における表面波探査手法の比較検討例
笹本直之（中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京）・大窪克己・西田直也・八嶋　厚・村田芳信

0521　近年の地震による道路盛土の被災事例からみた設計水平震度に関する考察
榎本忠夫（国総研）・久保和幸

0522　土のう構造体を用いた法先補強工による既設道路盛土の耐震化－その1：実物大大型振動台実験
田嶋亮佑（神戸大）・九田敬行・片岡沙都紀・森吉勇気・歳藤修一・戒　剛史・加藤卓彦・丁　經凡・澁谷　啓

0523　土のう構造体を用いたのり先補強工による既設道路盛土の耐震化 その2. 土のう構造体加振実験
森口裕矢（神戸大）・九田敬行・森口裕矢・田嶋亮佑・森吉勇気・片岡沙都紀・澁谷　啓

0524　土のう構造体を用いた新たなのり先補強工による既設盛土の耐震化
～その3. 土のう構造体の設計法の確立に向けた基礎的検討～
加藤卓彦（日建設計シビル）・澁谷　啓・中西典明・片山政和・歳藤修一・伊藤修二・石田正利

0525　土のう構造体を用いたのり先補強工による既設道路盛土の耐震化
その4. 土のう積層体の静的載荷試験
森吉勇気（神戸大）・九田敬行・田嶋亮佑・森口裕矢・片岡沙都紀・澁谷　啓

●7月14日（金）　午前（II）の部　第1会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土③】　10:50 ～ 12:20
座　長：川尻　峻三（北見工業大学）

0526　盛土に打設したスパイラル羽根付き鋼管の改良効果について（排水効果）
伊藤裕孝（九大）・笠間清信・浜崎智洋・松方健治・田山　聡

0527　盛土に打設したスパイラル羽根付き鋼管の改良効果について（地震時設計法）
松方健治（NEXCO西日本コンサルタンツ）・笠間清伸・浜崎智洋・田山　聡

0528　既設道路盛土の経済的な耐震診断法の確立に向けた事例研究 その1. 原位置調査
片岡沙都紀（神戸大）・原　一馬・原　崇彰・野並　賢・千野克浩・戒　剛史・澁谷　啓

0529　既設道路盛土の経済的な耐震診断法の確立に向けた事例研究 その2. 安定性の評価
原　一馬（神戸大）・片岡沙都紀・原　崇彰・野並　賢・千野克浩・戒　剛史・澁谷　啓

0530　不均質性を考慮した降雨による盛土内宙水の発生条件に関する研究
深田竜司（京大）・肥後陽介・片岡沙都紀・大竹　雄・南野佑貴・加藤亮輔

0531　棒状補強材による補強盛土の対策効果に関する振動台実験
中村洋丈（NEXCO総研）・藤岡一頼・田久　勉・吉川修一

0532　降雨浸透により含水状態を変化させた盛土の模型振動台実験
小湊祐輝（鉄道総研）・松丸貴樹・佐藤武斗・濱田吉貞・藤原雅仁

0533　断面形状と土被りに着目した道路ボックスカルバートの耐震性能評価
光吉泰生（京大）・澤村康生・八ツ元仁・木村　亮

●7月14日（金）　午後（I）の部　第1会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土④】　13:20 ～ 14:50
座　長：平川　大貴（中央大学）

0534　補強盛土ののり面勾配と地震時応答特性に着目した模型振動台実験
阪田　暁（鉄道・運輸機構）・山崎貴之・高野裕輔・成田浩明・浅野翔也・中島　進・渡辺健治・小島謙一

0535　補強盛土の地震時破壊形態に関する実験的検討
成田浩明（鉄道総研）・中島　進・浅野翔也・渡辺健治・小島謙一・山崎貴之・高野裕輔・阪田　暁

0536　急勾配化した補強盛土の地震時残留変位量評価
浅野翔也（鉄道総研）・鈴木　聡・成田浩明・中島　進・渡辺健治・山崎貴之・高野裕輔・阪田　暁

0537　Seismic behaviors of partially saturated ground and embankment
白　　可（京大）・上田恭平・井合　進

0538　排水性材料の適用による盛土堤体の液状化対策に関する数値解析
松丸貴樹（鉄道総研）

0539　偏土圧の影響を受けるアーチカルバートの縦断方向の地震時挙動に関する遠心模型実験
宮崎祐輔（京大）・澤村康生・岸田　潔・木村　亮

0540　壁式改良工法による土構造物の液状化対策効果
蔡　　飛（群馬大）・高橋千明

●7月14日（金）　午後（II）の部　第1会場
【地盤と構造物－道路・鉄道盛土⑤】　15:10 ～ 16:40
座　長：磯部　公一（北海道大学）

0541　軟弱地盤上の高速道路盛土における長期観測結果からの一考察
澤野幸輝（ネクスコ・エンジニアリング東北）・長尾和之・高橋修二・佐藤修治・友清　悟

0542　圧密沈下促進工法に伴う長期圧密沈下ひずみ速度に関する一考察
友清　悟（基礎地盤コンサルタンツ）・長尾和之・澤野幸輝・佐藤修治

0543　施工時に含まれる安全率の余裕に関する検討
角田晋相（錢高組）・篠田昌弘

0544　道路盛土のすべり安全率及びすべり量に及ぼす強度定数の変動の影響に関する検討
吉川登代子（大阪大）・常田賢一

0545　法先保護工が盛土及び基礎地盤の耐津波性能に与える効果に関する遠心模型実験
船倉玖彬（九工大）・廣岡明彦・永瀬英生・杉　朋裕・井上雄太

0546　盛土内水位と凍結融解が盛土の加振時振動挙動に与える影響
岸田久徳（北見工大）・逆井直樹・川尻峻三・川口貴之・中村　大・山下　聡

0547　記録的降雨および融雪水の影響を受けた盛土の崩壊限界雨量による評価
田中悠暉（北見工大）・川尻峻三・橋本　聖・川口貴之・中村　大・山下　聡

●7月12日（水）　午前（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－シールド】　9:00 ～ 10:30
座　長：砂金　伸治（土木研究所）

0701　石狩湾新港発電所放水設備工事－シールド内からの到達位置探査工－
塩屋祐太（ケミカルグラウト）・齋藤寿秋・畠田大規・高柳　哲・渡邉和英・阿部　聡

0702　石狩湾新港発電所放水設備工事－CO2凍結によるシールド到達防護－
相馬　啓（ケミカルグラウト）・斉藤寿秋・畠田大規・高柳　哲・渡邉和英・阿部　聡・塩屋祐太

0703　シールドトンネルにおけるリング継手を考慮した大型覆工模型実験
鎌田和孝（鉄道総研）・舩越宏治・津野　究

0704　双設シールドトンネルの施工影響評価
木村拓憲（千葉工大）・鈴木　誠・小暮賢人・中井照夫

0705　上載荷重が既設シールドトンネルに与える影響
樫山真知（千葉工大）・鈴木　誠・高橋将智・和住祐希・中井照夫

0706　模型セグメントに対する載荷・除荷装置の試作
今井　鋭（東京都市大）・吉川直孝・平岡伸隆・佐藤芙美・伊藤和也

●7月12日（水）　午前（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－トンネル①】　10:50 ～ 12:20
座　長：澤村　康生（京都大学）

0685　盤ぶくれが発生した東北地方のトンネルにおける地山物性値の傾向～力学的特性に着目して～
安田賢哉（ネクスコ・エンジニアリング東北）・山家信幸・斎藤　建・宮沢一雄・佐藤定夫・林崎信男・鶴原敬久

0686　地山改良型ロックボルト補強工の試験施工
森瀬喬士（鉄道総研）・嶋本敬介・野城一栄・鈴木丙午・中村裕哉

0687　河川横断部のトンネル施工状況
村山　暢（ネクスコ・エンジニアリング東北）・関　茂和・保坂浩寿・舘野哲志・高松雅宏・安田賢哉

0688　供用中における高速道路トンネルの変状に対する計測手法と維持管理について
倉持典幸（ネスクコ東日本エンジニアリング）・渋谷正浩・佐藤達雄・鏡　浩志・永井　宏

0689　トンネル覆工を想定したコンクリート試験体の打音試験
舩越宏治（鉄道総研）・津野　究・嶋本敬介・上野慎也・西金佑一郎

0690　地盤改良によるボックスカルバート構造物の耐震性能に関する実験的研究
長野兄裕（名工大）・西　遥輝・Hamayoon Kheradi・岩井裕正・張　　鋒

0691　丸鋼を用いた開削トンネルの変形性能と地盤への追従性に関する基礎的検討
川西智浩（鉄道総研）・日野篤志・室野剛隆

0692　仮想ドレーンモデルのトンネル情報化施工への適用の試み
細野賢一（地層科学研究所）・河原裕徳・里　　優

●7月12日（水）　午後（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－トンネル②】　13:20 ～ 14:50
座　長：津野　究（鉄道総合技術研究所）

0693　土砂地山を想定したトンネル掘削の基礎的模型実験（その1：実験概要）
高井　凌（金沢大）・田中大二朗・西行　和・大谷達彦・松本樹典・小林俊一・下野慎也

0694　土砂地山を想定したトンネル掘削の基礎的模型実験（その2：二次元模型実験結果）
西行　和（金沢大）・田中大二朗・高井　凌・大谷達彦・松本樹典・小林俊一・下野慎也

0695　土砂地山を想定したトンネル掘削の基礎的模型実験（その3：三次元模型実験結果）
田中大二朗（金沢大）・西行　和・高井　凌・

大谷達彦・松本樹典・小林俊一・下野慎也

0696 若材齢吹付けコンクリートの押抜きせん断試験装置の試作
佐藤芙美（東京都市大）・吉川直孝・平岡伸隆・今井　鋭・伊藤和也

0697 低土被り未固結地山におけるトンネルの施工
寺本雅昭（鴻池組）・酒井康至・宇田隆彦・若林宏彰

0698 複合物理探査データを用いたトンネルの地山分類
高橋　亨（深田地質研究所）

0699 鉄塔・神社に近接する脆弱な地山における対策工と計測管理に関する一考察
山田浩幸（鴻池組）・安田裕輔・村島雅征・宮下邦彦

0700 地山の膨張性により変状が発生した山岳トンネルの補修設計の検討
太田敬一（日本工営）・渡邉長浩・京谷孝史・新井明夫・尾崎裕司・中村美夫

●7月12日（水）　午後（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－埋設管①】　15:10 ～ 16:40
座　長：石井　裕泰（大成建設）

0707 蛇籠型受圧体を用いた埋設管のスラスト力防護対策に関する模型実験
荒木裕行（中央大）・平川大貴・志村拓哉

0708 異なる矢板設置条件におけるたわみ性埋設管の力学挙動に関する模型実験
宮崎礼丈（神戸大）・寺田健司・高原　祥・小野耕平・太田遙子・澤田　豊・河端俊典

0709 個別要素法による矢板引抜き時における埋設管と周辺地盤の相互作用に関する検討
寺田健司（神戸大）・高原　祥・澤田　豊・河端俊典

0710 締固め効果を考慮した埋設管の浮上り対策検討
山本裕司（基礎地盤コンサルタンツ）・岡田　進・助田勅史・赤坂幸洋・小泉慶太・水澤良介

0711 世界の道路陥没発生実態調査の報告　－情報の収集と分析－
瀬良良子（ジオ・サーチ）・Van Der Meer Wilhelm・赤松真美・桑野玲子

0712 福岡市の路面下空洞の生成傾向の分析及び空洞ポテンシャルマップの開発
堀田真由子（東大）・桑野玲子

0713 空洞上地盤の層厚と粒度分布に着目した繰返し載荷による管渠周辺の陥没挙動
田坂晃一（名工大）・前田健一・佐藤弘瑛・澤見英樹・闇　鵬飛

0714 Influence Factors on Stability of Cavity around Underground Pipeline
闇　鵬飛（名工大）・前田健一・田坂晃一・佐藤弘瑛

●7月12日（水）　午後（III）の部　第2会場
【地盤と構造物－埋設管②】　17:00 ～ 18:30
座　長：桑野　玲子（東京大学）

0715 現場打ちボックスカルバートの耐震設計法（断面方向）の提案
島津多賀夫（アサノ大成基礎エンジニアリング）・東田　淳・吉村　洋・井上裕司

0716 現場打ちボックスカルバートの地震時挙動の予測（提案設計法と現行設計法の比較）
東田　淳（大阪市大）・島津多賀夫・吉村　洋・井上裕司

0717 水平力を受ける埋設管の液状化時の変位特性に関する模型実験
太田遥子（神戸大）・小野耕平・横田木綿・澤田　豊・河端俊典

0718 様々な有効応力下における埋設管の水平抵抗力の予測
小野耕平（神戸大）・横田木綿・太田遥子・澤田　豊・河端俊典

0719 斜め入射を受ける地中線状構造物の解析の比較
吉田　望（東北学院大）・澤田純男・後藤浩之

0720 マンホールの1G下液状化実験による均等H型重量化工法の適用性
岡本敏郎（芝浦工大）・笠尾祐介

0721 高吸水ポリマーを用いた液状化地盤における揺動現象の再現実験
原　千明（東京電機大）・安田　進・大保直人・石川敬祐

0722 細粒分を含む締固めた砂質土の土粒子流出特性に関する実験的研究
髙木聖人（東北大）・風間基樹・河井　正・金　鍾官

●7月13日（木）　午前（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－抗土圧構造物】　9:00 ～ 10:30
座　長：野々山栄人（防衛大学校）

0663 補強杭を用いた既設もたれ壁の耐震補強に関する振動台実験
水野弘二（JR東日本）・池本宏文・高崎秀明・川村大士・鈴木健一・藤原寅士良

0664 もたれ壁背面に施工した補強杭における前面地盤反力の実験的検証
鈴木健一（JR東日本）・池本宏文・高崎秀明・水野弘二・川村大士・藤原寅士良

0665 地下鉄地上部の石積み擁壁の特性を考慮した耐震補強工事
佐々木孝太（東京地下鉄）・畠山恭輔・小西真治・岡田直仁・吉田敬司

0666 杭および矢板における頭部の受動領域を考慮した水平荷重耐力の計算
岩越恭平（豊橋技科大）・三浦均也・松田達也・澤木達也・穴井啓太・渡辺　強・栗田和博

0667 急勾配地山補強材を用いた既設もたれ壁の耐震補強に関する実験的検討
川村大士（JR東日本）・池本宏文・高崎秀明・鈴木健一・水野弘二・藤原寅士良

0668 空石積擁壁の耐震補強に関する遠心模型実験
澤田直樹（東工大）・高柳　剛・関　　栄・堀越一輝・高橋章浩

0669 城郭櫓門石垣の載荷による振動特性の変化
山中　稔（香川大）・石垣隼士・西田一彦・高石　拓・白石　建

0670 アルミ棒積層体を用いたブロック積み擁壁の孕み出しに伴う地盤の補強実験
平　瑞樹（鹿児島大）・山本健太郎・永川勝久・鎌田時空

●7月13日（木）　午前（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－抗土圧構造物・山留め】　10:50 ～ 12:20
座　長：堀田　洋之（清水建設）

0671 L型擁壁の地震に対する構造性能に関する実験的研究－支持地盤の影響について－
西尾聡史（旭化成ホームズ）・和田昇三・伊集院博

0672 Collapse mechanism of self-standing large diameter steel pipe sheet pile walls embedded in soft rocks
Vijayakanthan Kunasegaram（東工大）・関　　栄・竹村次朗

0673 吸水性高分子摩擦低減剤の膨潤・時間曲線の定式化
古橋　佳（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・岡本功一・服部　晃

0674 吸水性高分子摩擦低減剤の摩擦角に及ぼすせん断変位速度の影響
古久根晋太郎（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・岡本功一・服部　晃

0675 地盤改良を構造体とした軟弱地盤での合理的な立坑計画と施工－桜町北湊雨水貯留管築造工事－
坂梨利男（鹿島建設）・妻木良憲・大友　充・福永義行

0676 アンカー土留めの設計・施工上の留意点
田中耕一（鹿島建設）

0677 斜め自立土留めの背面地下水位上昇に関する遠心模型実験
照井太一（大林組）・高橋真一・杉江茂彦・嶋田洋一

●7月13日（木）　午後（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－岸壁・護岸】　13:20 ～ 14:50
座　長：小竹　望（香川工業高等専門学校）

0678 杭式改良による液状化地盤の側方流動対策に関する遠心模型実験
－その1：側方流動抑制効果について－
渕山美怜（三井住友建設）・津田和夏希・高橋直樹・森川嘉之・高橋英紀・東畑郁生

0679 杭式改良による液状化地盤の側方流動対策に関する遠心模型実験
－その2：改良杭に作用する流動力の評価－
津田和夏希（三井住友建設）・渕山美怜・高橋直樹・森川嘉之・高橋英紀・東畑郁生

0680 吸い出し防止対策としてのフィルター層の目詰まり機能と安定性に関する実験
輪島僚也（長岡技科大）・小林孝彰・佐々真志・渡辺啓太・山崎浩之・大塚　悟・具志良太・前里　尚・平野年洋

0681 胸壁模型の固有振動数算出を目的とした水平載荷実験
府川裕史（東亜建設工業）・小濱英司

0682 残留変位量に加え断面力による性能評価を考慮した控え直杭式矢板岸壁の簡易耐震性能評価法
宮下健一朗（神戸大）・長尾　毅

0683 余震を考慮した係留施設の供用可否判定に関する研究
曽根照人（ニュージェック）・大塚尚志・淵ノ上篤史・澁木哲人・山本芳生・山本　龍

0684 ドレーンによる液状化対策の排気ますの設計
林健太郎（五洋建設）・小濱英司・山崎浩之・佐々真志

●7月13日（木）　午後（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－地盤補強①】　15:10 ～ 16:40
座　長：荒木　裕行（中央大学）

0723 補強材一体型ふとんかご工補強土壁の安定性評価に関する研究
その1 載荷試験の概要及び結果の考察
岩谷健雄（日大）・仙頭紀明・Aung Hla・倉知禎直・久保幹男

0724 補強材一体型ふとんかご工補強土壁の安定性評価に関する研究
その2 安定性評価手法に関する検討
Aung Hla（エターナルプレザーブ）・仙頭紀明・岩谷健雄・倉知禎直・久保幹男

0725 補強盛土一体橋梁における橋台背面ばねの繰返し作用による剛性低下率の設定
小林克哉（鉄道総研）・西岡英俊・小島謙一・玉井真一・山崎貴之・高野裕輔

0726 平成28年熊本地震の被災を受けた地域におけるアンカー補強土壁の調査報告
林　豪人（岡三リビック）・小浪岳治・中村真司

0727 GRS工法とドレーン工法を組合せた薄層ドレーン強化堤防の耐越水性に関する実験的検討
倉上由貴（東京理科大）・二瓶泰雄・菊池喜昭

0728 縦打ちマイクロパイルによる補強土工法を適用した斜面の破壊形態に及ぼす打設間隔の影響
加村晃良（福島高専）・風間基樹・河井　正・金　鍾官・正田信晴・小西成治

0729 補強材の摩擦抵抗確認用小型引抜き試験機の性能検証
佐原邦朋（ヒロセ）・井手貴晴

●7月14日（金）　午前（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－地盤補強②】　9:00 ～ 10:30
座　長：中島　進（鉄道総合技術研究所）

0730 宅地大谷石擁壁の剛一体壁面工併用地山補強土工法による補強事例
山田康裕（複合技術研究所）・田村幸彦・龍岡文夫

0731 補強土壁の維持管理に関する基本的考え方の提案
宮武裕昭（土研）・藤田智弘・佐藤　登・新田武彦・中根　淳・藤岡一瀬・宮田喜壽

0732 補強土壁の維持管理技術検証のための実大実験
佐藤　登（土研）・宮武裕昭・藤田智弘・新田武彦・明永卓也・大谷義則・小浪岳治・村中俊裕・宮田喜壽

0733 高分子系帯状補強材による補強土壁の耐震性評価
大谷義則（ヒロセ）・佐藤　登・飛田哲男

0734 ジオセルで補強された矢板式岸壁に関する振動台実験
深瀬直人（中央大）・平川大貴・荒木裕行・加藤美和

0735 土圧特性からみるアンカー式補強土壁の補強メカニズム
鈴木恒太（豊田高専）・小林　睦・三浦均也・小浪岳治・林　豪人・ミニア プウン

0736 地下水浸透がアンカー式補強土壁の地震時挙動に与える影響について
佐藤寛樹（豊田高専）・小林　睦・三浦均也・小浪岳治・林　豪人

●7月14日（金）　午前（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－地盤補強・改良①】　10:50 ～ 12:20
座　長：宮本慎太郎（防衛大学校）

0737 高吸水性ポリマーの浸透注入および改良土の透水性回復
廣瀬雅弥（早大）・赤木寛一・上原精治・安井利彰・下坂賢二・三反畑勇・吉野　修

0738 凍結工法を用いた帯鋼補強土壁の補修（壁面交換）
市川智史（JFE 商事テールワン）・酒井茂賀・篠原次男・相馬　啓

0739 凍結工法を用いた帯鋼補強土壁の補修（凍結）
長田友里恵（ケミカルグラウト）・篠原次男・相馬　啓・酒井茂賀・市川智史

0740 補強土壁の盛土材に用いるクリンカアッシュに対するジオグリッド補強材の引抜き抵抗特性
野村和樹（山口大）・鈴木素之・内川浩樹・及川隆仁・中本健二・松尾　暢

0741 ジオテキスタイル補強土壁の健全度評価に対する表面波探査の適用性について
橋本　聖（寒地土研）・川尻峻三・川口貴之・林　憲裕・林　宏親

0742 帯状補強材配置方法による変形モードの検証および設計に関する一考察
尾方武文（ヒロセ）・熊田哲規

0743 補強土壁における帯状補強材配置方法が地震時壁面変形に与える影響
熊田哲規（ヒロセ）・尾方武文

0744 気泡ソイルセメント安定液の流動性に関する研究
重田恭兵（早大）・赤木寛一・若松大幹・安井利彰・近藤義正・下坂賢二

●7月14日（金）　午後（I）の部　第2会場
【地盤と構造物－地盤補強・改良②】　13:20 ～ 14:50
座　長：河村　隆（信州大学）

0745 短繊維混合した砂質土の強度変形特性
陳　金賢（中央大）・平川大貴

0746 Influence of preloaded tie rods on behavior of confined-reinforced earth under differential settlement
Manh Hung Ho（埼玉大）・桑野二郎・Kei Sawada・Kota Murayama

0747 Effect of base course thickness on the surface and subgrade deformation behavior of geosynthetics reinforced pavement
Aung Aung Soe（埼玉大）・桑野二郎・Ilyas Akram・小暮峻矢

0748 地震時における支圧抵抗と摩擦抵抗を組み合わせた補強土壁挙動と FEM 解析（その 2）
武藤裕久（矢作建設工業）・長沼明彦・小高猛司・崔　瑛

0749 軟弱粘性土中にある丸太の押込み試験の概要
川崎淳志（ミサワホーム）・沼田淳紀・村田拓海・佐々木修平・佐々木貴信

0750 軟弱粘性土中にある丸太の押込み試験の方法
村田拓海（飛島建設）・沼田淳紀・川崎淳志・佐々木修平・佐々木貴信

0751 軟弱粘性土中にある丸太の押込み試験の結果
沼田淳紀（飛島建設）・吉田雅穂・佐々木修平・村田拓海・川崎淳志・佐々木貴信

0752 根－土接触面の強度特性の把握および数値解析
友部　遼（京大）・藤澤和謙・村上　章

●7月14日（金）　午後（II）の部　第2会場
【地盤と構造物－地盤補強・改良③】　15:10 ～ 16:40
座　長：中村　努（苫小牧工業高等専門学校）

0753 帯状ジオシンセティックス補強土壁の近年の大規模地震における被災調査結果
山口恭平（ヒロセ）・志村直紀・高尾浩司郎・大谷義則

0754 Effect of Cone Position on Bearing Capacity of Geogrid Reinforced Sand Foundation
Ilyas Akram（埼玉大）・Aung Soe Aung・小暮峻矢・桑野二郎

0755 越流に対し粘り強い堤防構造に関する研究
盛健太郎（八戸工大）・橋詰　豊・金子賢治・坂野一平・濱中寿夫・石井大悟

0756 ジオセル補強地盤の応力低減効果に及ぼす相対密度の影響
谷口成樹（日大）・峯岸邦夫・山中光一・伊藤友哉

0757 壁面材形状の異なる 2 種の補強土壁盛土の裏込め静的載荷時挙動に関する遠心模型実験
佐藤史啓（九工大）・廣岡明彦・永瀬英生・浅原帝斗

0758 浅い基礎の支持力に関するジオシンセティックスの補強効果
磯部有作（地層科学研究所）・鈴木　誠・高橋駿介・田中 A. 麗南斗・中井照夫

0759 Deformation of geosynthetic tube filled with denser sand
Mwanaisha Nganzi Ulenge（埼玉大）・桑野二郎

0760 受圧板と連結材を有する補強斜面模型の直接せん断実験
小竹　望（香川高専）・沓澤　武・佐藤栄介・川西智也・竹谷貢太

●7月12日（水）　午前（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（直接基礎）】　9:00 ～ 10:30
座　長：渡邉　康司（大林組）

0581 洪積礫質土地盤おける直接基礎高架橋の品質管理
山崎貴之（鉄道・運輸機構）・高野裕輔・石徳隆行・西岡英俊・佐名川太亮・上野慎也

0582 洪積礫質土地盤における直接基礎高架橋の建設時沈下量と平板載荷試験結果の比較
上野慎也（鉄道総研）・西岡英俊・佐名川太亮・山崎貴之・高野裕輔・石徳隆行

0583 2 次錐計画問題に基づく剛塑性有限要素法について
山栗祐樹（金沢大）・小林俊一・松本樹典・西藤　潤

0584 洗掘を受けた直接基礎橋脚の支持力評価に関する模型実験
黒木悠輔（鉄道総研）・佐名川太亮・西岡英俊

0585 モーメントと水平荷重が作用した直接基礎の極限鉛直支持力の評価
青木雅路（竹中工務店）・金田一広・田屋裕司

0586 直接基礎を支持する地盤に対する小径杭を用いた地盤改良効果の評価
土井達也（鉄道総研）・日野篤志・室野剛隆

0587 直接基礎の根入れ深さが大地震時の建物応答に及ぼす影響
田村修次（東工大）・淵崎仁智・奥村豪悠・本多　剛

0588 柔なスリーブによる砂地盤上の浅い基礎の支持力増強について
高辻祐紀（徳島大）・藤田翔平・島村知希・上野勝利・渦岡良介

●7月12日（水）　午前（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎①）】　10:50 ～ 12:20
座　長：佐原　守（大林組）

0589 Winkler モデルによる傾斜引張荷重を受ける多層砂地盤中のサクションケーソンの解析
平井弘義（応地研）

0590 拡底杭の引抜き抵抗に関する検討―その 1：遠心力載荷模型実験概要
田中秀季（関西大）・飛田哲男・橋立健司・藤江雄大

0591 拡底杭の引抜き特性に関する遠心載荷試験―その 2：実験結果
藤江雄大（ジャパンパイル）・飛田哲男・田中秀季・橋立健司

0592 拡底杭の引抜き特性に関する遠心載荷試験―その 3：FEM による再現解析
Benjamin Lewis（京大）・Bonggab Kim・澤村康生・藤江雄大・橋立健司

0593 支持層の傾斜が杭基礎建物の地震時杭応力に及ぼす影響について
三辻和弥（山形大）

0594 ケーソン基礎杭を対象とした杭の水平載荷実験
柴田大介（日本港湾コンサルタント）・姜　超・長尾　毅・タラニディ ロハニ

0595 羽根付き杭の引抜き抵抗力の遠心載荷実験に基づく評価
鈴木比呂子（千葉工大）・卜部光平・時松孝次・浅香美治

●7月12日（水）　午後（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎②）】　13:20 ～ 14:50
座　長：西岡　英俊（鉄道総合技術研究所）

0596 Experiments on installation of a close-ended pipe pile using various installation methods in dry sand (Part 1: Outline of experiments)
Syafinaz Saadon（金沢大）・須甲宗一郎・森安俊介・松本樹典・小林俊一・下野慎也

0597 Experiments on installation of a close-ended pipe pile using various installation methods in dry sand (Part 2: Results of experiments)
須甲宗一郎（金沢大）・Syafinaz Saadon・森安俊介・松本樹典・小林俊一・下野慎也

0598 平成 28 年（2016 年）熊本地震による東海大学阿蘇キャンパスの被害（その 1：地盤被害）
杉山太宏（東海大）・渡辺佳勝・藤井　衛

0599 平成 28 年（2016 年）熊本地震による東海大学阿蘇キャンパスの被害（その 2：構造物被害）
渡辺佳勝（トラバース）・杉山太宏・藤井　衛

0600 支持層に不陸がある地盤における支持層の設定と杭施工事例　その 1：基礎計画の概要と施工結果
田口智也（戸田建設）・金子　治・福田　健

0601 支持層に不陸がある地盤における支持層の設定と杭施工事例　その 2 クリギング法による支持層推定
福田　健（戸田建設）・金子　治・田口智也

0602 場所打ち杭掘削時における支持層判定装置の開発
樫本裕輔（オーク）・樫本孝彦

0603 支持層未到達杭を有する群杭の支持力特性
伊藤雅崇（東工大）・田村修次・上田恭平

●7月12日（水）　午後（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎③）】　15:10 ～ 16:40
座　長：本多　剛（竹中工務店）

0604 杭の貫入による埋設パイプの変形に関する模型実験（その 1：実験概要）
下野慎也（金沢大）・守田剣祐・Vu Anh Tuan・松本樹典・小林俊一

0605 杭の貫入による埋設パイプの変形に関する模型実験（その 2：実験結果）
守田剣祐（金沢大）・下野慎也・Vu Anh Tuan・松本樹典・小林俊一

0606 地中部の変位計測を目的とした模型杭の起振器試験
佐名川太亮（鉄道総研）・西岡英俊

0607 開端杭の先端閉塞効果に及ぼす地盤の相対密度の影響
菊池喜昭（東京理科大）・神戸泉慧・兵動太一・大久保政則・小野澤健作

0608 開端杭の内周面摩擦力の杭軸方向分布の推定
神戸泉慧（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・大久保政則・小野澤健作

0609 回転貫入施工をした模型開端杭の先端閉塞現象の観察
佐藤宇紘（熊本大）・菊池喜昭・大谷　順

0610 地盤反力特性の変化に及ぼす杭幅の影響
引地宏陽（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・野村理樹・大竹敏生・妙中真治・森安俊介・及川　森

0611 地盤反力特性の変化に及ぼす杭の中心間隔の影響
野村理樹（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・引地宏陽・大竹敏生・妙中真治・森安俊介・及川　森

●7月12日（水）　午後（III）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎④）】　17:00 ～ 18:30
座　長：伊藤　和也（東京都市大学）

0612 異なる拘束圧条件下における粘性土の動的変形特性
谷川友浩（竹中工務店）・本多　剛・奥村豪悠・濱田純次・西健太郎

0613 遠心模型実験における軟弱粘性土地盤の地震応答
奥村豪悠（竹中工務店）・本多　剛・濱田純次・谷川友浩

0614 軟弱地盤における杭基礎構造物の地震時変位抑制に関する実験的検討
池本宏文（JR 東日本）・高崎秀明・大久保知憲・三上和久

0615 軟弱地盤における杭基礎構造物の地震時挙動に関する実験的検討
大久保知憲（エムテック）・池本宏文・高崎秀明・三上和久

0616 泥炭性軟弱地盤における既設杭基礎の耐震補強技術の実験的検討（その 4：復元力・修復性）
冨澤幸一（寒地土研）・磯部公一・木村　亮

0617 鉄道における杭の設計鉛直支持力評価法の建設実績

に基づく検証
西岡英俊（鉄道総研）・鈴木健一・佐名川太亮・滝沢　聡・神田政幸・藤原寅士良

0618 火山灰質地盤における杭基礎の耐震補強技術に関する検討－液状化層の堆積状況の影響に関する遠心力模型実験－
江川拓也（寒地土研）・林　憲裕・冨澤幸一・磯部公一

●7月13日（木）　午前（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎⑤）】 9:00 ～ 10:30
座　長：濱田　純次（竹中工務店）

0619 弾性FEM解析による群杭基礎とパイルド・ラフト基礎の挙動比較（その1：解析の概要）
森影篤史（日本海コンサルタント）・川森真弓・松本樹典・小林俊一

0620 弾性FEM解析による群杭基礎とパイルド・ラフト基礎の挙動比較（その2：解析結果）
川森真弓（日本海コンサルタント）・森影篤史・松本樹典・小林俊一

0621 砂地盤上のパイルドラフト基礎の動的挙動に関する遠心模型実験
竹村次朗（東工大）・征矢陽光・関　栄

0622 Centrifuge tests on the interaction of sand and piles subjected to reverse faulting
姚　超凡（東工大）・関　栄・棚町圭彌・竹村次朗

0623 鉛直振動荷重を受けるパイルド・ラフトの力学特性に関する研究
西　遥輝（名工大）・Hamayoon Kheradi・長野兄裕・岩井裕正・張　鋒

0624 構造物の固有周期の違いが上屋・杭基礎－液状化地盤系の終局状態に及ぼす影響 その1 遠心載荷実験概要及び杭の保有性能評価
的場萌子（東北大）・後藤天志郎・木村祥裕・田村修次

0625 構造物の固有周期の違いが上屋・杭基礎－液状化地盤系の終局状態に及ぼす影響 その2 上屋・杭基礎－地盤系の終局メカニズム
後藤天志郎（東北大）・的場萌子・木村祥裕・田村修次

●7月13日（木）　午前（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎⑥）】 10:50 ～ 12:20
座　長：冨澤　幸一（寒地土木研究所）

0626 安定液に浸漬された鉄筋と高強度コンクリートの付着強度試験
若井修一（竹中工務店）・平井芳雄・青木雅路

0627 ソイルセメント柱列壁を本設杭として利用した基礎構造の地震時挙動に関する遠心模型実験
冨安祐貴（大林組）・渡邉康司・荒川　真・水本　実

0628 ソイルセメントH形鋼杭の水平抵抗に関する検討
古賀翔平（大林組）・渡邉康司・山本忠久・北出啓一郎

0629 本設杭に利用するソイルセメント柱列壁の引抜き載荷試験
渡邉康司（大林組）・荒川　真・水本　実・佐藤真弘

0630 液状化地盤におけるシートパイル補強工法の試計算
戸田和秀（鉄道総研）・斉藤聡彦・佐名川太亮・京田英宏・西岡英俊・関根悦夫

0631 電気比抵抗調査を用いた埋め込み杭工法におけるソイルセメントの強度予測に関する研究（室内試験での材齢と一軸圧縮強度の関係より）
櫻井洋人（立命館大）・藤井　衛・持田泰秀

0632 電気比抵抗測定器の作製とその活用に関する研究（埋め込み杭工法における現場測定の検証）
沢田亮輔（立命館大）・藤井　衛・持田泰秀

●7月13日（木）　午後（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎⑦）】 13:20 ～ 14:50
座　長：神田　政幸（鉄道総合技術研究所）

0633 subloading tij モデルによる強風化岩の平板載荷試験のシミュレーション
中谷　登（大日本土木）・澄川洋平・花輪高史・高橋秀明・田邉　成・中井照夫

0634 杭頭部にコンクリートを充填した鋼管杭の正負交番載荷実験
佐藤睦月（東北大）・的場萌子・廣瀬智治・木村祥裕

0635 岩盤を対象とした杭の載荷試験事例
遠藤正悟（基礎地盤コンサルタンツ）・白井康夫・金丸功希・田中　淳・栃尾　健

0636 博多港（中央ふ頭地区）岸壁（-10m）改良工事における二軸同軸アースオーガーセメントミルク注入工法杭の支持力性能について
永島田剛（国土交通省九州地方整備局博多港湾・空港整備事務所）

0637 小径スパイラル杭のH-V－M複合荷重に対する支持力特性とその推定方法の提案
山内　稜（北大）・磯部公一・中川修一

0638 スパイラル杭とドレーンパイプを併用した小規模構造物基礎の液状化対策工法に関する振動台実験
日高　亮（九工大）・堀　祐大・水口　誉・廣岡明彦・永瀬英生

0639 節杭を用いたプレボーリング根固め工法杭の荷重～沈下量関係推定方法の検証
小椋仁志（ジャパンパイル）・鈴木　誠・鈴木将平

0640 外周壁状部材による地震時地盤変位に起因する杭応力の低減効果（その2）壁に生じる応力
眞野英之（清水建設）・周　友昊・吉成勝美

●7月13日（木）　午後（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（杭基礎⑧）】 15:10 ～ 16:40
座　長：鈴木比呂子（千葉工業大学）

0641 地盤・地震動の違いによる杭基礎被害の簡易検討
落合　努（構造計画研究所）・関口　徹・吉澤睦博

0642 ラーメン高架橋における構造物全体の入力損失効果に関する基礎的検討
寶地雄大（鉄道総研）・室野剛隆

0643 杭の衝撃載荷試験においてモビライズされる杭先端抵抗と反射波の形状について
西村真二（シーズエンジニアリング）

0644 非線形応答関数を用いた杭の水平載荷試験の検証
高木翔太（豊橋技科大）・三浦均也・松田達也・澤木達也・栗田和博・鈴木祥哲

0645 液状化による側方流動を伴う杭・地盤系に対する遠心力場での拡張型相似則の適応性
澤田凱人（京大）・上田恭平・井合　進

0646 隣接建物の存在が鉄道高架橋の有効入力動に与える影響に関する基礎的検討
和田一範（鉄道総研）・室野剛隆

0647 数値解析による杭基礎一体型鋼管集成橋脚構造の耐震性能評価
西井　優（北大）・磯部公一・澤村康生・杉山裕樹・篠原聖二・曽我恭匡・木村　亮

0648 Eーディフェンス実験における群杭の水平地盤反力と杭周辺地盤変位の関係
大野結衣（東工大）・田村修次・柴田景太・船原英樹・長尾俊昌

●7月14日（金）　午前（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－グラウンドアンカー①】 9:00 ～ 10:30
座　長：渡辺　健治（鉄道総合技術研究所）

0649 グラウンドアンカーの頭部振動特性による緊張力評価システムの開発（その1）
－振動特性評価に関する考察－
松永　嵩（原子燃料工業）・浜崎智洋・小川良太・藤吉宏彰・匂坂充行・礒部仁博・佐山政幸・佐山勝一

0650 グラウンドアンカーの頭部振動特性による緊張力評価システムの開発（その2）
―現地計測結果に関する評価・検証―
浜崎智洋（NEXCO西日本）・松永　嵩・小川良太・藤吉宏彰・匂坂充行・礒部仁博・佐山政幸・佐山勝一

0651 グラウンドアンカーの頭部振動特性による緊張力評価システムの開発（その3）
―FEM解析による検証―
小川良太（原子燃料工業）・浜崎智洋・松永　嵩・藤吉宏彰・匂坂充行・礒部仁博・佐山政幸・佐山勝一

0652 引抜き後における大口径圧縮型グラウンドアンカーの挙動
森　利弘（熊谷組）

0653 東海北陸自動車道におけるグラウンドアンカー工緊張力の評価と維持管理
山崎　充（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋）・八木原浩・岩崎真二郎・西本朝彦・酒井俊典

0654 旧タイプアンカーを有するのり面健全度調査の一考察
松崎孝汰（ネクスコ・エンジニアリング東北）・澤野幸輝・高梨俊行・三上尚人・高橋卓也

0655 2016年熊本地震におけるグラウンドアンカーの健全性調査
酒井俊典（三重大）・宮武裕昭・近藤益央・横山一輝・山下英二・高梨俊行・常川善弘・田口浩史・小松晃二

●7月14日（金）　午前（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－グラウンドアンカー②】 10:50 ～ 12:20
座　長：竹村　次朗（東京工業大学）

0656 曲げ変形を受けたPC鋼アンカーにおける破断時の垂直荷重と軸荷重の関係
久保直矢（三重大）・酒井俊典・平田晃真・宮武裕昭・近藤益央・横山一輝・山下英二・高梨俊行・常川善弘・田口浩史

0657 垂直荷重を受けたPC鋼アンカーにおける曲げ変位特性と軸荷重の関係
常川善弘（相愛）・酒井俊典・久保直也・平田晃真・宮武裕昭・近藤益央・横山一輝・山下英二・高梨俊行・田口浩史

0658 アンカー実物試験装置におけるテンドン破断時の頭部挙動について
高梨俊行（川崎地質）・酒井俊典・久保直也・平田晃真・宮武裕昭・近藤益央・横山一輝・山下英二・常川善弘・田口浩史

0659 機能低下したアンカーのり面における残存引張り力分布調査の有効性について
小川智久（ネクスコ東日本エンジニアリング）・宗形和洋・奥村欣司・高梨俊行・奥山正裕・宮島明義・渡辺陽太

0660 グラウンドアンカー荷重計測の考察
平松良太（北海道土質コンサルタント）・酒井俊典・宮武裕昭・近藤益央・横山一輝・山下英二・常川善弘・田口浩史・高梨俊行

0661 部分的なグラウンドアンカーの変状が長期的なのり面の安定に与える影響について
和地　敬（NEXCO総研）・藤岡一頼・藤原　優

0662 横補強筋を配したグラウンドアンカーの引抜き試験結果
中村真也（琉球大）・東　康治・長谷川陽一・小町　理・長木大剛

●7月14日（金）　午後（I）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（基礎一般①）】 13:20 ～ 14:50
座　長：谷川　友浩（竹中工務店）

0565 スカートサクション基礎の水平支持特性におけるサクションの影響
伊藤政人（大林組）・栗本　卓・粕谷悠紀・ソッキアン スレン

0566 砂質土地盤におけるスカートサクション基礎の遠心模型振動実験
粕谷悠紀（大林組）・樋口俊一・栗本　卓・佐藤　伸・伊藤政人・高橋真一

0567 狭隘部に小型FWD試験を適用した函渠基礎地盤の強度評価事例
志村智之（シムラ）・藤岡龍馬・林　良樹・中野智洋

0568 地盤改良を併用したパイルド・ラフト基礎の耐震性能に関する解析的検討
重野喜政（竹中工務店）・山下　清・濱田純次

0569 振動方向の違いによる単柱式鉄道橋脚の減衰特性の変化
石川太郎（鉄道総研）・坂井公俊・小島謙一

0570 敷鉄板の寸法の違いが地盤の補強に与える影響
堀　智仁（安衛研）・玉手　聡

0571 締固め条件が砕石補強体の支持力に及ぼす影響
大石新之介（尾鍋組）・濵口幸三・尾鍋哲也・酒井俊典・神村　真

0572 平板載荷試験と簡易載荷試験の地盤定数の比較
佐野大作（戸田建設）・金子　治・福田　健・田口智也

●7月14日（金）　午後（II）の部　第3会場
【地盤と構造物－基礎構造物（基礎一般②）】
15:10 ～ 16:40
座　長：森　伸一郎（愛媛大学）

0573 水理模型実験による防波堤基礎補強構造の耐津波性評価
ヘマンタ ハザリカ（九大）・西村謙吾・バブルー チョードゥリー・門司直也・劉　傑

0574 断層を跨ぐ鉄道ラーメン高架橋の基礎形式の違いによる地震時挙動の比較
日野篤志（鉄道総研）・室野剛隆

0575 透明土を用いた基礎の引揚抵抗メカニズムの可視化解析
野々山栄人（防衛大）・宮田喜壽・高野大樹

0576 基礎の支持地盤条件の変化に対する固有振動数および設計応答値の感度分析
名取　努（鉄道総研）・西岡英俊・阿部慶太

0577 鋼管矢板基礎の構造特性に着目した立体骨組解析の適用性に関する研究
服部匡洋（阪神高速道路技術センター）・安藤高士・篠原聖二・西原知彦・木村　亮

0578 分割施工による大規模免震建物の不同沈下検討例 その1：概要
佐原　守（大林組）・鈴木直子・児島理士・戸能恵美

0579 分割施工による大規模免震建物の不同沈下検討例 その2：解析値と計測値
児島理士（大林組）・佐原　守・鈴木直子・戸能恵美

0580 地中連続壁の溝壁安定に関する研究
藤井太志（大林組）・渡邉康司・矢部文生・石井武司・齋藤邦夫

●7月12日（水）　午前（I）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化①）】
9:00 ～ 10:30
座　長：原　忠（高知大学）

0782 せん断波速度に着目したブロックサンプリング試料と再構成試料による三軸液状化試験
梅原由貴（東大）・清田　隆

0783 過圧密履歴と年代効果の液状化強度とせん断弾性係数に及ぼす影響
根布谷有美（東京理科大）・高橋耀介・山本昌徳・兵動太一・塚本良道

0784 豊浦砂の三軸液状化強度と密度・せん断波速度の関係
呉　杰祐（東大）・清田　隆・片桐俊彦

0785 様々な粒度分布を持つ砂質土の液状化抵抗評価のための最小間隙比の求め方
百間幸晴（東北大）・河井　正・風間基樹・金　鍾官

0786 大地震時の液状化現象の発生メカニズムと発生の予測方法
塩井幸武（八戸工業大）・橋詰　豊

0787 地盤全体系の強度低下を指標とした液状化判定の有効性検証
坂井公俊（鉄道総研）・小島謙一

0788 大変形理論に基づくひずみ空間多重せん断モデルを用いた平面ひずみ軸圧縮試験に関する検討
植村一瑛（応用地質）・林　健二・三上武子・上田恭平

0789 被災確率論を用いた液状化判定手法の適用
北郷真理（福島高専）・金澤伸一・坂本将吾

●7月12日（水）　午前（II）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化②）】
10:50 ～ 12:20
座　長：宇野　浩樹（大成建設）

0790 堆積角度に応じた初期構造異方性を有する水平地盤の地震時液状化挙動
浦谷啓太（京大）・上田恭平・井合　進

0791 先行効果を考慮した弾・粘塑性構成モデルの動的解析への適用
田中直人（神戸大）・竹山智英・飯塚　敦・平田昌史・田中麻穂

0792 液状化解析における MPM の精度検証に関する基礎的研究
広田直哉（京大）・肥後陽介・桐山貴俊・竹内智昭

0793 二相系 MPM を用いた地震時液状化地盤の過剰間隙水圧の上昇および消散シミュレーション
桐山貴俊（清水建設）・福武毅芳・肥後陽介

0794 水～土連成有限変形解析による球形ガスホルダー基礎地盤の地震中～地震後挙動の検討
高稲敏浩（GEOASIA 研究会）・小林実央・野田利弘・中井健太郎・曽根好徳・浅岡　顯・大保直人・小口憲武

0795 地盤の液状化時不等沈下による球形ガスホルダーの終局状態に着目した耐震性評価手法の提案
小林実央（東京ガス）・高稲敏浩・野田利弘・中井健太郎・曽根好徳・浅岡　顯・大保直人・小口憲武

0796 表層地盤の非線形性および多次元波動伝播の影響を考慮した基盤入射波の推定法の提案
山田正太郎（名大）・野田利弘・浅岡　顯・澤田義博・永田　優

0797 大変形理論に基づくひずみ空間多重せん断モデルの適用限界の検討
藤井紀之（応用地質）・上田恭平・三上武子・飛田哲男

●7月12日（水）　午後（I）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化③）】
13:20 ～ 14:50
座　長：清田　隆（東京大学）

0798 地表面観測記録に見られる液状化地盤の特性
保井美敏（戸田建設）・飯場正紀・小豆畑達哉・井上波彦・田沼毅彦・山本健史

0799 東日本大震災で液状化した地盤における地震前後の N 値の比較
安田　進（東京電機大）・橋本隆雄

0800 地盤と地下構造物の動的相互作用による地表面沈下に関する研究－その3 模型振動実験を対象とした数値解析の基礎検討－
大矢陽介（港空研）・小濱英司・佐伯嘉隆・佐藤　成

0801 街全体をモデル化した3次元解析による液状化被災原因の検討
津國正一（竹中土木）

0802 巨大地震時の余震に着目した直接基礎構造物の変形挙動
永井慎太郎（東京電機大）・石川敬祐・安田　進・金井勇介

0803 隣接構造物における液状化挙動に関する研究
高徳亮太（東京都市大）・上村健太郎・伊藤和也・末政直晃・吉川直孝・平岡伸隆

0804 せん断ひずみ履歴が微小抵抗領域の大きさに与える影響について
富田真之（東北大）・風間基樹・河井　正・金　鍾官

0805 砂質土に砂鉄を混合した液状化強度特性
佐久間秋津（木更津高専）・鬼塚信弘

●7月12日（水）　午後（II）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化④）】
15:10 ～ 16:40
座　長：風間　基樹（東北大学）

0806 本震による過剰間隙水圧の上昇・転移が余震時の液状化に与える影響
佐藤　大（東工大）・時松孝次

0807 初期せん断応力下での複数回液状化特性に関する多層リング繰り返し単純せん断試験
森本時生（東大）・古関潤一・青柳悠大

0808 繰返し中空ねじり試験による液状化に及ぼす余震外力の特性評価
小林孝彰（港空研）・佐々真志・渡辺啓太

0809 長期圧密による砂の力学特性変化
西村裕平（長岡技科大）・豊田浩史・高田　晋・田中将平

0810 加振履歴と砂地盤の液状化強度との関係と体積ひずみによる定量的評価
渡邉翔太（愛媛大）・岡村未対

0811 Vs Measurement in Centrifuge Test and Effects of Small Pre-shakings on Vs
Asri Nurani Sjafruddin（愛媛大）・渡邉翔太・岡村未対

0812 不飽和地盤の液状化強度発現に関する解析的研究
長浦崇晃（神戸大）・杉山友理・竹山智英・飯塚　敦

●7月13日（木）　午前（I, II）の部　第4会場
【DS-9　地盤品質判定士の役割と期待】
9:00 ～ 12:20

主催委員会：地盤品質判定士協議会　地盤品質判定士会
座　長：北詰　昌樹（東京工業大学）
副座長：小田部雄二（アサノ大成基礎エンジニアリング）
プログラム：
1. 一般発表（17 編、No.0010 ～ 0026）

0010 地盤品質判定士の役割と活動
北詰昌樹（東工大）

0011 地盤品質判定士会神奈川支部の設立と今後の課題
立花秀夫（地盤品質判定士会）・高橋一紀・大久保拓郎・福元俊一

0012 一土木系地盤技術者から見た住宅地盤調査
菅野安男（ジャパンホームシールド）

0013 宅地における擁壁に係る法令と適用範囲
大久保拓郎（環境地質サービス）

0014 国土交通省告示第 1113 号におけるいくつかの用語の間違いについて
杉村義広（基礎構造研究会）

0015 住宅地盤の評価に対する一考察 その2
小野日出男（服部地質調査）・中村裕昭・大久保拓郎

0016 スウェーデン式サウンディング試験と N 値，qu 値との相関の再検討
大島昭彦（大阪市大）

0017 戸建住宅業界の柱状改良工法に対する注意喚起（その2）
菱沼　登（地盤安心住宅整備支援機構）

0018 含水比による体積圧縮係数と圧密係数の推定
尾上篤生（興亜開発）

0019 不同沈下を生じた宅地地盤の調査事例から地盤品質判定士に望む役割について
原　勝重（新協地水）

0020 大規模盛土造成地の変動予測調査の事例と課題
藤田安秀（アジア航測）

0021 地盤品質判定士の目で見た 2016 年熊本地震の宅地被害
諏訪靖二（諏訪技術士事務所）・福田光治・神宮司悠介

0022 熊本県益城町から採取した火山灰質土の物理・力学特性 ～平成 28 年熊本地震における宅地被害の考察～
森　友宏（前橋工科大）

0023 震災宅地擁壁復旧に関する事業と設計上の留意点
門田浩一（パシフィックコンサルタンツ）

0024 大規模盛土造成地マップの留意点と活用について
山口秀平（復建技術コンサルタント）・佐藤真吾・市川　健

0025 スレーキング性岩盤で造成した谷埋め盛土の経年変化
市川　健（復建技術コンサルタント）・佐藤真吾・山口秀平

0026 地震時における盛土造成宅地上の木造建物被害リスクについて
佐藤真吾（復建技術コンサルタント）・市川　健・山口秀平・風間基樹

●7月13日（木）　午後（I）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化⑤）】
13:20 ～ 14:50
座　長：中澤　博志（防災科学技術研究所）

0813 農地の液状化対策法の立案と検証
川口勇一朗（木更津高専）・鬼塚信弘

0814 後背湿地への盛土造成宅地の液状化被害
齋藤禎二郎（西松建設）・落合　努・細川聡美・安田　進

0815 地震時における火山灰性粘性土上の小規模建築物の不安定性の簡易予測
渡邊大樹（茨城大）・安原一哉・小林　薫・吉見雅行・細谷卓志・荒井靖仁・村上　哲

0816 既存の住宅造成地盤における地震時の液状化被害可能性予測に関する事例研究
白　濟民（神戸大）・許　晋碩・李　俊憲・片岡沙都紀・澁谷　啓

0817 液状化予測図の事例比較
粕田金一（基礎地盤コンサルタンツ）

0818 バイブロを用いた起振時水圧計測による締固め改良地盤の評価
山下勝司（不動テトラ）・鈴木亮彦・竹内秀克・今井優輝

0819 孔内水平載荷試験による液状化年代効果の計測技術の研究
益田和夫

●7月13日（木）　午後（II）の部　第4会場
【地盤防災－地震（一般）】　15:10 ～ 16:40
座　長：河井　正（東北大学）

0775　2015年ネパール・ゴルカ地震によるランタン谷の被害と復旧
諏訪靖二（諏訪技術士事務所）・岡田和泰

0776　平成28年熊本地震における高速道路での盛土の被災状況と崩壊メカニズムの推定
村上豊和（NEXCO西日本）・田山　聡・濱崎智洋

0777　地表地震断層変位と表層条件との関係
井上直人（地域地盤環境研究所）・北田奈緒子・高浜　勉・登梛正夫

0778　地盤不連続点と地震時と常時のトンネル被害の関係（その2）
那須　誠（元前橋工科大）

0779　蛇籠を用いた道路擁壁の耐震性評価に関する実大規模振動台実験（その1）－実験概要－
田所佑理佳（高知大）・原　忠・中澤博志・田端憲太郎・末次大輔・松尾光流・栗林健太郎・西　剛整・三好克明・ヘマンタ ハザリカ

0780　蛇籠を用いた道路擁壁の耐震性評価に関する実大規模振動台実験（その2）―加振実験―
末次大輔（佐賀大）・松尾光流・中澤博志・原　忠・田所佑理佳・栗林健太郎・西　剛整

0781　蛇籠を用いた道路擁壁の耐震性評価に関する実大規模振動台実験（その3）―残留変形の評価―
臼倉和也（エイト日本技術開発）・原　忠・田所佑理佳・中澤博志・田端憲太郎・末次大輔・松尾光流・西　剛整・栗林健太郎

●7月14日（金）　午前（I）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化対策①）】　9:00 ～ 10:30
座　長：末政　直晃（東京都市大学）

0820　2点同時注入による効率的な脈状注入工法の検討
井澤　淳（鉄道総研）・荒木　豪・小島謙一・大西高明・藤原寅士良・細井　学・水野弘二

0821　脈状注入による地盤改良効果の持続性に関する検討
荒木　豪（鉄道総研）・井澤　淳・小島謙一・大西高明・藤原寅士良・細井　学・水野弘二

0822　新たなCPG工法の現場実証実験　－概要および施工状況－
竹之内寛至（三信建設工業）・佐々真志・山崎浩之・小西　武・菅野雄一・岡田　宙・高橋　但

0823　新たなCPG工法の現場実証実験－地点隆起量について―
足立雅樹（みらい建設工業）・佐々真志・山崎浩之・新坂孝志・高田圭太・岡田　宙・高橋　但

0824　新たなCPG工法の現場実証実験－隆起抑制効果について－
岡見　強（東興ジオテック）・佐々真志・山崎浩之・小西　武・竹之内寛至・木村康隆・高橋　但

0825　液状化対策として外周部に配置するグラベルコンパクションパイル（GCP）に用いる砕石材料についての考察
久保陽太郎（不動テトラ）・村上恵洋・沖田雅夫・小熊　宏

0826　幾何学形状が異なるSCP改良地盤の液状化防止への効果に関する遠心模型実験
李　楊（東工大）・北詰昌樹・高橋章浩・大林　淳・原田健二

0827　締固めグラベルパイルによる宅地地盤の液状化対策効果に関する検討
猪狩貴寛（長岡技科大）・大塚　悟・福元　豊・折戸清治

●7月14日（金）　午前（II）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化対策②）】　10:50 ～ 12:20
座　長：小濱　英司（港湾空港技術研究所）

0828　鋼管矢板を用いた堤防の液状化対策工法の提案 その1：自立式鋼管矢板連続壁
宮之原朋子（技研製作所）・尾川七瀬・古市秀雄

0829　鋼管矢板を用いた堤防の液状化対策工法の提案 その2：2列式鋼管矢板連続壁
尾川七瀬（技研製作所）・宮之原朋子・古市秀雄

0830　薄鋼矢板を用いた液状化被害軽減工法に関する1／4振動台実験の再現解析（その1）
－2次元3次元モデルによる相違－
佐々木修平（住友林業）・安田　進・石川敬佑・立石　章・宇野浩樹・金子雅文

0831　薄鋼矢板を用いた液状化被害軽減工法に関する振動台実験の再現解析（その2）
－矢板のせん断剛性が及ぼす影響－
宇野浩樹（大成建設）・佐々木修平・安田　進・立石　章・金子雅文・石川敬佑

0832　矢板により水平土圧を増加させる盛土液状化対策工の遠心模型実験
高木翔平（愛媛大）・岡村未対・陣内尚子

0833　矢板により水平土圧を増加させる盛土液状化対策工の数値解析
陣内尚子（愛媛大）・岡村未対・高木翔平

0834　遠心加振模型実験による地盤補強材を併用した表層地盤改良の液状化被害抑制効果の検証
寺尾卓真（大阪市大）・山田　卓・斎藤　愛・大島昭彦

0835　浅層地盤の締固めに関する基礎的実験
深田　久（不動テトラ）・今給黎健一・渡辺英次

●7月14日（金）　午後（I）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化対策③）】　13:20 ～ 14:50
座　長：上野　一彦（五洋建設）

0836　脱窒反応による土中のバイオガス生成を用いた不飽和化技術の研究開発
中野晶子（九大）

0837　微生物固化において析出する炭酸カルシウム結晶の特性に関する研究
伊藤留寿都（富山県立大）・畠　俊郎

0838　尿素分解菌と脱窒菌を組合せた微生物固化についての検討
松林達也（富山県立大）・畠　俊郎・中野晶子

0839　高水セメント比の極超微粒子セメント注入材を用いた室内浸透試験
王　維弘（東京理科大）・橋本和佳・兵動太一・塚本良道・宇田川幹・梶原　沢

0840　高濃度薬液固結砂の長期強度特性について
山崎　知（早大）・中道　馨・赤木寛一・川村　淳・渡邊陽介

0841　針貫入試験による薬液固結砂の強度推定について
中道　馨（早大）・山崎　知・赤木寛一・川村　淳・渡邊陽介

0842　排水工法による液状化伝播・ボイリング被害抑止に関する研究
佐々真志（港空研）・山崎浩之・林健太郎・吉岡保弘

0843　人工ドレーン材を用いた液状化対策効果に関する研究
津田裕也（中部大）・余川弘至・八嶋　厚・吉原孝保・渡邊将成・山田公夫

●7月14日（金）　午後（II）の部　第4会場
【地盤防災－地震（液状化対策④）】　15:10 ～ 16:40
座　長：塚本　良道（東京理科大学）

0844　丸太打設により改良された海岸埋立地の地震・間隙水圧観測システムの概要
林　聖淳（高知大）・原　忠・三村佳織・沼田淳紀

0845　排水機能付実丸太の液状化対策効果に関する基礎的実験
吉田雅穂（福井高専）・松浦　透・沼田淳紀

0846　丸太剛性の構造物沈下抑制効果を地盤の密度増大による効果として表現するための解析的研究
吉川達也（中部大）・余川弘至・沼田淳紀・三輪　滋

0847　地盤中に排水材を打設するための低振動低騒音型小型回転圧入装置の開発
渡邊将成（岐阜大）・村田芳信・八嶋　厚・余川弘至・須田楓可・吉原孝保・津田裕也・吉川達也

0848　高圧噴射撹拌工法を用いた六角形格子状改良による液状化抑制工法の開発－その3：遠心力模型実験の再現解析－
竹内仁哉（日特建設）・大西朝晴・中島雅和・磯部有作

0849　格子状地盤改良に対する疑似3次元解析手法の適用性の検討
今井政之（竹中土木）・金田一広

0850　格子状地盤改良における格子内地盤の応力評価について
内田明彦（竹中工務店）

0851　直接基礎構造物の沈下に伴う液状化地盤内の変形と格子状改良の改良範囲・深度の検討
武田祐輔（名工大）・田中雄也・森河由紀弘・前田健一・佐藤智範

●7月12日（水）　午前（I）の部　第5会場
【地盤と構造物－路盤・路床】　9:00 ～ 10:30
座　長：阿部　長門（東亜道路工業）

0548　衝撃加速度を用いた路盤の品質管理方法の検討について
久慈直之（寒地土研）・林　憲裕・佐藤厚子

0549　原位置混合方式による改良土を用いた切土部路床の構築
若原千恵（東洋スタビ）・横田聖哉・渡辺忠明

0550　路面下空洞周辺の地盤強度特性に関する一事例
伊藤亮太（応用地質）・宇野嘉伯・川原孝洋

0551　凍結時の繰返し載荷履歴が融解後の土のレジリエントモデュラスに及ぼす影響
青木亮介（北大）・所　哲也・石川達也

0552　関東ロームの安定処理における撹拌が物理的特性およびCBRに及ぼす影響
岡田貴行（日大）・峯岸邦夫・山中光一・若月洋朗

0553　不飽和鉄道バラストの繰返し変形特性に及ぼす細粒分の影響評価
松谷真吾（北大）・石川達也・青柳智之・中村貴久・桃谷尚嗣

0554　軟弱地盤における道路舗装状況が車両走行時の近傍地盤応答に及ぼす影響（その3）
石田理永（石田振動環境研究室）・石田栄介・岩田克司

0555　生分解性ポリマーを用いた鉄まくらぎ用軌道補修方法に関する実物大模型試験
木次谷一平（鉄道総研）・中村貴久・伊地知卓也

0556　造粒化によるアスファルト舗装切断汚水の再資源化の試み
早野公敏（横浜国大）・松本亜里紗・山口裕央・星野繁文・髙橋俊樹・松戸大輔

●7月12日（水）　午前（II）の部　第5会場
【地盤と構造物－土構造物（その他）】　10:50 ～ 12:20
座　長：笠間　清伸（九州大学）

0557　ケーソン式防波堤の鉛直傾斜荷重に対する支持力解析
山根悠司（長岡技科大）・大塚　悟・山崎浩之・金田一広

0558　表流水による地盤材料の吸出し低減に対するジオグリッド敷設の効果 その1
柿原結香（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・小林貴瑠・二瓶泰雄・倉上由貴・渡辺健治・工藤敦弘・龍岡文夫

0559　表流水による地盤材料の吸出しに対するジオグリッド敷設の低減効果 - その2 -
小林貴瑠（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・柿原結香・二瓶康雄・倉上由貴・渡辺健治・工藤敦弘・龍岡文夫

0560　熱赤外線カメラによる補強土壁内部の検討
横山一輝（土研）・近藤益央・藤田智弘・宮武裕昭

0561　高速道路の点検データを用いたのり面変状の統計分析
窪田上太郎（大阪大）・小田和広・小泉圭吾・櫻谷慶治・伊藤真一・越村謙正

0562　吹付コンクリートのり面の赤外線調査と現地点検調査との相関性
小林怜史（ネクスコ東日本エンジニアリング）・佐藤達雄・永井　宏・奥村欣司

0563　施工時期の違いを考慮した盛土構造物の初期応力解析
五十嵐日菜（福島高専）・松崎慎也・金澤伸一

0564　過剰間隙水圧の再分配を伴う難透水層を含む複合地盤の液状化挙動
橋本卓磨（京大）・上田恭平・三上武子・井合　進

●7月12日（水）　午後（I）の部　第5会場
【地盤防災－地震（地盤震動①）】　13:20 ～ 14:50
座　長：一井　康二（関西大学）

0865　2016年熊本地震の本震における宇土市造成地すべり地での地震動の評価
秦　吉弥（大阪大）・山内政輝・湊　文博・大川雄太郎

0866 地域の特性を考慮した津波避難困難区域に関する評価－能登半島北方沖の地震による石川県輪島市舳倉島を例として－
山内政輝（大阪大）・秦　吉弥・村田　晶・鍬田泰子・小山真紀・中嶋唯貴・宮島昌克・常田賢一

0867 2003年十勝沖地震における苫小牧市街地での地震動の評価
湊　文博（大阪大）・秦　吉弥・大川雄太郎・山内政輝

0868 同一地域メッシュ内における高密度強震動予測に関する試み―沖縄県石垣市街地を例として―
大川雄太郎（大阪大）・秦　吉弥・湊　文博・山内政輝

0869 琵琶湖沖島での臨時地震観測に基づく居住地域におけるサイト増幅特性の評価
植田裕也（大阪大）・秦　吉弥・山内政輝・大川雄太郎

0870 熊本地震における白川堤防の地震動・間隙水圧記録
谷本俊輔（土研）・地蔵智樹・佐々木哲也

0871 2016年熊本地震の震源断層の破壊過程と熊本港への影響
野津　厚（港空研）

0872 Study of Kumamoto Earthquake Disaster in Mashiki Town Area from Microtremor Measurements
Tara Nidhi Lohani（神戸大）・長尾　毅・福島康宏

0873 重力異常を用いた亜炭層の存在位置の推定
伊藤健介（中部大）・杉井俊夫・浅野憲雄

●7月12日（水）　午後（II）の部　第5会場
【地盤防災－地震（地盤震動②）】　15:10 ～ 16:40
座　長：野津　厚（港湾空港技術研究所）

0874 気象庁八戸市湊町観測点で観測された地震動記録の卓越振動数と最大速度振幅との関係について
片岡俊一（弘前大）・田口実香

0875 常時微動観測による地盤の堆積構造の推定と地震防災への応用
中村友紀恵（高知大）・原　忠・石川　諒・山田雅行・伊藤佳洋

0876 動的平板載荷実験に基づく地盤最表層のＳ波インピーダンス測定法の開発
江口拓生（京大）・後藤浩之・川方裕則・土井一生・高橋直樹・澤田純男

0877 地層不整形性が地震中～地震後の表層地盤被害に及ぼす影響
中井健太郎（名大）・野田利弘・中島　努・浅岡　顕

0878 強震動評価のための浅部・深部統合地盤モデルの構築
先名重樹（防災科研）・神　薫・若井　淳・前田宜浩・松山尚典・藤原広行

0879 微動アレイ観測による関東地域全域の３次元Ｓ波速度構造モデルの構築
神　薫（防災科研）・先名重樹・若井　淳・松山尚典・藤原広行

0880 関東地域における極小アレイ微動観測に基づく浅部地盤モデルの高度化
若井　淳（防災科研）・先名重樹・神　薫・長　郁夫・松山尚典・藤原広行

0881 ボーリング資料および微動探査データによる熊本平野および益城町中心部の強震動予測のための浅部地盤の弾性波速度構造モデルの作成
松山尚典（応用地質）・先名重樹・谷田貝淳・鈴木晴彦・神　薫・若井　淳・藤原広行

●7月12日（水）　午後（III）の部　第5会場
【地盤防災－地震（地盤震動③）】　17:00 ～ 18:30
座　長：片岡　俊一（弘前大学）

0882 微動アレー探査技術を活用した広域地盤・震度予測システムの開発（その2）
蔡目智沙（建設技術研究所）・中下恵勇・田中　智・佐々木孝雄・大庭哲哉・古本吉倫・小坂共栄

0883 2016年熊本地震による益城町中心部の被害調査と微動観測
新井　洋（建研）・柏　尚稔

0884 個別要素法を用いた木造住宅の倒壊シミュレーション
石川　諒（高知大）・原　忠・山田雅行・伊藤佳洋・橋田広加

0885 諏訪湖周辺での常時微動観測Ｈ／Ｖスペクトル比の卓越周波数分布
中村優孝（大阪市大）・大島昭彦・小坂慎一・末吉拳一・平井俊之・堤　杏紗

0886 熊本県益城町での常時微動Ｈ／Ｖスペクトル比の卓越周波数分布
平井俊之（ニュージェック）・大島昭彦・小坂慎一・中村優孝・平田茂良・高橋秀一・西塔純人

0887 常時微動観測に基づく基盤傾斜角の簡易推定法の提案
田中浩平（鉄道総研）・坂井公俊・盛川　仁・飯山かほり

0888 加勢川水門における熊本地震の鉛直アレー記録の分析
地蔵智樹（土研）・谷本俊輔・佐々木哲也

0889 F-K パワースペクトル・ピーク波数の直接推定法
成田修英（戸田建設）・保井美敏・山本健史・小阪宏之

●7月13日（木）　午前（I）の部　第5会場
【地盤防災－斜面防災　他】　9:00 ～ 10:30
座　長：高柳　剛（鉄道総合技術研究所）

0970 阿蘇の崩壊地におけるデジタル化した山中式土壌硬度計による強度の不連続性把握に関する研究
徳永　翔（山梨大）・後藤　聡

0971 岩盤斜面のUAV撮影画像における背景差分法の適用性検討
日外勝仁（寒地土研）・角田富士夫・山崎秀策・倉橋稔幸

0972 流れ盤を呈する泥質岩切土のり面の安定度評価
和賀征樹（ネクスコ・エンジニアリング東北）・小松順一・澤野幸輝・長尾和之

0973 斜面の表層崩壊の前兆としての地盤内の弾性波伝播の変化
内村太郎（埼玉大）・陳　宇龍・陶　尚寧・謝　済仁・黄　棟

0974 Detecting slope failure by seismic refraction method
陶　尚寧（東大）・Selvarajah Hemakanth・内村太郎・Dong Huang

0975 電気抵抗法を用いた種々の外力作用下の飽和地盤のゆるみ挙動把握の試み
髙木健太郎（名工大）・前田健一・山口敦志

●7月13日（木）　午前（II）の部　第5会場
【地盤防災－波浪・津波　他】　10:50 ～ 12:20
座　長：高橋　英紀（港湾空港技術研究所）

0976 蛇籠工の越流エネルギー減衰効果と作用力に関する模型実験
宮本慎太郎（防衛大）・多田　毅・宮田喜壽

0977 浸透流作用時における被覆ブロックの安定性に関する水理模型実験
竹下修平（九大）・笠間清伸・平澤充成・善　功企・古川全太郎・八尋裕一

0978 地盤材料の相似則を考慮した海底地盤内水圧変化に関する造波水路実験
松田達也（豊橋技科大）・三浦均也・佐藤隼可・諫山恭平・澤田弥生

0979 波浪場における杭基礎構造物への作用外力特性の数値波動水路を用いた計算
澤田弥生（豊橋技科大）・松田達也・三浦均也

0980 波動水路における二層海底地盤内の水圧変動の測定
佐藤隼可（豊橋技科大）・松田達也・三浦均也・澤田弥生・諫山恭平

0981 遠心力場における乱泥流の流況観察
宮本順司（東洋建設）・鶴ヶ崎和博・角田紘子・野村　瞬・阪口　秀

●7月13日（木）　午後（I）の部　第5会場
【地盤防災－洗掘・陥没・充填　他】　13:20 ～ 14:50
座　長：佐藤　真理（島根大学）

0982 橋脚前面の下降流を再現した洗掘模型実験
欅　健典（鉄道総研）・渡邉　諭・湯浅友輝・前田健一

0983 下降流による局所洗掘模型実験の再現解析に関する基礎的検討
湯浅友輝（鉄道総研）・渡邉　諭・欅　健典・布川　修・前田健一

0984 繰返し透水履歴を受ける粒状体の内部侵食と目詰まり挙動
佐藤弘瑛（名工大）・前田健一・田坂晃一・中尾通孝

0985 ネパール・ポカラにおける地盤陥没被害の概要と現地調査
志賀正崇（横浜国大）・清田　隆・桑野玲子・池田隆明・小長井一男・Ramamohan Pokhrel・柳浦良行・武政　学・吉川　猛・片桐俊彦

0986 新たな土質材料を用いた空洞充填材の特性
和田幸二郎（飛島建設）・杉浦乾郎・坂本昭夫・石合伸幸・豊田雅博

0987 盛土の橋台接合部に形成される空洞の充填手法に関する検討
阪東聖人（鉄道総研）・高柳　剛・布川　修

●7月14日（金）　午前（I）の部　第5会場
【地盤防災－地震（斜面安定①）】　9:00 ～ 10:30
座　長：内村　太郎（埼玉大学）

0852 切土の耐震診断と耐震補強設計法（その1）
中村　宏（JR東日本）・油谷彬博・山内真也・三平伸吾

0853 切土の耐震診断と耐震補強設計法（その2）
油谷彬博（JR東日本）・中村　宏・山内真也・三平伸吾

0854 2016年熊本地震による火山地域斜面崩壊の特徴と活断層との関係
稲垣秀輝（環境地質）

0855 大規模盛土造成地の第二次スクリーニング優先度評価方法の課題
利藤房男（応用地質）

0856 熊本地震高野台地区地すべりのすべり面試料を用いた繰返し非排水一面せん断試験
長谷川陽一（国土防災技術）・柴崎達也・和田大祐・川嶋陸義

0857 熊本地震による斜面災害の崩壊形状の比較検討
田中大貴（九大）・笠間清伸・古川全太郎・中西隆之介

0858 時刻歴非線形解析における軟岩の引張り破壊後の強度特性のモデル化
石丸　真（電力中研）・大島貴充・橋　和正・兵頭順一

●7月14日（金）　午前（II）の部　第5会場
【地盤防災－地震（斜面安定②）】　10:50 ～ 12:20
座　長：野並　賢（神戸工業高等専門学校）

0859 地震時におけるタイヤ被覆盛土構造物の安定に対する数値解析的検討
栗林健太郎（エイト日本技術開発）・Hemanta Hazarika・鈴木　衛・原　忠・竹澤請一郎・黒田修一・古市秀雄・大角恒雄

0860 固有振動数と入力振動数に着目した飽和盛土造成斜面の1G場振動台実験
村尾英彦（名大）・野田利弘・中井健太郎・吉川高広・堀田　繁

0861 拡張個別要素法による静的傾斜実験の数値シミュレーション
吉田泰基（電力中研）

0862 人工軟岩と不連続性岩盤斜面模型の作製方法に関する検討
関口　陽（電力中研）・石丸　真・小早川博亮・谷口友規・平賀健史

0863 小口径鋼管を用いた斜面補強工の抵抗力評価に関する研究
持田祐輔（新日鐵住金）

0864 支圧板付きロックボルト補強斜面の地震時表層破壊とその補強効果に与える影響に関する実験的検討
中本詩瑶（鹿島建設）・岩佐直人・関　栄・竹村次朗

●7月14日（金）　午後（I）の部　第5会場
【地盤防災－斜面動態モニタリング①】　13:20 ～ 14:50
座　長：深川　良一（立命館大学）

0917 斜面動態モニタリングに関する地質調査　－京都府綾部市安国寺裏斜面を対象として－
矢野晴彦（中央開発）・笹原克夫・辻野裕之

0918 斜面動態モニタリングに関する現地調査・試験　－京都府綾部市安国寺裏斜面を対象として－
鏡原聖史（ダイヤコンサルタント）・笹原克夫・小田和広・小泉圭吾・小山倫史・藤本将光・片岡沙都紀

0919 京都府綾部市安国寺裏斜面を対象とした雨水浸透シミュレーション
大段恵司（大阪大）・小田和広・伊藤真一・小泉圭吾・鏡原聖史・笹原克夫・藤本将光

0920 熊野参詣道横垣峠における地下水位モニタリングに

基づく計測地点選定に関する一考察
石田優子（立命館大）・木林　幹・古根川竜夫・藤本将光・深川良一

0921 地下水位と変位の計測に基づくハイブリッド崩壊発生予測法の提案－既存予測法との比較－
笹原克夫（高知大）

0922 地下水位の計測と可視化を目的とした簡易計測装置の開発
芥川真一（神戸大）・町島祐一・高橋厚志・藤本真希

0923 アンカーのセンサー的機能を利用したのり面モニタリング手法について
石川昌幹（東邦地水）・酒井俊典・常川善弘・阪口和之・矢野真妃・高梨俊行

●7月14日（金）　午後（II）の部　第5会場
【地盤防災－斜面動態モニタリング②】　15:10 ～ 16:40
座　長：藤本　将光（立命館大学）

0924 砂質模型斜面における崩壊検知のための変位の計測精度について
渡邉　聡（復建調査設計）・岩田直樹・笹原克夫・中井真司

0925 砂質模型斜面における崩壊検知のための計測時間間隔について
岩田直樹（中電技術コンサルタント）・渡邉　聡・笹原克夫・荒木義則

0926 OCMによる斜面変位計測の精度検証に関する研究
山本健史（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・福田芳雄

0927 斜面動態モニタリングデータの解釈を目的としたカラム模型実験
喜多浩志（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・小松　満・櫻谷慶治

0928 斜面動態モニタリングデータの解釈を目的とした模型斜面実験
小泉圭吾（大阪大）・櫻谷慶治・小田和広・小橋俊也・伊藤真一・小松　満・笹原克夫

0929 大型模型斜面を用いた散水実験における浸透挙動に関する一考察
檀上　徹（防災科研）・石澤友浩・酒井直樹

0930 地震後の盛土斜面における降雨時斜面安定性の実験的考察
野中慎介（立命館大）・平岡伸隆・角　宏一・藤本将光・深川良一

●7月12日（水）　午前（I）の部　第6会場
【地盤材料－粘性土（強度・変形①）】　9:00 ～ 10:30
座　長：金田　一広（竹中工務店）

0139 沖積粘土の二次圧密に関する一考察
小川　真（石川高専）・重松宏明・川瀬拓也・高井静也・出村隆能

0140 25mm径の塩ビパイプで採取した粘性土の原位置非排水強度推定
正垣孝晴（防衛大）・為廣国寿・中野　充

0141 繰り返しせん断が粘土の弾性波速度試験に与える影響
石山泰之（北大）

0142 シリンダーフロー試験による粘土スラリーのレオロジー特性に関する再評価
矢野稔弥（北大）・渡部要一・西村　聡・田中洋行

0143 高圧脱水固化処理した浚渫土の脱水特性
豊里亮喜（九大）・笠間清伸・古川全太郎・八尋裕一・片桐雅明

0144 凝集剤を添加した浚渫粘土のせん断強度特性
近廣祐佳（横浜国大）・山内裕元・片桐雅明・早野公敏

●7月12日（水）　午前（II）の部　第6会場
【地盤材料－粘性土（強度・変形②）】　10:50 ～ 12:20
座　長：杉山　太宏（東海大学）

0145 一般的な応力・ひずみ履歴をもつ飽和凍結土のせん断強度とその記述
西村　聡（北大）・王　金元・佐々木飛翔

0146 せん断速度が過圧密粘土の残留強度に与える影響
宮前知弘（山口大）・鈴木素之・井上優朋・ズン ングェンタイン

0147 膨潤性粘土鉱物を有する粘性土の圧密・膨張特性
金田陽樹（長岡技科大）・高木大地・大塚　悟・福元　豊

0148 ウレアーゼ活性による粘性土供試体の固化実験
金田一広（竹中工務店）・畠　俊郎・川原孝洋

0149 サイフォンによる泥土の脱水と有用微生物による圧密特性への影響
大嶺　聖（長崎大）・杉本知史・敷田大輝

0150 ベーンせん断試験における破壊時の回転角度に関する一考察
平林　弘（東亜建設工業）・田中政典

0151 細粒土混入率が高いバラスト道床における道床横抵抗力試験
伊藤壱記（鉄道総研）・桃谷尚嗣・木次谷一平

●7月12日（水）　午後（I）の部　第6会場
【地盤材料－粘性土（強度・変形③）】　13:20 ～ 14:50
座　長：橘　伸也（神戸大学）

0152 数種類の粘性土に対する室内ベーンせん断挙動のX線CTスキャン観察
猶原有希子（北見工大）・川尻峻三・田中政典・川口貴之・平林　弘・中村　大・山下　聡

0153 デコルマ帯におけるスロースリップの弾塑性論的解釈
小松美樹（神戸大）・杉山友理・橘　伸也・飯塚　敦

0154 繰返し一面せん断試験における供試体内部変形の観察
本田美智子（日大）・西尾伸也

0155 2重硬化（Double Hardening）則を用いない塑性流動方向の応力経路依存性の表現
中井照夫（地域地盤環境研究所）・Hossain Md. Shahin

0156 軟弱地盤材料を用いた等方加熱試験の理論的評価に関する一考察
栗本悠平（名工大）・張　　鋒

0157 締固めたベントナイトの飽和過程における膨潤圧発揮メカニズムの微視的構造から見た検討
田中幸久（電力中研）・渡邊保貴

●7月12日（水）　午後（II）の部　第6会場
【地盤材料－粘性土（物理化学的性質）】　15:10 ～ 16:40
座　長：末次　大輔（佐賀大学）

0158 沖積焼津粘土の塑性限界方程式に関する再検討
斎藤孝夫（地盤技術リサーチ）・長尾　哲

0159 沖積焼津粘土の液性限界方程式に関する再検討
長尾　哲（NEXCO東日本）・斎藤孝夫

0160 超重泥水の粘度に影響を及ぼす配合割合とそのメカニズムに関する研究
吉川絵麻（早大）・小峯秀雄・後藤　茂・氏家伸介・成島誠一・長江泰史・吉村　貢

0161 早津江川に遡上する浮泥の物理特性の定点調査（三重津海軍所ドライドッグの渠壁材料の検討の中で）
鈴木直文（興和）・正垣孝晴・中野　充

0162 塩分濃度に着目したスメクタイト鉱物の新たな同定方法に関する研究
眞田佳伊登（神戸大）・片岡沙都紀・澁谷　啓・田中政典・河野勝宣

0163 凍結融解回数およびイオン交換物質の供給方法が汚染土壌の洗浄効果に及ぼす影響
廣瀬　剛（摂南大）・伊藤　譲・井上拓人・阪部秀雄・芮　大虎

0164 土質試験で観られる粘土鉱物の界面における水の構造
野尻博美（金沢大）

0165 スラリー粘土の真空蒸発および空気乾燥に伴う体積収縮
瀬谷　曜（信州大）・梅崎健夫・河村　隆

●7月12日（水）　午後（III）の部　第6会場
【地盤材料－粘性土（動的性質）】　17:00 ～ 18:30
座　長：京川　裕之（東京大学）

0166 地震時における粘性土地盤上の河川堤防及び近隣地盤の変状予測手法
堀川太郎（建設技術研究所）・楊　雪松・山根秀嗣・安原一哉・渡邊大樹

0167 地震時河川堤防の変状低減に対する対策工の効果
安原一哉（茨城大）・渡邉大樹・楊　雪松・堀川太郎・小林　薫

0168 多方向繰返しせん断を受けた粘性土の圧密係数について
佐藤秀政（復建調査設計）・Nhan Tran Thanh・松田　博

0169 熊本県益城町における地盤調査と軟弱粘性土の動的特性について
宗　哲仁（京大）・三村　衛・肥後陽介・澤田茉伊・北田奈緒子・中山義久

0170 柏崎平野の地震後地盤沈下に関する地形・地質調査
長谷川拓也（長岡技科大）・大塚　悟・磯部公一・西　達也・佐藤　豊

0171 東北地方太平洋沖地震の地震せん断履歴を用いた乱さない海成粘土の圧密・せん断挙動について
泉谷聡志（東北大）・風間基樹・河井　正・金　鍾官

0172 遠心模型実験による粘性土地盤の地震波応答特性の検証
畑中佑太（北大）・磯部公一

●7月13日（木）　午前（I）の部　第6会場
【地盤材料－中間土（強度・変形）】　9:00 ～ 10:30
座　長：片岡沙都紀（神戸大学）

0173 深海底における重力式コーン貫入試験の適用性
山下　聡（北見工大）・八久保晶弘・坂上寛敏・山崎新太郎・舘山一孝・小西正朗・南　尚嗣

0174 細粒分を含むメタンハイドレート胚胎土の弾塑性構成モデル
中島晃司（山口大）・中田幸男・兵動正幸・吉本憲正

0175 ガスハイドレートの存在形態を考慮した弾塑性構成式の提案
川崎貴也（名工大）・岩井裕正・張　　鋒

0176 ガス生産時のメタンハイドレート胚胎砂の個別要素法による変形シミュレーション
梶山慎太郎（山口大）・兵動正幸・中田幸男・吉本憲正

0177 CO2ハイドレート含有砂試料の非排水クリープ試験と弾粘塑性構成式を用いた再現シミュレーション
小西陽太（京大）・Yuguang Wu・木元小百合・岩井裕正

0178 加熱法による砂中のメタンハイドレート分解に関する実験的検討
朝倉さや香（山口大）・吉本憲正・兵動正幸・中田幸男

●7月13日（木）　午前（II）の部　第6会場
【地盤材料－砂質土（強度）】　10:50 ～ 12:20
座　長：高野　大樹（港湾空港技術研究所）

0179 Determination of a friction angle for sand using various shapes of vanes
Sung-Sik Park（Kyungpook National University）・Sae-Byeok Lee・Dong-Rak Kim

0180 粒度分布および含水比に着目した盛土材料のせん断強度に関する一考察
杉垣直哉（神戸大）・片岡沙都紀・澁谷　啓

0181 破砕性砂の圧縮特性
柴野勝弘（東京都市大）・末政直晃・伊藤和也・秋元宏仁・柳原好孝・張　　媛・鈴木勝也

0182 湿潤締固め供試体の層数の違いが液状化特性に及ぼす影響
佐々木朋子（アースプライム）・古関潤一

0183 粒度変化と密度変化が砂質土の力学挙動に及ぼす影響
御手洗翔太（名城大）・小高猛司・崔　　英・李　圭太・高木竜二・久保裕一・板橋一雄

0184 長期圧密された浦安砂の非排水せん断強度
金井勇介（東京電機大）・石川敬祐・安田　進・武田　陽

0185 模型地盤浅部における上載圧の偏りと貫入抵抗
神馬光建（東北大）・風間基樹・河井　正・金　鐘官

●7月13日（木）　午後（I）の部　第6会場
【地盤材料－砂質土（変形）】　13:20 ～ 14:50
座　長：松丸　貴樹（鉄道総合技術研究所）

0186 模型地盤における低拘束圧条件下でのせん断剛性の測定
三上和久（長岡技科大）・豊田浩史・高田　晋

0187 砂の粒子破砕がせん断形成に与える影響
西原尚輝（山口大）・中田幸男

0188 GIMP法を用いた遠心場における擁壁背後地盤の大変形解析
今田耕太郎（早大）・赤木寛一・桐山貴俊

0189 SPH法を用いた浸透破壊解析
中道洋平（大林組）・杉江茂彦・竹山智英

0190 余震を考慮した非排水繰返しせん断試験に対する弾塑性構成モデルの適用性
肥前大樹（徳島大）・上野勝利・渦岡良介

0191 画像解析による不均質供試体のせん断挙動の把握
川上潤之介（山口大）・吉本憲正・中田幸男・中島晃司

0192 液状化履歴を受けた砂質土の単調及び繰返し三軸非排水試験
鈴木　薫（名工大）・白井勇有・岩井裕正・張　鋒

0193 Evaluation of the compressibility and permeability of Pinatubo lahar sand considering particle crushability
Rajiv Eldon Abdullah（東工大）・関　栄・竹村次朗

●７月 13 日（木）　午後（II）の部　第６会場
【地盤材料－砂質土（物理化学的性質・動的性質）】 15:10 ～ 16:40
座　長：飛田　哲男（関西大学）

0194 砂質土の伝熱異方性に関する実験的検討：加熱温度と飽和度の影響
清水巧巳（京大）・高井敦史・山中喜行・ジャンカルロ フロレス・乾　徹・勝見　武

0195 2016 年熊本地震での白川河口付近の黒色調の液状化による噴砂とその組成につい
岡二三生（京大）・市原浩司・野尻峰広・北田奈緒子・木元小百合

0196 密な状態における砂質土の繰返しせん断挙動について
安達夏紀（東北大）・風間基樹・河井　正・金　鍾官・株木宏明

0197 繰返し三軸試験と繰返し中空ねじり試験における液状化強度の比較（第３報）
深井晴夫（基礎地盤コンサルタンツ）・大島昭彦・久保田耕司・社城信弘

0198 密度の異なる低塑性細粒土の液状化特性
中野武大（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦・福本圭吾・友久徹也

0199 地震動の継続時間が液状化挙動に与える影響―東北地方太平洋沖地震における江東区新木場の液状化被害に関する検討―
道明裕毅（日大）・山田雅一

0200 過圧密履歴を受けた砂の応力履歴消失を伴った再液状化特性に関する研究
高田　晋（長岡技科大）・豊田浩史

●７月 14 日（金）　午前（I）の部　第６会場
【地盤材料－軟岩・硬岩①】 9:00 ～ 10:30
座　長：小山　倫史（関西大学）

0201 堆積軟岩の膨潤と膨潤試験中のスレーキング現象の相関性に関する基礎的研究
陸　續（早大）・石塚　光・小峯秀雄・磯さち恵

0202 引張り破壊後に再接着した岩石供試体を用いた一軸引張り試験
谷口友規（セレス）・岡田哲実

0203 一回の三軸試験で測定した凝灰岩の異方剛性
富樫陽太（鉄道総研）・菊本　統・谷　和夫・細田光一・小川浩司

0204 過酸化水素による有機物分解時の褐炭の力学特性に関する基礎的研究
荒牧憲隆（北海道科学技術総合振興センター）・Alam A.K.M. Badrul・玉村修司・上野晃生・村上拓馬・金子勝比古

0205 粒状体モデルによる膨潤性粘土鉱物を含む泥岩の変形シミュレーション
福元　豊（長岡技科大）・大塚　悟・藤川聡司

0206 三軸クリープ応力下における泥岩礫質土のスレーキング変形挙動に与える含水比の影響
萩野　知（東大）・清田　隆・新井逸郎

0207 メチレンブルー吸着量試験の堆積軟岩への適用性評価－細孔構造による物理吸着の影響－
石塚　光（早大）・小峯秀雄・磯さち恵

0208 大谷石表面の色調変化に影響する環境に関する実験的検討
清木隆文（宇都宮大）・平間勇輝・飯村　淳

●７月 14 日（金）　午前（II）の部　第６会場
【地盤材料－礫質土、軟岩・硬岩②】 10:50 ～ 12:20
座　長：富樫　陽太（鉄道総合技術研究所）

0209 圧縮・せん断過程における粒子破砕の可視化
栗田修平（長岡技科大）・松村　聡・大塚　悟

0210 石混じり礫盛土における粒度特性，密度調査に関する一考察
田川　央（建設技術研究所）・李　圭太・岡嶋義行・小高猛司

0211 最大粒径が異なる砕石の変形特性に関する振動台試験
黄　中原（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦・張　磊・古家大士・片桐雅明

0212 締固め時の粒径が泥岩砕石集合体の力学挙動に及ぼす影響
酒井崇之（名大）・中野正樹・工藤佳祐・早野智彦

0213 人工軟岩の温度・クリープ特性に着目したトンネル模型実験
大根瑛志（名工大）・木下貴道・井谷優介・岩井裕正・張　鋒

0214 軟岩の温度・クリープ特性に着目した人工軟岩のトンネル模型実験の数値解析による再現
木下貴道（名工大）・井谷優介・大根瑛志・岩井裕正・張　鋒

0215 引張り強さのばらつきを考慮した模擬岩盤の原位置岩盤引張り試験の数値解析
岡田哲実（電力中研）・三橋祐太

●７月 14 日（金）　午後（I）の部　第６会場
【地盤材料－不飽和土①】 13:20 ～ 14:50
座　長：酒匂　一成（鹿児島大学）

0292 初期含水比が異なる不飽和シルトの繰返し強度特性
松本政文（総合地盤研究所）・西村友良・ポール ハバシンビ

0293 三成分系状態図による締固め土の強度評価
松本昌祥（神戸大）・橘　伸也・飯塚　敦

0294 マイクロ X 線 CT 画像を用いた不飽和地盤材料の間隙構造分析
塩田絵里加（熊本大）・椋木俊文・Laurent Oxarango・上田　誠・宮田喜壽

0295 深海底地盤からのサンプリング試料のモデル化に関する考察
田窪　尭（京大）・岡田真理子・杉山友理・橘　伸也・飯塚　敦

0296 砂質盛土材料の不飽和せん断強度特性に及ぼす排気・排水条件の影響
田中宏治（東大）・松丸貴樹・古関潤一

0297 様々な応力条件における B 値測定手法の繰返し載荷の影響
上原拓真（神戸大）・宇治亮佑・杉山友理・橘　伸也・飯塚　敦

0298 不飽和シルトの排気・排水三軸試験結果に及ぼすセラミックディスクと微細多孔質膜との違い
吉川高広（名大）・野田利弘・中井健太郎・髙根澤巧也・中澤一眞

0299 排気・排水三軸圧縮試験の間隙比依存性水分特性を考慮した空気～水～土連成シミュレーション
野田利弘（名大）・吉川高広・中井健太郎・髙根澤巧也・中澤一眞

●７月 14 日（金）　午後（II）の部　第６会場
【地盤材料－不飽和土②】 15:10 ～ 16:40
座　長：渦岡　良介（京都大学防災研究所）

0300 COLLAPSE BEHAVIOR OF UNSATURATED SILTY SOIL UNDER CONSTANT LOADING STATE
Ali Murtaza Rasool（埼玉大）・桑野二郎

0301 飽和度一定条件下における不飽和マサ土の圧密試験および三軸圧縮試験
沖野頌悟（名工大）・常本貴史・Xiaoye Qiu・Xi Xiong・栗本悠平・岩井裕正・張　鋒

0302 三軸圧縮条件下の不飽和砂内部における局所的な間隙水の曲率特性
木戸隆之祐（京大）・肥後陽介・高村福志

0303 Comparison of soil-water characteristic curves under different stress conditions for an unsaturated soil
Paul Habasimbi（足利工大）・西村友良

0304 MRI を用いた不飽和土の浸透挙動に関する一考察
荒木大輝（山梨大）・荒木功平・舛谷敬一・熊谷博司・坂本　肇・大西　洋

0305 連続加圧方式を用いた親水・疎水性地盤材料の保水特性に関する研究
金　秉洙（岡山大）・玄翁彰久・加藤正司・竹下祐二

0306 連続加圧方式による新しい保水性試験方法について（その 7）
京野　修（応用地質）・畠山正則・持田文弘・阿部廣史

0307 異なる形状の突起を施したランマーの締固め特性に及ぼす影響
並木資弥（埼玉大）

●７月 12 日（水）　午前（I）の部　第７会場
【地盤材料－改良土・軽量土①】 9:00 ～ 10:30
座　長：水野　健太（若築建設）

0249 薬液改良土の三軸圧縮試験による強度変形特性
佐々木隆光（強化土エンジニヤリング）・末政直晃・島田俊介

0250 液状化対策のための極超微粒子セメントを用いた浸透固化工法における固化特性について
橋本和佳（中央開発）・王　維弘・兵動太一・塚本良道・西原　聡・王寺秀介・西江俊作・金沢智彦

0251 広範囲薬液注入による礫地盤の遮水改良
―その 3 原位置注入実験―
清水孝昭（竹中工務店）・中島朋宏・樋原達夫・清水大和

0252 微粒子を用いた懸濁型注入材の砂地盤に対する浸透特性の検討
蓮沼佑晃（東京都市大）・上村健太郎・佐々木隆光・永尾浩一・末政直晃

0253 EDO-EPS 盛土の耐震性能向上を目的とした緊結金具の開発－基礎試験
窪田達郎（発泡スチロール土木工法開発機構）・塚本英樹

0254 既設吹付モルタル法面の老朽化対策工法の基礎的研究
角田百合花（強化土エンジニヤリング）・佐々木隆光・島田俊介・末政直晃・伊藤和也

0255 可塑性グラウトの材料特性に関する実験的検討
田中麻穂（前田建設工業）・平田昌史・安井利章

●７月 12 日（水）　午前（II）の部　第７会場
【地盤材料－改良土・軽量土②】 10:50 ～ 12:20
座　長：原　弘行（山口大学）

0256 混合地盤材料の力学特性に及ぼす材料特性の影響
伊藤友哉（日大）・山中光一・峯岸邦夫

0257 深層混合処理土の強度予測に関する研究
武智耕太郎（ジャパンホームシールド）・深谷敏史・大和眞一

0258 セメント改良土を対象とした簡易破壊モデルとモンテカルロ法に基づく一軸圧縮強さの寸法影響評価
石井裕泰（大成建設）・松井秀岳・下村雅則

0259 溶媒の違いに着目した乾湿繰返し試験によるスラリー型石炭灰混合材料の耐久性評価
豊永麻依（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0260 セメント安定処理土における各種混和剤効果の検証
森　喜彦（太平洋セメント）・松山祐介・杉山彰徳・酒巻克之

0261 安定処理した火山灰質粘性土のトラフィカビリティ
田中恵祐（鹿島建設）・岡本道孝

0262 粘土地盤に構築した高強度地盤改良体の特性
河野貴穂（竹中工務店）・青木雅路・清水孝昭・伊藤　宰・方田公章

0263 放射性物質を含む港内海底土を封じ込める固化処理土の選定
秋本哲平（五洋建設）・熊谷隆宏・馬場　透・堀内友雅

●７月 12 日（水）　午後（I）の部　第７会場
【地盤材料－改良土・軽量土③】 13:20 ～ 14:50
座　長：ハザリカヘマンタ（九州大学）

0264 繊維長に着目した細粒分を含む短繊維混合土の液状化特性
堀　哲巳（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0265 繊維径の違いが短繊維混合処理土の強度特性に及ぼす影響について
今村眞一郎（西松建設）・佐藤靖彦・平野孝行・

藤井二三夫・堀　常男

0266 短繊維混合固化処理土の強度およびタフネス
高井静也（石川高専）・重松宏明・北尾彩華

0267 稲わらの有無が乾湿繰り返し環境下での改良土の耐久性に与える影響に関する一考察
大矢綾香（立命館大）・中田貴大・飯田　悟・山戸貴嗣・藤本将光・深川良一

0268 新しい珪酸ナトリウム系地盤注入材の開発
古城　誠（トクヤマ）・松村隆寛

0269 カルサイト析出により改良した砂のせん断剛性の応力依存性
Minson Simatupang（愛媛大）・岡村未対

0270 セメント系固化材による改良体の膨張に関する基礎検討
中村弘典（セメント協会）・重田輝年・有馬克則・飯久保励・森　喜彦・神谷雄三

0271 微生物代謝によって改良された砂のダイレイタンシー特性に関する試験的研究
塚本将康（川崎地質）・小田和広・稲垣由紀子・佐々木哲也

●7月12日（水）　午後（II）の部　第7会場
【地盤材料－改良土・軽量土④】　15:10 ～ 16:40
座　長：山田　岳峰（鹿島建設）

0272 施工から9年経過した改良土による道路盛土の長期耐久性の検証
井上玄己（土研）・宮武裕昭・澤松俊寿・宮下千花・佐藤靖彦・西見宣俊

0273 37年にわたる長期養生下での石灰安定処理土の強度変化特性
藤井愛彦（港空研）・森川嘉之・高橋英紀

0274 セメント・石灰改良土の異なる養生環境下での強度特性
宮下千花（土研）・井上玄己・宮武裕昭・澤松俊寿・森　芳徳

0275 加熱養生による薬液供試体の長期強度予測法の提案
滝浦駿介（東京都市大）・末政直晃・佐々木隆光

0276 ソイルセメントの高温養生による若材齢強度と圧縮強度の関係
相沢彰彦（トラバース）・渡辺佳勝・藤井　衛

0277 促進養生による薬液改良土強度の材齢変化と促進倍率に関する検討
松井秀岳（大成建設）・石井裕泰・下村雅則

0278 透水による固化処理土の劣化促進への試み
坂本恭史（長岡技科大）・森川嘉之・高橋英紀・藤井愛彦

●7月12日（水）　午後（III）の部　第7会場
【地盤材料－改良土・軽量土⑤】　17:00 ～ 18:30
座　長：宮下　千花（土木研究所）

0279 微細気泡の混入によるソイルセメントの品質改善に関する研究　－その2 セメントスラリー作製時における微細気泡の分布状況の影響－
下村修一（日大）・奥山誠也・水谷羊介・中村　博・平野　聡・松本真和

0280 気泡ソイルセメント安定液の気泡量による性状への影響について
若松大幹（早大）・赤木寛一・重田恭兵

0281 セメント系固化材で改良した火山灰質土の凍上特性と弾性係数の変化
山岸昂平（北見工大）・川口貴之・中村　大・橋本　聖

0282 速硬型固化材を用いた浚渫土の改良特性
松山祐介（太平洋セメント）・岸森智佳・野崎隆人

0283 高炉スラグ高含有セメントを用いた地盤改良体の特性（その11）
方田公章（竹中工務店）・河野貴穂・青木雅路・伊藤　司

0284 動的解析を用いたソイルベントナイト鉛直遮水壁の変形挙動
宇梶　伸（ライト工業）・増渕　淳・平林　学・粕田金一

●7月13日（木）　午前（I）の部　第7会場
【地盤材料－改良土・軽量土⑥】　9:00 ～ 10:30
座　長：大石　幹太（日建設計シビル）

0285 初期含水比の違いが改良土の力学特性に与える影響に関する検討
山戸貴嗣（立命館大）・大矢綾香・飯田　悟・中田貴大・藤本将光・深川良一

0286 細粒分主体の建設発生土の改良に関する含水調整手法の検討
武藤大和（中日本建設コンサルタント）・余川弘至・浅野憲雄・樫村京一郎

0287 花崗岩破砕工程で発生する泥土を脱水固化処理した処理土の路床・路盤材への適用性
松尾雄治（九州産業大）・林　泰弘・吉田一彦・吉田健治

0288 土質安定処理による島尻層群泥岩の設計CBRと膨潤性の改善効果
林　泰弘（九州産業大）・永秋　健・藤　龍一・百瀬裕元・大城康一・松川　準・松尾雄治

0289 海水環境におけるセメント改良砂の劣化進行予測
藤澤拓馬（九大）・石藏良平・安福規之・河野貴穂

0290 砂質土及び粘性土を対象としたセメント改良土の劣化抑制技術の検討
三原一輝（富山県立大）・畠　俊郎

0291 中空ねじりせん断によるセメント改良粘土の変形特性－せん断弾性係数のひずみ依存性－
山田雅一（日大）・道明裕毅

●7月13日（木）　午前（II）の部　第7会場
【地盤材料－特殊土①】　10:50 ～ 12:20
座　長：清原　雄康（八戸工業高等専門学校）

0308 繰返し載荷を受けた泥炭のせん断剛性推定式の検討
山木正彦（寒地土研）・林　憲裕・林　宏親

0309 益城町の2016年熊本地震被害集中域における凝灰質土の動的変形特性
新垣芳一（東電設計）・吉見雅行・後藤浩之・栗田哲史・佐藤恭兵・細矢卓志・荒井靖仁・森田祥子

0310 四万十市における火山灰質土の液状化特性
西村和貴（基礎地盤コンサルタンツ）・島田徹也・武田琢真・久賀真一

0311 砂・粘土混合土の非排水繰返しせん断特性に及ぼす砂の粒度の影響
坂口勇人（山口大）・兵動正幸・中田幸男・吉本憲正

0312 シルト質砂質土の液状化特性に及ぼす過圧密履歴と繰り返しせん断履歴の影響
藤田東野（東工大）・竹村次朗・関　栄

0313 北海道で採取したまさ土の地盤工学的性質
佐藤厚子（寒地土研）・林　憲裕・林　宏親・山木正彦

●7月13日（木）　午後（I）の部　第7会場
【地盤材料－特殊土②】　13:20 ～ 14:50
座　長：高井　敦史（京都大学）

0314 海水曝露したセメント処理土表面の析出物の有無による劣化挙動の差異
原　弘行（宮崎大）・渡辺瑛司

0315 ベントナイト混合土の遮水性に及ぼす土被り圧の影響
福島伸二（フジタ）・北島　明

0316 ベントナイト混合土の遮水性に及ぼす細粒分含有率の影響
北島　明（フジタ）・福島伸二

0317 インドネシア・ジャカルタ近郊の膨張土の性状
中島　均（清水建設）・浅香美治・齋藤　亮

0318 インドに分布するブラックコットンソイルの膨潤性に関する検討
渡辺健治（鉄道総研）

0319 所沢地区の関東ロームを対象とした覆土材の放射線遮蔽特性の評価
那須郁香（早大）・吉川絵麻・小峯秀雄・後藤　茂・新井靖典・氏家伸介・吉村　貢

0320 SCPによる石炭灰の埋立処分工事の事例
中出雄也（不動テトラ）・内山恭輔・山田　清・尾形　太

0321 トレミー管を用いたフライアッシュスラリーの室内投入実験
鶴ヶ崎和博（東洋建設）・山崎智弘

●7月13日（木）　午後（II）の部　第7会場
【地盤材料－特殊土③】　15:10 ～ 16:40
座　長：松島　亘志（筑波大学）

0322 セメンテーションによって保持された超高間隙構造土のせん断特性
佐藤　樹（東大）・桑野玲子

0323 泥炭の圧密・せん断挙動の時間依存性とアイソタック則の適用性
市川　瑠（北大）・山添誠隆・西村　聡

0324 骨格間隙比を指標としたサンゴ礫混じり土のせん断強度特性
田中　淳（基礎地盤コンサルタンツ）・白井康夫・渡部要一・竹信正寛・山本芳生

0325 前橋泥流堆積物の圧縮特性と固結度の検討
平野瑛祐（群馬大）・中島　航・樋口邦弘・若井明彦・蔡　飛

0326 阿蘇山中央火口丘の表層崩壊現場から採取した火山灰の土質力学特性に関する考察
Dung Maixuan（山梨大）・後藤　聡・正岡　翔

0327 阿蘇大橋地区における不撹乱火山灰質土の圧縮・せん断特性
川口祐子（九大）・安福規之・石藏良平・笠間清伸

0328 紀伊半島沖海洋堆積物Site C0011の巨視的・微視的特性
福岡純一（名工大）・栗本悠平・王　乾・山本由弦・阪口　秀・張　鋒・岩井裕正

0329 デコルマ帯におけるせん断破壊モデル
麻生勇人（神戸大）・妹川賢司・杉山友理・橘　伸也・飯塚　敦

●7月14日（金）　午前（I）の部　第7会場
【地盤材料－リサイクル材料①】　9:00 ～ 10:30
座　長：石藏　良平（九州大学）

0216 回転式破砕混合工法による低品質な建設発生土の改良手法の検討（その1）～初期固化土の強度特性と解砕した解きほぐし土の粒度について～
中島典昭（日本国土開発）・佐藤研一・藤川拓郎・近松周平

0217 回転式破砕混合工法による低品質な建設発生土の改良手法の検討（その2）
近松周平（福岡大）・中島昭典・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0218 アスファルト廃材を混合した砂質土の繰返し非排水強度
横浜勝司（北大）・佐藤厚子

0219 小型FWD試験による地盤の強度評価に関する実験的研究（その2）
田中正智（国土舘大）・柴田英明・岡野　剛

0220 CHARACTERISTICS OF STIFFNESS AND STRENGTH MOBILIZATION IN STEEL SLAG-MIXED DREDGED CLAYS
Nilan Weerakoon（北大）・西村　聡・佐藤令菜・戸田賀奈子・佐藤　努・新井　悠

0221 砕石工場から発生する細粒分土砂の物性値とその改良効果
矢島寿一（明星大）・村上　怜・天野博一

0222 砕石工場から発生する細粒分土砂のせん断特性
設楽優綺（鉄建建設）・矢島寿一

0223 破砕コンクリートの締固め特性とせん断強さ
三橋　斎（中央大）・平川大貴

●7月14日（金）　午前（II）の部　第7会場
【地盤材料－リサイクル材料②】　10:50 ～ 12:20
座　長：吉本　憲正（山口大学）

0224 竹チップ混合固化処理土の物理・強度特性に及ぼす腐朽の影響
古賀千佳嗣（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗

0225 アルミ・ゴムチップ混合体の一次元圧縮挙動のモデル化に関する検討
木全　卓（大阪府立大）・阪田真世

0226 締固めた津波堆積物分別土の一軸圧縮強さ
竹谷貢太（香川高専）・小竹　望・山中　稔・多田有汰

0227 平成28年熊本地震により発生した廃瓦の有効利用法の検討
藤川拓朗（福岡大）・高口拓也・大嶺　聖・永岡修一・林　泰弘・山中　稔・佐藤研一

0229 繰返し載荷における防草土系舗装材の耐久性能と舗装厚さに関する解析的検討
岩切健祐（九工大）・永瀬英生・廣岡明彦・師岡拓真・八田拓也

0230 解きほぐし竹チップ混合土の強度・変形特性
村尾勇成（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0231 繊維材混合流動化処理土の強度・変形特性に及ぼす泥水密度の影響
佐々木将人（室蘭工大）・木幡行宏

0232 災害で発生する津波堆積物を想定した砂・粘土混合土砂の物性把握
池上浩樹（名大）・中野正樹・酒井崇之・神野琢真

●７月 14 日（金）　午後（I）の部　第７会場
【地盤材料－リサイクル材料③】　13:20 ～ 14:50
座　長：藤川　拓朗（福岡大学）

0228 地震津波災害で発生した分別土砂の長期力学特性の把握
中野正樹（名大）・酒井崇之・神野琢真・池上浩樹

0233 ジオポリマーを用いた地盤改良特性に関する実験的研究
田辺和康（福山大）・吉澤千秋・島田裕一

0234 高圧フィルタープレス機を用いた高含水比の建設発生土を材料とする人工砕石の製作実験
長野敏之（りんかい日産建設）

0235 現場試験によるシリカ系混和材を混合した高炉スラグ系地盤改良材の特性評価
中瀬悠也（明石高専）・中尾晃揮・稲積真哉・山崎淳一・新坂孝志・橋本　亮・中岸良裕

0236 クリンカアッシュの粒子及びせん断強度特性
松井貫太（山口大）・吉本憲正・兵動正幸・中下明文・佃　勝二・中本健二

0237 破砕した製鋼スラグを添加した製鋼スラグと木くずの混合地盤材料の力学特性
吉川友孝（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・黒岩裕介

0238 廃ガラス再生砂礫の物理・力学特性について
橋本　篤（関西地盤環境研究センター）・日置和昭・服部健太・中岡　明・山本剛一

0239 低温乾燥による PS 灰系改良材混合土の物理特性経時変化の評価
川合彩加（横浜国大）・山内裕元・早野公敏

0240 熱乾燥処理による浚渫底泥の物理化学特性の変化と石灰改質による圧縮強度促進
西村伸一（岡山大）・柴田俊文・珠玖隆行

●７月 14 日（金）　午後（II）の部　第７会場
【地盤材料－補強材・排水材】　15:10 ～ 16:40
座　長：林　豪人（岡三リビック）

0241 On shear strengths of a cement-mixed soil as measures against soil erosions on irrigation facilities in Cambodia
Sokline Pheng（東京農工大）・向後雄二

0242 剛性の異なる帯状補強材による斜壁実大実験―ひずみ特性―
青木信哉（JFE 商事テールワン）・太田　均・木村隆志・平山悠仁

0243 帯鋼補強材による斜壁実大実験―曲線線形による土圧の影響―
平山悠仁（JFE 商事テールワン）・太田　均・木村隆志・青木信哉

0244 剛性の異なる帯状補強材による実大実験
新田武彦（JFE 商事テールワン）・太田　均・木村隆志・青木信哉

0245 粘性土を用いた短繊維混合補強土の強度変形特性に及ぼす目合いおよび剛性の影響
山中光一（日大）・峯岸邦夫

0246 ジオテキスタイルを用いた補強土の補強効果の評価手法
飯塚　敦（神戸大）・織田裕至・橘　伸也

0247 埋設排水材に供給される土粒子量の決定要因
竹崎　聡（国立環境研究所）・遠藤和人・勝見　武

0248 不織布の排水過程における水分特性曲線に及ぼす拘束圧の影響
坪山龍太（信州大）・河村　隆・梅崎健夫

●７月 12 日（水）　午前（I）の部　第８会場
【地盤環境－土壌・地下水汚染①】　9:00 ～ 10:30
座　長：伊藤圭二郎（鹿島建設）

0996 河川・海底堆積物中無機成分の拡散溶出試験による評価
眞鍋磨弥（京大）・肴倉宏史・鈴木隆央・勝見　武・乾　　徹・高井敦史

0997 地盤材料に含まれるヒ素等の溶出特性に与える温度の影響
高井敦史（京大）・瀬尾　葵・乾　　徹・勝見　武

0998 上向流カラム通水試験と散水型浸透試験による砂質海成堆積物の溶出挙動の比較
乾　　徹（京大）・Rasyd Indra Pratama・篠原智志・高井敦史・勝見　武

0999 自然由来ヒ素含有土を構成する粒子の顕微観察によるキャラクタリゼーション
上島雅人（国立環境研究所）・肴倉宏史

1000 掘削岩・土砂から溶出するヒ素の溶存形態と不溶化特性
加藤雅彦（明治大）・小薗　愛

1001 酸化風化に伴う掘削された海成堆積岩（土丹）からのヒ素溶出挙動と自然溶出抑制
鎌田明秀（明治大）・三浦俊彦・日笠山徹巳・加藤雅彦

1002 自然由来ヒ素を含む掘削岩・土砂からのヒ素溶脱挙動の解析
鈴木奨士（明治大）・加藤雅彦

1003 1，4－ジオキサンの現場簡易土壌溶出試験に関する基礎的検討　－加温・塩析の効果と他の揮発性有機化合物の分析結果への影響－
中島　誠（国際航業）・日高レイ

●７月 12 日（水）　午前（II）の部　第８会場
【地盤環境－土壌・地下水汚染②】　10:50 ～ 12:20
座　長：乾　徹（京都大学）

1004 含水比調整と室内大気曝露による自然由来の重金属等含有土の不溶化効果の可能性
江原佳奈（早大）・小峯秀雄・井上陽介・妻賀　都

1005 ヒ素汚染地下水の還元地盤による拡散防止効果の検討
佐藤　毅（鹿島建設）・伊藤圭二郎・河合達司

1006 キャピラリーバリア機能を用いた覆土手法に関する研究
赤津雄介（福島高専）・金澤伸一

1007 吸着材併用ソイルベントナイト鉛直遮水壁のセシウム土壌・地下水汚染の拡散防止効果の評価
増渕　淳（ライト工業）・小竹茂夫・三浦俊彦・森下智貴

1008 リン資材を添加した鉛汚染土供試体の水分特性による安定鉱物量の違い
小川翔平（電力中研）・鈴木笙太・佐藤　健・加藤雅彦

1009 コマツナとセイタカアワダチソウを活かした六価クロム汚染土壌浄化に関する植生実験
森元友紀（九大）・古川全太郎・笠間清伸・八尋裕一

1010 鋼矢板を利用した透過性浄化壁の地下水流動解析と実証試験
西田憲司（大林組）・鈴木和明・宮崎隆洋・加藤　顕・日笠山徹巳

●７月 12 日（水）　午後（I）の部　第８会場
【地盤環境－土壌・地下水汚染③】　13:20 ～ 14:50
座　長：中島　誠（国際航業）

1011 使用済カルシウム系ヒ素吸着材からの亜ヒ酸の溶出挙動に及ぼす溶液 pH の影響について
杉田　創（産総研）・小熊輝美・張　　銘・原　淳子・川辺能成・高橋伸也

1012 地下水循環による嫌気バイオ浄化技術の解析検討
伊藤圭二郎（鹿島建設）・酒井　学・河合達司

1013 ふっ素汚染土壌のセメントを用いた不溶化事例
三浦俊彦（大林組）・柴田健司・日笠山徹巳

1014 大阪市内における沖積粘土層中の自然由来重金属類の含有状況とその地球化学的特徴
伊藤浩子（地域地盤環境研究所）・益田晴恵・大島昭彦・北田奈緒子・藤原照幸

1015 吸着材を併用した土質遮水材の重金属拡散防止効果の検証
森下智貴（大林組）・三浦俊彦・小竹茂夫・増渕　淳

1016 逐次抽出法を用いた自然由来汚染土に含まれる重金属類の化学形態の解明
板橋智彦（東京農工大）・小林和樹・小杉智也・橋本洋平・細見正明

1017 封じ込めに用いられるベントナイト混合土の拡散輸送パラメータ評価手法の検討
辰巳鴻介（京大）・幸福　哲・高井敦史・乾　　徹・勝見　武・増渕　淳

●７月 12 日（水）　午後（II）の部　第８会場
【地盤環境－地盤環境調査・試験技術】　15:10 ～ 16:40
座　長：小澤　一喜（鹿島建設）

1018 道路構造による凍結防止剤の地下水への浸透移動に関する調査研究
佐々木薫（西日本高速道路エンジニアリング中国）・秦　二朗・諸泉利嗣

1019 ナノバブル水のよる微生物固化の検討
打木弘一（基礎地盤コンサルタンツ）

1020 粒度分布を考慮した八戸地域における火山灰質土の鉛吸着特性とゼータ電位
清原雄康（八戸高専）

1021 セレン排水の新規処理技術の開発（その 1）－酸化過程を必要としない亜セレン酸・セレン酸の同時吸着－
隅倉光博（清水建設）・設楽和彦・田崎雅晴・毛利光男・森　裕樹・和田信一郎

1022 セレン排水の新規処理技術の開発（その 2）－新規吸着剤の性能評価－
森　裕樹（九大）・和田信一郎・隅倉光博・設楽和彦・田崎雅晴・毛利光男

1023 セレン排水の新規処理技術の開発その 3 ～自然由来セレン実排水への適用～
設楽和彦（清水建設）・隅倉光博・田崎雅春・毛利光男・森　裕樹・和田信一郎

●７月 12 日（水）　午後（III）の部　第８会場
【地盤環境－廃棄物処分（放射性物質・その他）①】　17:00 ～ 18:30
座　長：渡邊　保貴（電力中央研究所）

1024 ベントナイト砕石の現場締固め特性
新井靖典（NB 研究所）・遠藤清亮・成島誠一・内川彦猪・佐古田又規・関谷浩康

1025 ゼオライト添加型粘土ライナーの遮水性能に及ぼすカルシウムの影響
荒川裕紀（京大）・佐藤一貴・乾　　徹・高井敦史・勝見　武

1026 地層処分施設内における温度，飽和度変化を考慮したベントナイト緩衝材の力学挙動に関する研究
市川　希（福島高専）・金澤伸一・林　久資・石山宏二

1027 飽和・不飽和ベントナイトの定圧せん断強さに与える基底応力の影響
西村友良（足利工大）・ポール ハバシンビ

1028 水質の違いによるベントナイトの膨潤性能について
山本龍一（福島高専）・金澤伸一・林　久資・石山宏二・高荒智子

1029 土壌粒子画分、団粒構造と土壌へのセシウム吸脱着
安済耕平（明治大）・加藤雅彦

1030 密度差のある 2 つの締固めベントナイト供試体の直列膨潤圧試験シミュレーション
酒井　城（神戸大）・伊藤真司・橘　伸也・飯塚　敦・石井智子・小林一三

●７月 13 日（木）　午前（I）の部　第８会場
【地盤環境－廃棄物処分（放射性物質・その他）②】　9:00 ～ 10:30
座　長：成島　誠一（西武建設）

1031 微小粒子のクラスター形成実験とその形状分析
瀬口拓遼（筑波大）・Roberta Proia・松島亘志

1032 ベントナイト・砂混合土のヒステリシス水分特性の取得と適用性検証
佐藤　伸（大林組）・山本修一・西村友良・Enrique Romero

1033 ベントナイト・砂混合土のヒステリシス水分特性と微視的間隙構造変化
山本修一（大林組）・佐藤　伸・Enrique Romero

1034 籾殻由来のナノ構造体シリカ粒子を用いた低アルカリ注入材の材料特性
羅　承賢（日鉄住金セメント）・若杉伸一・金沢智彦・西川奈那・近藤勝義・梅田純子

1035 放射能汚染土壌の埋設型中間貯蔵施設からの放射能漏洩監視システムの検討
吉村　貢（ソイルアンドロックエンジニアリング）・小峯秀雄・後藤政昭・石井正紀・井上恵介・鈴木聡彦・重富正幸

1036　ベントナイト原鉱石の膨潤圧特性から観た緩衝材における膠結作用の定量評価の試み
伊藤大知（早大）・小峯秀雄・諸留章二・関口高志・三浦玄太
1037　化学変質によるベントナイト緩衝材の超長期挙動に及ぼす初期密度分布の影響
伊藤真司（神戸大）・神藤卓哉・橘　伸也・飯塚　敦・林　大介・小林一三・高沢真由美

●7月13日（木）　午前（II）の部　第8会場
【地盤環境－廃棄物処分（放射性物質・その他）③】
10:50 ～ 12:20
座　長：椋木　俊文（熊本大学）
1038　模擬津波堆積物への鉛吸着特性評価に基づく危険鉛保有量の推定
加藤雅彦（明治大）・谷川元治
1039　ベントナイト系材料の透水係数に及ぼす粘土鉱物混合率の影響
河野勝宣（鳥取大）・角　浩一・奈良禎太・加藤昌治・西村　強
1040　放射線遮蔽性能を有する超重泥水のホウ素濃度による中性子線低減効果の評価
瀬川一義（早大）・吉川絵麻・小峯秀雄・後藤　茂・中村朋弘・氏家伸介・吉村　貢
1041　地層処分場の人工バリアと周辺岩盤のTHM長期挙動評価手法の構築に向けて（その1）－全体概要と評価手法－
西本壮志（電力中研）・新　孝一・小林正人
1042　地層処分場の人工バリアと周辺岩盤のTHM長期挙動評価手法の構築に向けて（その2）－遠心力模型実験の数値解析－
渡辺高志（構造計画研究所）・弘中秀至・澤田昌孝・西本壮志・石井智子
1043　地層処分場の人工バリアと周辺岩盤の長期挙動評価手法の構築に向けて（その3）－数値解析に連動した要素試験（緩衝材）－
中島雅之（ダイヤコンサルタント）・納谷朋広・渡邊保貴・岡田哲実・荒牧雄馬・辻野敏文・西本壮志・石井智子
1044　地層処分場の人工バリアと周辺岩盤の長期挙動評価手法の構築に向けて（その4）－数値解析に連動した要素試験（周辺岩盤）－
納谷朋広（ダイヤコンサルタント）・中島雅之・岡田哲実・渡邊保貴・荒牧雄馬・辻野敏文・西本壮志・岩谷隆文
1045　地層処分場の人工バリアと周辺岩盤のTHM長期挙動評価手法の構築に向けて（その5）－遠心力模型実験－
荒井郁岳（ジオデザイン）・西本壮志・橋爪秀夫・岩谷隆文

●7月13日（木）　午後（I）の部　第8会場
【地盤環境－自然環境・生態系】　13:20 ～ 14:50
座　長：畠　俊郎（富山県立大学）
1060　アルガンオイルの原料となる、アルガンツリーの種子を使用した発根・発芽と苗の生育試験
稲元裕二（リーフエア）・上田平美嗣・江本尚美・水野克己・古舘保弘・吉見　昭・大嶺　聖
1061　砂・保水剤混合層の乾燥過程における含水比分布
高須　萩（信州大）・梅崎健夫・河村　隆・岡本功一・服部　晃・新井敏彦
1062　砂浜及び干潟における実質飽和近傍域の簡易検定・評価手法
梁　順普（港空研）・佐々真志・梶原直人・渡辺啓太
1063　キャピラリーバリア地盤への植物根侵入が遮断・貯留機能に及ぼす影響
相馬嵐史（茨城大）・小林　薫・石沢彩夏・森井俊広
1064　マイクロプラスチック化する海浜土壌
山口晴幸
1065　未利用木質破砕材を活用した新しい木質舗装の開発とその評価
吉村優治（岐阜高専）・遠藤一美・宗宮正和・長田剛和・河村邦基
1066　大阪市域における地盤環境に配慮した地下水の有効利用に関する検討
前田直也（中央開発）・河合祐蔵・中曽康壽・中尾正喜・成瀬新吾・王寺秀介・東原　純・神原隆則・原　弘典・西村修一
1067　産業廃棄物を有効活用した新たな低環境負荷藻場基盤材の開発
山本健太郎（西日本工業大）・根上武仁・溝口直敏・平　瑞樹・田中龍児

●7月14日（金）　午前（I）の部　第8会場
【地盤環境－リサイクル材】　9:00 ～ 10:30
座　長：稲積　真哉（芝浦工業大学）
1068　再生砂と細粒流動化処理土の原料となる、砂・砂礫・粘土の互層からなる建設汚泥（洪積層）の適用性調査
浜野廣美（大幸工業）・浜野真季・藤原照幸・遠藤和人・乾　　徹・勝見　武
1069　エージング石炭灰の活用に向けた重金属類溶出特性に関する検討
村田博一（清水建設）・浅田素之・川口正人
1070　屋外曝露試験による重金属類の長期溶出特性評価
川端淳一（鹿島建設）・佐藤　毅・河合達二・久田　真・皆川　浩
1071　木くずの分解消失が砂質土の沈下挙動に及ぼす影響を評価するための模擬試験法の検討
諸冨鉄之助（京大）・遠藤和人・竹崎　聡・勝見　武
1072　焼却灰固化材料を用いた浚渫粘土の圧密挙動に関する実験的検討
中村公一（鳥取大）・岩城徹也・松本　明・猪原隆志
1073　生態系に配慮した改良材での河床堆積物の処理事例
田中真弓（鹿島建設）・大橋麻衣子・小澤一喜

●7月14日（金）　午前（II）の部　第8会場
【地盤環境－地下水流動・改良土・災害廃棄物　他】
10:50 ～ 12:20
座　長：大野　博之（環境地質）
1074　バンコク首都圏における広域地下水流動および地下水水質分析に関する検討
北岡貴文（京大）・大津宏康・ティラポン ピパットポンサー・ジーマ スティサック・太田慎吾
1075　栄養塩の滞留が微生物機能を利用した砂の固化に与える影響に関する検討
稲垣由紀子（土研）・加藤俊二・佐々木哲也
1076　再生石膏粉末を用いた建設発生汚泥の中間処理プロセスとζ電位に関する研究
景山隆弘（早大）・赤木寛一
1077　Groundwater resource in Mekong Delta: Status and problems
ティヴェトガー ファム（京大）・北岡貴文・ティラポン ピパットポンサー・大津宏康
1078　炭酸ナトリウムの混合によるセメントベントナイト系空洞充填材の高度化
橋本　功（明石高専）・嶋谷宗太・稲積真哉・内田幸生・近藤武司・桑原秀一
1079　東日本大震災により岩手県沿岸部で発生した災害廃棄物「分別土」と河川堆積物との類似性
山川裕美恵（岩手大）・佐々木知貴・松本　実・大河原正文

●7月14日（金）　午後（I）の部　第8会場
【地盤環境－廃棄物処分（一般）】　13:20 ～ 14:50
座　長：日笠山徹巳（大林組）
1046　一般廃棄物焼却残渣固化式処分地盤の吸湿・潮解性に関する研究
小宮哲平（九大）・村川大亮・島岡隆行・弘末文紀・秋田宏行・青木貴均・三反畑勇・中山裕文
1047　一般廃棄物焼却残渣固化式処分場の地震時挙動に関する研究
浦野和彦（安藤ハザマ）・三反畑勇・弘末文紀・秋田宏行・青木貴均・島岡隆行・小宮哲平・中山裕文
1048　廃棄物最終処分場の貯留構造物の力学的安定性の調査
大野博之（環境地質）・小坂英輝・稲垣秀輝
1049　埋立地最終覆土における降雨時のガス及び水移動
伊豆本聡（東大）・濱本昌一郎・井本博美・川本　健・長森正尚・西村　拓
1050　土のキャピラリーバリアを用いた盛土式廃棄物貯蔵施設の遮水機能
森井俊廣（新潟大）・花田義徳・鈴木友康・松元和伸・小林　薫
1051　カンボジアプノンペン市ダンコー廃棄物処分場に関する環境調査
石井晴花（東工大）・竹村次朗・Phetyasone Xaypanya・Borey Bore・Rathga Doung・Seinheng Hul
1052　砕石ダスト（スクリーニングス）を母材としたベントナイト混合土の遮水性に関する配合検討事例
大山　将（鴻池組）・吉岡由郎・西村良平・谷内辰也・川端則正

●7月14日（金）　午後（II）の部　第8会場
【地盤環境－廃棄物処分（管理型・中間貯蔵）】
15:10 ～ 16:40
座　長：西田　憲司（大林組）
1053　管理型海面処分場の底面遮水機能に及ぼす基礎杭表面粗度の影響
森脇武夫（呉高専）・鹿瀬宏希・中村賢吾・平尾隆行・竹本　誠
1054　管理型海面処分場の底面遮水機能に及ぼす基礎杭打設方法の影響
平尾隆行（中電技術コンサルタント）・森脇武夫・鹿瀬宏希・中村賢吾・竹本　誠
1055　海面埋立処分場におけるタイヤチップを用いた遮水層保護手法の検討
山本秀平（九大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣・八村智明・永岡修一・磯部有作
1056　廃棄物処分場に打設する杭の廃棄物連込み挙動
―大粒径廃棄物の影響―
喜古真次（東京理科大）・菊池喜昭・兵動太一・片岸鴻太・並木翔平・平尾隆行・竹本　誠・松村　聡
1057　廃棄物処分場に打設する杭の廃棄物連込み挙動
―膨潤材の効果―
兵動太一（東京理科大）・菊池喜昭・喜古真次・片岸鴻太・並木翔平・平尾隆行・竹本　誠・松村　聡
1058　Hydraulic Conductivity of aggregate of weathered clay stones with different initial condtions
鄒　　燃（東工大）・竹村次朗・Monika Aprianti Popang
1059　選別補助材により改質した模擬除去土壌の長期安定性評価
小澤一喜（鹿島建設）・田中真弓

●7月12日（水）　午前（I）の部　第9会場
【地盤防災－豪雨（斜面安定①）】　9:00 ～ 10:30
座　長：小泉　圭吾（大阪大学）
0890　豪雨時における斜面崩壊メカニズムの連成解析による検討
中川光雄（地層科学研究所）
0891　一面せん断模型実験を用いた斜面の表層変位による崩壊予測方法の検討
大原　勇（東大）・Kapila Ranjith Withanage・内村太郎
0892　多点計測による2016年熊本地震の被災斜面における傾斜及び土壌水分変化の長期観測
王　　林（中央開発）・蘇　　綾・西江俊作・内村太郎・笹原克夫・陶　尚寧
0893　地震後の不安定斜面におけるリアルタイム計測とその課題～熊本県西原村での事例より～
酒井直樹（防災科研）・木村　誇・田中義朗
0894　火山由来斜面における豪雨を想定した斜面崩壊実験の降雨浸透解析
堀　匡佑（群馬大）・亀山ひろみ・若井明彦・蔡　　飛・酒井直樹・後藤　聡・若林　巧
0895　模型実験における土内部の応力変化と斜面変位挙動の関係
石澤友浩（防災科研）・檀上　徹
0896　表層崩壊の早期予警報の実現に向けた弾性波による斜面モニタリングの試み　－模型実験による検証－
高橋直樹（三井住友建設）・川方裕則・中山雅之・土井一生・岸田貴兆

●7月12日（水）　午前（II）の部　第9会場
【地盤防災－豪雨（斜面安定②）】　10:50 ～ 12:20
座　長：石澤　友浩（防災科学技術研究所）
0897　粒子フィルタによる土壌水分特性パラメータの推定における観測ノイズの影響
藤本彩乃（大阪大）・小田和広・伊藤真一・小泉圭吾・櫻谷慶治

0898　大型降雨装置を用いた斜面崩壊実験の計測結果に基づく土壌水分特性のデータ同化
伊藤真一（大阪大）・小田和広・小泉圭吾・檀上　徹・石澤友浩・藤本彩乃

0899　集中豪雨による土砂災害発生地域における DEM を用いた地形特性の分析
越村謙正（大阪大）・小田和広・小泉圭吾・伊藤真一・窪田上太郎

0900　現地調査に基づいた 3 連タンクモデルと剛塑性有限要素法を組み合わせた斜面安定解析
竹内佳成（早大）・赤木寛一・小西真治・岡崎啓一朗

0901　不飽和浸透を考慮した体積力法による斜面安定解析に関する一考察
宇都遼太郎（鹿児島大）・酒匂一成

0902　有限要素解を援用した自然斜面内の地下水位上昇量の簡易予測モデルの提案
若井明彦（群馬大）・亀山ひろみ・堀　匡佑・蔡　　飛・後藤　聡・木村　誇

0903　斜面上盛土の降雨時安定性向上に関する基礎研究
平川大貴（中央大）・荒木裕行

●７月 12 日（水）　午後（I）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨（斜面安定③）】　13:20 ～ 14:50
座　長：平岡　伸隆（労働安全衛生総合研究所）

0904　SPH 法を用いた仮置き盛土に対する安全性検討
上野山裕己（神戸大）・竹山智英・飯塚　敦

0905　ソケット継手を用いた杭式防護柵の根入れ部の性能評価に関する実験的研究
西田陽一（プロテックエンジニアリング）・桝谷　浩

0906　集中豪雨時の鉄道盛土に対するのり面工効果の実験的考察
佐々木智之（鉄道総研）・阪東聖人・欅　健典・湯浅友輝・布川　修・杉山友康

0907　地すべり地帯の地中 CO2 計測による地下水位上昇予測
山田百合子（北九州市立大）・伊藤　洋・鷹尾明日香

0908　斜面安定工の補強効果を評価するための実験方法に関する考察
澤石正道（新日鉄住金エンジニアリング）・和田昌俊・菅野浩樹・高橋章浩

0909　ネイリングセンサを用いた斜面動態モニタリングによる既設盛土安定性の検討
岩佐直人（日鐵住金建材）・河原荘一郎・表　真也

0910　解析を用いた突発的集中豪雨による盛土構造物の力学挙動
松崎慎也（福島高専）・金澤伸一・五十嵐日菜

●７月 12 日（水）　午後（II）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨（斜面安定④）】　15:10 ～ 16:40
座　長：里見　知昭（東北大学）

0911　盛土のり面上のキャピラリーバリア構造が盛土体の安定に及ぼす影響の定量化
佐藤武斗（鉄道総研）

0912　Analyses of Effects of Gabions Filled with a Filter Material Against Slope Failures due to Rainfalls
Anusron Chueasamat（東京農工大）・小西花実・斉藤広隆・向後雄二

0913　サイフォン導水ホースを用いた地盤内の地下水の排水手法
白石幸基（長崎大）・大嶺　聖・杉本知史

0914　危険斜面先での地下水位測定による土壌雨量指数の改善に関する研究
近藤健太（金沢大）・高原利幸・上野勝利

0915　竹林地帯の斜面崩壊に及ぼす細粒分含有率の影響
松尾雅伸（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0916　平成 26 年広島豪雨災害で発生した土石流源頭に対する地形解析
猪俣陽平（山口大）・中田幸男

●７月 12 日（水）　午後（III）の部　第９会場
【地盤防災－豪雨（その他）】　17:00 ～ 18:30
座　長：酒井　直樹（防災科学技術研究所）

0943　自己組織化マップによる道路構造物の特性評価手法に関する基礎的研究（1）
濱沖俊史（NEXCO 西日本）・櫻谷慶治・窪田上太郎・伊藤真一・小田和広・小泉圭吾・田山　聡

0944　自己組織化マップによる道路構造物の特性評価手法に関する基礎的研究（2）
櫻谷慶治（NEXCO 西日本）・窪田上太郎・伊藤真一・小田和広・小泉圭吾・濱沖俊史・田山　聡

0945　宮崎県都城市五十町の陥没発生地における地盤調査
小南直翔（東大）・前川侑太・堀田真由子・高嶺周平・桑野玲子・桑野二郎

0946　集中豪雨下の地盤内部の浸潤前線及び流路形成の挙動
柏木　淳（名工大）・前田健一・森河由紀弘・内藤直人

0947　縦型雨水浸透施設の開発
田部井香月（アシスト）・神村　真・佐藤公一郎

0948　線構造物としての河川堤防の耐浸透性評価のための三次元浸透実験
町田陽子（東京理科大）・二瓶泰雄・倉上由貴

0949　平成 28 年台風第 10 号により発生した災害廃棄物量のドローン計測
大塚義一（奥村組）・張麿陽祐・大河原正文

●７月 13 日（木）　午前（I）の部　第９会場
【地盤挙動－地盤改良①】　9:00 ～ 10:30
座　長：佐藤　研一（福岡大学）

0330　新大口径深層混合処理工法の開発（その 1）～ プロセス設計の導入 ～
原　俊郎（CDM 研究会）・徳永幸彦・遠西幸男・大西常康・森川嘉之・北詰昌樹

0331　新大口径深層混合処理工法の開発（その 2）～ 実証試験の概要 ～
篠井隆之（CDM 研究会）・大野喜代孝・猪瀬淳雄・髙橋　学・長崎康司

0332　プロセス設計による新大口径深層混合処理工法の開発（その 3）～改良体の品質～
田口博文（CDM 研究会）・大古利勝己・野元義一・久保　滋

0333　真空圧密工法による長期沈下抑制の設計法に関する一考察
高坂敏明（ダイヤコンサルタント）・Nipon Teerachaikulpanich・林　宏親

0334　透明土を用いた CPG 打設過程の可視化と動的加振実験への適用
高野大樹（海上・港湾・航空技術研究所）・森川嘉之・宮田喜壽・野々山栄人・山本佳祐

0335　硬質発泡ウレタンを用いた杭状地盤改良工法の支持力推定
花上遼太（東京都市大）・末政直晃・伊藤和也・及川理香子

0336　中層混合処理工法における地盤評価手法の検討
島野　嵐（三信建設工業）・市坪天士・中馬忠司

●７月 13 日（木）　午前（II）の部　第９会場
【地盤挙動－地盤改良②】　10:50 ～ 12:20
座　長：西村　聡（北海道大学）

0337　高強度ソイルセメントの圧縮強度および弾性波速度に関する実験的検討
その 1：一軸圧縮強さに影響を与える要因の分析
濁川直寛（清水建設）・浅香美治・吉成勝美・依田侑也

0338　高強度ソイルセメントの圧縮強度および弾性波速度に関する実験的検討
その 2：弾性波速度に影響を与える要因の分析
吉成勝美（清水建設）・濁川直寛・浅香美治・依田侑也

0339　高強度ソイルセメントの圧縮強度および弾性波速度に関する実験的検討
その 3：一軸圧縮強さと弾性波速度の関係
浅香美治（清水建設）・濁川直寛・吉成勝美・依田侑也

0340　局所的に透水性が低下した PVD が地盤の圧密挙動に及ぼす影響について
上野嵩太（東工大）・北詰昌樹

0341　座屈した PVD の通水性能に関する実験的考察
新舎　博（五洋建設）・堤　彩人・山内義文

0342　PVD の局所的透水性低下が圧密挙動に及ぼす影響の小型模型実験
東　陽介（東工大）・上野嵩太・北詰昌樹

0343　現地発生土の改質による締固め砂杭工法の中詰め材再利用
矢部浩史（不動テトラ）・今井優輝・竹内秀克・岡　有己

●７月 13 日（木）　午後（I）の部　第９会場
【地盤挙動－地盤改良③】　13:20 ～ 14:50
座　長：田中　洋輔（東亜建設工業）

0344　石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性（その 1）～改良前・改良後地盤における石炭灰埋立地盤の物理的性状の変化について～
市橋豊隆（中部電力）・喜多千砂子・西野日出樹・広重敬嗣・萩原協仁・大久保幸倫・鵜野雅明・尾形　太

0345　石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性（その 2）～改良前・改良後地盤における石炭灰埋立地盤の力学的性状の変化について～
広重敬嗣（大成建設）・市橋豊隆・喜多千砂子・天野喜勝・萩原協仁・大久保幸倫・鵜野雅明・尾形　太

0346　石炭灰埋立地盤に対する静的締固め工法の適用性（その 3）～改良前・改良後地盤における石炭灰埋立地盤の静止土圧係数 Ko 等の変化について～
萩原協仁（基礎地盤コンサルタンツ）・市橋豊隆・喜多千砂子・西野日出樹・広重敬嗣・大久保幸倫・鵜野雅明・尾形　太

0347　傾斜した基盤層が杭式深層混合処理地盤の外部安定性に及ぼす影響評価
俊成優太（東工大）・松田脩作・北詰昌樹

0348　杭式改良地盤の応力分担と盛土内のすべり線挙動に関する実験
鷺　裕樹（東工大）・北詰昌樹・桃井睦心

0349　非着底深層改良体の周面摩擦抵抗に及ぼす先行圧密応力と載荷圧力の関係
甲斐田葉丞（九大）・石藏良平・安福規之・有間　航

0350　粘土と改良体の界面強度の違いを考慮した非着底改良地盤の沈下量推定
有間　航（九大）・石藏良平・安福規之

●７月 14 日（金）　午前（I）の部　第９会場
【地盤挙動－地盤改良④】　9:00 ～ 10:30
座　長：浅香　美治（清水建設）

0351　多扇形改良体を造成する高圧噴射撹拌工法の実大実験
山口　洋（三信建設工業）・金子　徹・中西康晴

0352　高圧噴射撹拌工法による多扇形改良体の出来形について
金子　徹（三信建設工業）・島野　嵐・本谷洋二

0353　高圧噴射撹拌工法による多扇形改良体の強度性状について
本谷洋二（三信建設工業）・新坂孝志・山口　洋

0354　地下水環境を考慮した薄い介在砂層に対する地盤注入試験
田中俊行（鹿島建設）・山本拓治・須田久美子・佐藤研吾

0355　小型自走式施工機を用いた静的締固めストーンコラム工法 その 3 砂地盤の鉛直支持力
木戸崇之（ハイスピードコーポレーション）・田中秀和・小串隼人・堀田　誠

0356　極超微粒子セメントを用いたガントリークレーン基礎の地盤改良
松井　孝（日特建設）・川嶋　憲・清水建一郎・高野向後・田中康夫・道永一憲・佐藤　剛

0357　薬液注入工法における地盤の不確実性が薬液浸透挙動に及ぼす影響
角亮一郎（明石高専）・石丸和宏・宮谷佳雄・奥水　仁・稲積真哉

●７月 14 日（金）　午前（II）の部　第９会場
【地盤挙動－地盤改良⑤】　10:50 ～ 12:20
座　長：足立　雅樹（みらい建設工業）

0358　超音波振動を併用した薬液注入工法の開発（第 1 回現場実証実験）
岡田　宙（東興ジオテック）・野口好夫・本谷洋二・石田明人・森河由紀弘

0359　杭式深層混合処理工法における改良杭数と地盤挙動に関する遠心模型実験
前田達矢（東工大）・桃井睦心・北詰昌樹

0360　大型土槽による懸濁型薬液を用いた薬液注入工法の室内注入試験
濱道京祐（八戸工大）・盛健太郎・金子賢治・

西村　淳・橋詰　豊・熊谷浩二

0361 μフォーカスX線CTを用いた締固め砂杭造成過程における改良地盤内部構造の可視化
江副　哲（不動テトラ）・大谷　順・佐藤宇紘・宮崎公平・原田健二

0362 地盤改良工事における電流値計測に基づくN値の推定手法について
舟橋宗毅（明石高専）・木付拓磨・足立有史・土屋潤一・石丸和宏・稲積真哉

0363 既存杭引抜孔への充填材が周辺地盤に与える効果に関する数値解析
納庄一希（明石高専）・桑原秀一・浜口伸一・稲積真哉

0364 噴射系地盤改良に伴う改良範囲のリアルタイム確認手法の提案
李　基鉄（明石高専）・橋田弘之・稲積真哉・石丸和宏・中馬忠司・奥村圭司

●7月14日（金）　午後（I）の部　第9会場
【地盤挙動－凍結・凍土】　13:20 ～ 14:50
座　長：小野　丘（北海学園大学）

0365 電気抵抗による路盤路床の凍結および融解状態計測方法に関する基礎的検討
丸山記美雄（寒地土研）・上野千草・木村孝司

0366 断熱材を併用した特殊ふとんかごによる寒冷地域における切土のり面の凍上対策について（その2）
野上　敦（寒地土研）・林　憲裕・佐藤厚子

0367 凍土ー地中構造物間の凍着強度の評価
辻　良祐（鹿島建設）・吉田　輝・照井秀幸・長田友里恵

0368 地下水流が存在する多層地盤に凍結工法を用いた場合の凍土造成解析
久門義史（精研）・松岡啓次・森内浩史・上田保司

0369 発熱TDRを用いた凍結地盤における土中氷量測定法の開発
中野雄太（岐阜大）・小島悠揮・加藤千尋・登尾浩助・神谷浩二

0370 高舘ロームの凍上による強度低下の把握
橋詰　豊（八戸工大）・盛健太郎・金子賢治・浜中寿夫・坂野一平・石井大悟

0371 凍結粘性土における電気伝導機構のモデル化
齋藤祐磨（早大）・小峯秀雄・後藤　茂・上田保司・大石雅人

●7月12日（水）　午前（I）の部　第10会場
【調査・分類－ボーリング・サンプリング】　9:00 ～ 10:30
座　長：藤原　照幸（地域地盤環境研究所）

0109 高品質サンプラーで採取したサンゴ礫混じり土の強度特性
横田幸治（応用地質）・利藤房男・渡部要一・具志良太

0110 礫質材で構成される道路盛土の乱れの少ない試料採取
武内亮裕（応用地質）・陣内龍太郎・大曽根啓介・山口和範

0111 うめきた2期地区での110mボーリングと各種物理検層による地盤性状
久保田耕司（基礎地盤コンサルタンツ）・大島昭彦・山口伸治・森川俊英・長原圭亮・中曽康壽・中尾正善

0112 うめきた2期地区の沖積，洪積粘土層の土質特性
大島昭彦（大阪市大）・小坂慎一・中村優孝・末吉拳一・久保田耕司・笹尾憲一・中曽康壽・中尾正喜

0113 可動ピストンを採用したサクションサンドサンプラー
澤田俊一（応用地質）

0114 砂質土地盤の動的貫入試験における貫入挙動測定
安　浩輝（東京ソイルリサーチ）・乾　一幸・吉田　正・田中　剛・伊藤和也・末政直晃

0115 二重管サンプラーのインナーチューブの共回りの状況と採取される試料の乱れに関する検討
谷　和夫（東京海洋大）

●7月12日（水）　午前（II）の部　第10会場
【調査・分類－地下水調査】　10:50 ～ 12:20
座　長：中嶌　誠門（鹿島建設）

0101 高梁川の堤防水位計測に関する長期耐久性について（その1）～長期間の堤防水位挙動の計測結果～
山口寛央（アサノ大成基礎エンジニアリング）・佐々木泰典・小久保達生・熊本勝史・西垣　誠・佐藤　毅・大森将樹

0102 高梁川の堤防水位計測に関する長期耐久性について（その2）～光ファイバー水位計の長期耐久性について～
小久保達生（アサノ大成基礎エンジニアリング）・佐々木泰典・山口寛央・熊本勝史・西垣　誠・佐藤　毅・大森将樹

0103 高梁川の堤防水位計測に関する長期耐久性について（その3）～長期水位計測を可能にした要因の検討～
佐々木泰典（アサノ大成基礎エンジニアリング）・山口寛央・小久保達生・熊本勝史・西垣　誠・佐藤　毅・大森将樹

0104 斜面裾部の亀裂性頁岩からなる切土平坦部の地下水位と降雨量との関係
木内雄太（創造社）・渡慶次克己・藤田信幸・斎藤孝夫

0105 盛土排水と地下水位の関係
伊勢谷真樹（ネクスコ東日本エンジニアリング）・生方健太・渋谷正浩・渡辺陽太・永井　宏

0106 地下水トレーサーとしての蛍光染料の原位置計測に関する考察
清塘　悠（竹中工務店）・清水孝昭・中島朋宏

0107 水環境に配慮したトンネルルート選定　ー三次元浸透流解析結果を用いた事例ー
吉野弘明（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）・寺田　修・小林寛明・長谷川智則・大東憲二

0108 地下水位の影響要因の分析と予測方法の提案
金　仁哲（延世大学）・ジヌオ キム・ナレ キム・ガラム キム・ジュンファン イ

●7月12日（水）　午後（I）の部　第10会場
【特別セッション　地盤工学会におけるダイバーシティの実現】　13:20 ～ 14:50

主催委員会：会員・支部部　男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
座　長：田中　真弓（鹿島建設）
プログラム：
1. 概要紹介
ダイバーシティ推進のさきにあるもの（仮題）
片岡　沙都紀（神戸大学）
2. 話題提供
(1) 地方でゆるっとダイバーシティ（仮題）
佐野　理（あおば技術士事務所）
(2) 夢への道のり　～研究者・外国人・女性として～（仮題）
崔　琪（横浜国立大学）
(3) 超音波振動薬液注入工法開発の発想から完成まで（仮題）
野口　好夫（人材支援開発機構）
3. 質疑応答・討議

●7月12日（水）　午後（II）の部　第10会場
【DS-5　交通地盤工学における設計・評価・維持管理のイノベーション】　15:10 ～ 16:40

主催委員会：国際部　TC202 国内委員会
座　長：石川　達也（北海道大学）
副座長：桃谷　尚嗣（鉄道総合技術研究所）
プログラム：
1. 一般発表（5編、No.0453 ～ 0457）

0453 耐震性に優れ環境に優しい鉄鋼スラグ混合土盛土の開発に向けた現場検証実験
松尾　遼（神戸大）・片岡沙都紀・田口未由希・澁谷　啓・河井克之・井上　健・松元弘昭・太田哲郎・水田智幸

0454 造粒技術を活用した細粒土の混入率が高いバラスト道床の補修方法に関する実物大模型試験
中村貴久（鉄道総研）・桃谷尚嗣・木次谷一平・伊地知卓也

0455 傾斜模型実験による座屈対策工の地震時道床横抵抗力特性の解明
安竹洸治（横浜国大）・中村貴久・早野公敏・桃谷尚嗣

0456 細粒な粒度を含む路盤材の三軸せん断特性に及ぼす繰返し載荷履歴の影響
木幡行宏（室蘭工大）・天野友貴

0457 細粒土混入道床バラストの保水性試験機の製作と性能評価に関する基礎的実験
青柳智之（北大）・石川達也・松谷真吾・中村貴久・桃谷尚嗣

●7月12日（水）　午後（III）の部　第10会場
【DS-1　地下水面より上の地盤の現場飽和透水性評価】　17:00 ～ 18:30

主催委員会：基準部　地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法（地盤調査規格・基準委員会 WG10）
座　長：西垣　誠（岡山大学）
副座長：杉井　俊夫（中部大学）
副座長：細谷　真一（ダイヤコンサルタント）
1. 開会挨拶
西垣　誠（委員長、岡山大学）
2. 本基準の概要説明と公示意見について
杉井　俊夫（幹事、中部大学）
3. 本基準を用いた事例発表（○印：口頭発表者）
(1) 負圧浸入計の適用事例
○西村　拓（東京大学）
(2) 一般発表（1編、No.0001）
(3) 地下水面より上の地盤を対象とした透水試験方法ー試験孔全体で実施する方法とパッカーを用いる方法についてー
○能野　一美（四電技術コンサルタント）、古川　修三、向谷光彦、久保　慶徳
4. ディスカッション

0001 河川堤防盛土を対象とした原位置透水試験に関する考察
李　圭太（建設技術研究所）・小高猛司・石原雅規

●7月13日（木）　午前（I, II）の部　第10会場
【DS-3　遺産の地盤災害からの保全】　9:00 ～ 12:20

主催委員会：国際部　ATC19 遺産および歴史遺物保存の地盤工学委員会
座　長：岩崎　好規（地域地盤環境研究所）
副座長：三村　衛（京都大学）
プログラム：
1. 基調講演
予察予防観測工法 (preventive monitoring) による地盤災害からの遺産保全
岩崎　好規（地域地盤環境研究所）
2. 一般発表（8編、No.0047 ～ 0054）

0047 アンコール遺跡風化砂岩とエコチップ
福田光治（大成ジオテック）・岩崎好規・本郷隆夫・小山倫史・桑島流音・中川　武・石塚充雅

0048 横須賀製鉄所第1号ドック建設前の地形と地質について：健全性の視点からの考察
藤井幸泰（深田地質研究所）・正垣孝晴・菊地勝広

0049 レーザドップラー振動計による史跡保存工事の効果判定
小林　恵（応用地質）・高瀬尚人・橋本直樹

0050 古墳墳丘の細粗互層構造に関する基礎的研究ー密度・強度・圧縮に与える効果ー
中野雄太（京大）・澤田茉伊・三村　衛・吉村　貢

0051 古墳墳丘の細・粗互層構造に関する基礎的研究ー雨水浸透に与える効果ー
澤田茉伊（京大）・中野雄太・三村　衛・吉村　貢

0052 電気探査及び表面波探査による熊本城石垣等の地盤調査
橋本隆雄（国士舘大）

0053 熊本城の地盤の余震（M=2.7）地震記録に見られる地盤震動特性と常時微動特性
岩崎好規（地域地盤環境研究所）・福田光治・竹本哲也・土田琴世・鈴木恵三・伊藤　肇

0054 歴史的石積構造物基礎の極限支持力算定法の提案
橋本涼太（京大）・菊本　統・小山倫史・三村　衛

●7月13日（木）　午後（I）の部　第10会場
【調査・分類－物理探査　他】　13:20 ～ 14:50
座　長：榊原　淳一（JFE シビル）

0093 FWDと2次元表面波探査による舗装と路体の一体型ハイブリッド点検手法の開発
苅谷敬三（岐阜大）・村田芳信・八嶋　厚・沢田和秀・武田和祥・加藤一郎・岩崎公治

0094 2次元表面波探査・電気比抵抗探査による道路盛土の安定性評価
村田芳信（岐阜大）・苅谷敬三・八嶋　厚・沢田和秀・

武田和洋・加藤一郎・岩崎公治
0095 FWD 試験等による道路補修前後の舗装と路体の状態変化計測
武田和祥（岐阜大）・村田芳信・苅谷敬三・八嶋　厚・沢田和秀
0096 点検・補修計画に基づいた舗装と路体の一体型維持管理マネジメントシステムの提案
八嶋　厚（岐阜大）・村田芳信・苅谷敬三・沢田和秀・武田和祥・加藤一郎・岩崎公治
0097 表面波探査による S 波速度と PDC から推定した N 値の相関性
秋葉拓己（関東学院大）・規矩大義・山口恵美・須藤公介・井口昂樹
0098 人工干潟の覆砂厚の調査：MASW とポータブルコーン貫入試験の調査結果の比較
渡部要一（北大）・金子　崇・上野一彦・鳥越　崇
0099 比抵抗トモグラフィによる介在砂層の検出精度および注入範囲の評価に関する室内実証実験
山本拓治（鹿島建設）・今里武彦・松原好克・小泉　悠・田中俊行・須田久美子
0100 音響トモグラフィ探査による薬液注入改良効果の評価と検証
清水隆弘（JR 西日本）・近藤政弘・仲山貴司・澤田　亮・小椋裕彰・白川和靖

●7 月 13 日（木）　午後（II）の部　第 10 会場
【調査・分類 – サウンディング・物理探査①】
15:10 ～ 16:40
座　長：北田奈緒子（地域地盤環境研究所）
0077 熊本県益城町での地盤調査結果（その 1：調査概要とボーリング結果）
高橋秀一（大和ハウス工業）・平田茂良・大島昭彦・京矢侑樹・久保田耕司
0078 熊本県益城町での地盤調査結果（その 2：サウンディング）
平田茂良（大和ハウス工業）・高橋秀一・大島昭彦・山田　卓
0079 熊本県益城町での地盤調査結果（その 3：土質試験結果）
市村仁志（大和ハウス工業）・平田茂良・高橋秀一・大島昭彦・中村優孝・渋谷朋樹
0080 熊本県益城町での地盤調査結果（その 4：CPT 結果）
小川正宏（報国エンジニアリング株式会社）・高田　徹・大島昭彦・兵動正幸・諏訪靖二
0081 稠密地中レーダによる路床中に混入した巨礫の探査
青池邦夫（応用地質）・木佐貫寛・小河原敬徳・稲崎富士
0082 道路盛土崩壊地における詳細浅層物理探査
木佐貫寛（土研）・小河原敬徳・尾西恭亮・稲崎富士
0083 高速比抵抗トモグラフィによる堤防不飽和帯浸透過程の 3 次元モニタリング
稲崎富士（土研）・坂西啓一郎・今村杉夫・木佐貫寛
0084 マルチチャンネル地中レーダによる道路路盤の 3 次元水分率マッピング
尾西恭亮（土研）・木佐貫寛・小河原敬徳・稲崎富士

●7 月 14 日（金）　午前（I）の部　第 10 会場
【調査・分類 – サウンディング・物理探査②】
9:00 ～ 10:30
座　長：森　友宏（前橋工科大学）
0085 粒子フィルタと弾性波探査解析を用いた土構造物内の劣化箇所推定
高松亮佑（京大）・村上　章・中畑和之
0086 サウンディングと物理探査に基づくまさ土斜面の表層強度評価
植田起也（岡山大）・西村伸一・今出和成・珠玖隆行・柴田俊文
0087 切土のり面の長期的な経年変化に関する実態調査の分析
藤原　優（NEXCO 総研）・藤岡一頼・永田政司・佐藤尚弘
0088 海底地盤でのトラフィカビリティの評価手法の開発，その 1：サウンディング方法の検討
桑原拓馬（東亜建設工業）・谷　和夫・田中洋輔・森澤友博
0089 海底地盤でのトラフィカビリティの評価手法の開発，その 2：小型のバケットを用いた支持力実験
田中洋輔（東亜建設工業）・谷　和夫・森澤友博・桑原拓馬
0090 孔内載荷試験より圧密降伏応力を求めた事例
柳浦良行（基礎地盤コンサルタンツ）・久保田耕司・武政　学
0091 粘性土のサンプリング・サウンディング試験の貫入抵抗と非排水せん断強さとの相関
安田賢吾（大阪市大）・大島昭彦・京矢侑樹・久保田耕司
0092 室内試験における土層強度検査棒と三軸試験による強度定数の比較
神山　惇（山口大）・鈴木素之・河内義文・松下英次

●7 月 14 日（金）　午前（II）の部　第 10 会場
【調査・分類 – サウンディング②】
10:50 ～ 12:20
座　長：山田　卓（大阪市立大学）
0063 熊本地震発生前後の SDS データの比較
辻　浩平（ジャパンホームシールド）・末政直晃・田中　剛・菅野安男・前田祐介
0064 SDS 試験機の貫入力向上に関する試み
前田裕介（ジャパンホームシールド）・菅野安男・末政直晃・田中　剛
0065 スウェーデン式サウンディング試験結果から換算した N 値を用いた液状化強度の評価
熊田健太（日大）・酒匂教明・下村修一・安達俊夫・平出　務
0066 利根川下流域における加速度パイプロコーンを用いた液状化調査
神宮司元治（産総研）
0067 PDC を用いた埋立地における液状化評価の事例
豊嶋祐太（応用地質）・中嶋勲雄・武野哲也・東　靖人
0068 河川堤防を対象とした物理探査の適用に関する考察
上野舞子（建設技術研究所）・李　圭太・佐野彰彦・岡嶋義行・小高猛司
0069 2011 年東日本大震災における液状化による利根川三和河川堤防の崩壊箇所の調査
黒阪直生（東京理科大）・塚本良道・兵動太一・稲川雅人

●7 月 14 日（金）　午後（I）の部　第 10 会場
【調査・分類 – サウンディング③】
13:20 ～ 14:50
座　長：田中　剛（東京都市大学）
0070 大型動的コーン貫入試験による摩擦音計測実験（その 1：トルク計測時及びロッド引き抜き時の摩擦音の比較）
新　大樹（大阪市大）・山田　卓・水野建人・大島昭彦・横山功基・平田茂良・市村仁志・柴田芳彦
0071 大型動的コーン貫入試験による摩擦音計測実験（その 2：音を利用した粒度特性の評価）
水野建人（大阪市大）・山田　卓・新　大樹・横山功基・大島昭彦・平田茂良・市村仁志・柴田芳彦
0072 大型動的コーン貫入試験のロッドの周面摩擦力の測定例
野山優一（大阪市大）・大島昭彦・京矢侑樹・平田茂良・柴田芳彦・西田　功
0073 SRS コーンと砂質土の摩擦音に及ぼす平均粒径と均等係数の影響
横山功基（大阪市大）・山田　卓・水野建人・新　大樹・大島昭彦
0074 数値シミュレーションに基づく N 値と Nd 値の関係
荒井克彦（福井地域地盤防災研究所）
0075 測定機 DSPT の信頼性を考察する
柳信一郎（総合地質コンサルタント）・片山浩明
0076 各種原位置サウンディング試験における地盤の擾乱と計測値の意義
森　友宏（前橋工科大）

●7 月 12 日（水）　午前（I）の部　第 11 会場
【地盤中の物質移動 – 移流拡散・地下水移動】
9:00 ～ 10:30
座　長：日比　義彦（名城大学）
0418 表層不飽和領域への間隙水流入に着目した砂地盤の液状化に関する研究
高田祐希（京大）・上田恭平・三上武子・井合　進
0419 連続揚水による地下水汚染源を特定するための調査方法の検討
吉丸哲司（基礎地盤コンサルタンツ）・打木弘一
0420 不圧帯水層における帯水層厚と限界水位低下率の相関
木村隆行（エイト日本技術開発）・渡辺俊一・今田真治
0421 モンテカルロ法を用いた地盤の鉛直透水係数の推定
渡辺和博（大林組）・山田祐樹・森尾義彦
0422 成層地盤内を移行する溶質のマクロ分散性評価
上田祥央（神戸大）・井上一哉・田中　勉
0423 微細気泡水の化学的特性が多孔質体中の微細気泡挙動に与える影響
濱本昌一郎（東大）・竹村貴人・鈴木健一郎・二瓶直登・西村　拓
0424 粉体状の各種ベントナイトの吸水特性と膨潤圧発生挙動
小峯秀雄（早大）・小山田拓郎・磯さち恵

●7 月 12 日（水）　午前（II）の部　第 11 会場
【地盤中の物質移動 – 浸透①】
10:50 ～ 12:20
座　長：所　哲也（苫小牧工業高等専門学校）
0425 粒径の異なる砂で形成された砂骨格の透水性について
上村健太郎（東京都市大）・佐々木隆光・末政直晃・伊藤和也
0426 土／水連成 FEM による浸透破壊の数値解析
杉江茂彦（大林組）・中道洋平・鈴木和明
0427 特殊バキュームウェル工法の数値解析法の提案と施工管理への適用（第四報）
植松祐亮（エーバイシー）・本多顕治郎・飯田健一
0428 浸透流作用時の透水特性と細粒分移動の X 線 CT による観察
佐藤貴亮（北見工大）・山下　聡・川尻峻三・川口貴之
0429 小型二次元矢板締切り地盤の浸透破壊特性（仮題）
前田直人（神戸大）・田中　勉・永井　茂・笠松晃次・井上一哉
0430 非定常浸透流解析による盛土内水位変化の推定とその影響因子の比較検討
日下寛彦（東工大）・高橋章浩・藤岡一頼

●7 月 12 日（水）　午後（I）の部　第 11 会場
【地盤中の物質移動 – 浸透②】
13:20 ～ 14:50
座　長：川口　貴之（北見工業大学）
0431 管渠周辺地盤での空洞進展に及ぼす動水勾配の影響
澤見英樹（名工大）・前田健一・田坂晃一・川田卓嗣・渡辺完弥
0432 Experimental Study on Internal Erosion Caused by Downward and Upward Seepage Flow with Different Hydraulic Gradients
Saw Wut Yee Ms（埼玉大）・桑野二郎・鈴木彩菜
0433 漏水が発生している河川堤防における浸透挙動の計測事例
片山頌嵩（岡山大）・竹下祐二・津國遼太郎・金　秉洙・児子真也
0434 河川堤防の浸透流による土粒子の移動に関する繰り返し浸透実験（その 1）
東　拓生（土研）・秋場俊一・石原雅規・佐々木哲也
0435 河川堤防の浸透流による土粒子の移動に関する繰返し浸透実験（その 2）
秋場俊一（土研）・石原雅規・東　拓生・佐々木哲也
0436 間隙くびれ径分布を用いた内部浸食ポテンシャルの提案
杉井俊夫（中部大）・余川弘至・朱　発瑜・小竹亮太
0437 不飽和多層地盤の層境界を通過する浸透流に関する実験的研究
岡部祐美（東大）・陶　尚寧・松丸貴樹・内村太郎
0438 3 次元粒子－流体連成モデルによる内部侵食の解析
岡田紘明（京大）・福元　豊・藤澤和謙・村上　章

●7 月 12 日（水）　午後（II）の部　第 11 会場
【地盤中の物質移動 – 浸透③】
15:10 ～ 16:40
座　長：木元小百合（京都大学）
0439 注水井戸の目詰まりに関する考察
中島朋宏（竹中工務店）・清水孝昭・清塘　悠・

古川靖英・向井一洋

0440 注水井戸の限界注水流量に関する考察
前　康大（竹中工務店）・清水孝昭・中島朋宏

0441 河川堤防を対象として地盤物性値のばらつきを考慮した円弧すべり法の検討
花田光司（千葉工大）・鈴木　誠・吉浪康行

0442 模型実験による地盤材料の侵食強さの評価方法の検討
清野　颯（長岡技科大）・梅沢圭佑・福元　豊・大塚　悟

0443 降雨時における融雪水の地盤内浸透挙動に及ぼす気象条件の影響
森　　瑛（北大）・Thanh Binh Nguyen・石川達也・村山　陽

0444 河川堤防の浸透強化対策のための透気防水シートの有効性
伊東侑毅（岐阜大）・神谷浩二・佐藤拓也・川岸　靖・小島悠揮

0445 表層流れによる地盤応力変化の解析的考察の試み
山口敦志（名工大）・前田健一・松田達也・髙木健太郎

●7月12日（水）　午後（III）の部　第11会場
【地盤中の物質移動－浸透④】　17:00 ～ 18:30
座　長：井上　一哉（神戸大学）

0446 透明土を用いた薬液浸透過程の可視化と評価に関する研究
竹花和浩（ジオデザイン）・高野大樹・高橋英紀・森川嘉之

0447 不飽和ベントナイトの人工海水環境下における吸水特性
磯さち恵（大成建設）・小峯秀雄

0448 砂層をベントナイト層で挟み込む三層遮水構造における砂層の粒径が吸水・膨潤特性に及ぼす影響の考察
尾崎　匠（早大）・小峯秀雄・山本修一・浦田智仁

0449 多相混合体理論によるハイドレート産出時における内部浸食のモデル化に関する研究
赤木俊文（京大）・木元小百合

0450 地下水の返送による地盤の透水性低下とその対策（その1）カラム実験
石川　明（清水建設）・芹澤貞美・田崎雅晴

0451 地下水の返送による地盤の透水性低下とその対策（その2）フィルターによる目詰まり物質の除去
芹澤貞美（清水建設）・石川　明・田崎雅晴

0452 地盤における透水係数の検証
齋藤裕己（千葉工大）・鈴木　誠・菱谷智幸

●7月13日（木）　午前（I）の部　第11会場
【特別セッション　道路保全地盤技術向上に資する調査・研究 成果報告会】　9:00 ～ 10:30

主催委員会：総務部　平成28年度道路保全地盤技術向上の調査・研究助成審査委員会
司　会：宮田　喜壽（防衛大学校）
プログラム：
1. 開会あいさつ
2. 報告（○印：口頭発表者）
・構造物接続部への適用を目指した泥炭地盤における長期沈下予測ツールの開発
○山添　誠隆（秋田工業高等専門学校）、西村　聡
・縦打ち補強土工法の力学挙動の解明に関する実験的研究
○加村　晃良（福島工業高等専門学校）、河井　正（東北大学）、金　鍾官
・集中豪雨後における RC 橋脚沈下現象の挙動解明と対策工の検討
○葛西　昭（熊本大学大学院）、金田　一広、大谷　順
・外部応力による地中空洞崩落・道路陥没発生メカニズムの解明
○佐藤　真理（島根大学）、藤澤　和謙
3. 質疑応答

●7月13日（木）　午前（II）の部　第11会場
【特別セッション　平成28年度地盤工学会賞受賞者講演会】　10:50 ～ 12:20

主催委員会：総務部　平成28年度表彰委員会
司　会：大谷　順（熊本大学）
プログラム：
1. 平成28年度地盤工学会賞に関する報告
大谷　順（熊本大学）
2. 発表及び質疑（○印：口頭発表者）
【技術賞部門】
・技術業績賞（事業）　軟弱泥炭地盤上の北海道新幹線函館総合車両基地の盛土造成
○鉄道建設・運輸施設整備支援機構
・技術業績賞（技術）「命の道　つながる紀勢線」の完成に貢献した巨大法面建設時の岩盤評価手法および施工・管理技術
国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所、○大成建設（株）
・技術開発賞　津波浸透力の効果を考慮した防波堤腹付工の設計および施工技術
高橋　英紀、佐々　真志、森川　嘉之、青木　亮介、国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所、○国土交通省四国地方整備局高松港湾空港技術調査事務所（所長　三野　真治）
【研究・論文賞部門】
・論文賞（和文部門）　模型実験による地震時斜面崩壊開始エネルギー閾値の評価と実崩壊事例との対比
○國生　剛治（中央大学名誉教授）、山本　祐美加、小柳　智行、斎藤　雄二郎、山田　拓馬
・論文賞（和文部門）　海底に堆積する粘土の波浪作用下における安定条件と自然含水比
土田　孝、○熊谷　隆宏（五洋建設）、安部　太紀
・論文賞（英文部門）　The effects of block shape on the seismic behavior of dry-stone masonry retaining walls: A numerical investigation by discrete element modeling
○福元　豊（長岡技術科学大学）、吉田　順、阪口　秀、村上　章
・論文賞（英文部門）　Study on the pore water pressure dissipation method as a liquefaction countermeasure using soil-water coupled finite deformation analysis equipped with a macro element method
○野田　利弘（名古屋大学）、山田　正太郎、野中　俊宏、田代　むつみ
・研究奨励賞　A study on viscous properties and small strain characteristics of undisturbed gravelly soils
○榎本　忠夫（茨城大学）
・研究奨励賞　地盤汚染の封じ込めに用いられるソイルベントナイト遮水壁の空間的に連続な原位置性能評価手法の開発
○高井　敦史（京都大学）
・研究奨励賞　Cyclic deformation-strength evaluation of compacted volcanic soil subjected to freeze-thaw sequence
○松村　聡（港湾空港技術研究所）
3. 質疑応答
4. 閉会挨拶
大谷　順（熊本大学）

●7月13日（木）　午後（I）の部　第11会場
【平成28年8月北海道豪雨災害調査報告会】　13:20 ～ 14:50

主催委員会：平成28年8月北海道豪雨による地盤災害調査団
団　長：石川　達也（北海道大学）
プログラム：
1. 被害調査概要
石川　達也（北海道大学）
2. 気象概要
川端　伸一郎（北海道科学大学）
3. 国道274号・国道38号の被害概要と地盤工学的特徴
木幡　行宏・川村　志麻（室蘭工業大学）
4. 道道・高速道路・鉄道の被害概要
磯部　公一（北海道大学）
5. 河川堤防の被害と復旧の概要
西村　聡（北海道大学）、川尻　峻三（北見工業大学）
6. 総括
石川　達也（北海道大学）
7. 質疑応答

●7月13日（木）　午後（II）の部　第11会場
【展望】　15:10 ～ 16:40

テーマ：河川堤防
講演者：岡村　未対（愛媛大学）
司　会：西村　伸一（岡山大学）

●7月14日（金）　午前（I）の部　第11会場
【一般－規格・基準】　9:00 ～ 10:30
座　長：三上　武子（前田建設工業）

0034 アンケート調査結果から見た地盤材料試験の現状―土粒子の密度試験―
中澤博志（防災科研）・沼倉桂一・若杉　護・渡辺健治

0035 アンケート調査結果から見た地盤材料試験の現状－土の粒度試験－
沼倉桂一（川崎地質）・中澤博志・若杉　護・中川　直

0036 アンケート調査結果から見た地盤材料試験の現状―突固めによる土の締固め試験―
若杉　護（基礎地盤コンサルタンツ）・中澤博志・沼倉桂一・保坂守男

0037 数量化Ⅱ類による土の物理的性質試験のばらつき要因分析例
藤田琢磨（大阪工大）・日置和昭・服部健太

0038 小型変水位透水試験による砂・ベントナイト混合土の透水係数測定のための供試体の簡易的飽和促進方法－給水方法の違いによる影響－
倉持隼斗（早大）・小峯秀雄・関口高志・三浦玄太

0039 煮沸法と減圧法による試料調整の違いが土粒子の密度に与える影響
島村章吾（応用地質）・小川朋美・畠山正則・持田文弘

0040 Consideration on water content, liquid limit and coefficient of consolidation obtained by Vietnamese and Japanese soil test method
アン ド トゥアン（室蘭工大）・木幡行宏・芦田一真

●7月14日（金）　午前（II）の部　第11会場
【一般－基準・その他】　10:50 ～ 12:20
座　長：木幡　行宏（室蘭工業大学）

0041 地盤材料技能試験における配付試料の均質性について
中山義久（関西地盤環境研究センター）・澤　孝平・山内　昇・松本修司・服部健太・日置和昭

0042 地盤材料試験の技能試験結果における評価と正規性の検討
山内　昇（北海道土質試験協同組合）・澤　孝平・中山義久・稲積真哉・藤原照幸・日置和昭

0043 技能試験のために予備作製した供試体の均質性と強度特性について
服部健太（関西地盤環境研究センター）・日置和昭・中山義久・松本修司

0044 技能試験結果の不確かさ評価による配付試料の均質性に関する検討（その4）
澤　孝平（関西地盤環境研究センター）・中山義久・服部健太

0045 土検棒及びSH型貫入試験による伊勢原市大山地区の斜面表層調査
幡野雅春（オリエンタルコンサルタンツ）・杉山太宏

0046 地盤防災に用いる低価格UAVの最新動向
齋藤　修（茨城大）

●7月14日（金）　午後（I）の部　第11会場
【地盤挙動－現地計測】　13:20 ～ 14:50
座　長：川村　志麻（室蘭工業大学）

0372 傾斜センサーで捕捉した法面崩壊または不安定化に至るまでの地盤挙動の計測事例
藤谷　久（中央開発）・山口弘志

0373 掘削溝の崩壊計測に関する実大模型実験
玉手　聡（安衛研）・堀　智仁

0374 実大規模斜面の多段階掘削における地表面変位の逆速度による退避基準の検討
平岡伸隆（安衛研）・吉川直孝・笹原克夫・伊藤和也

0375 実証実験による破砕瓦の土圧特性の把握
山本　龍（ニュージェック）・東野隆之・鈴木正芳・菅野高弘・森　晴夫・曽根照人・遠藤信之・森河由紀弘

0376 MEMS型三軸傾斜計による斜面変動監視方法に関する検討

安住　晴（鳥取大）・中村公一・島内哲哉・小野和行・西山　哲

0377　高飽和度領域における ThetaProbe を用いた体積含水率の測定精度
太田信之介（茨城大）・小林　薫・本多顕治郎・宮崎　航

0378　NEXCO 無線 LAN と無線センサを活用した斜面災害検知技術の検討
中本昌希（西日本高速道路エンジニアリング中国）・櫻谷慶治・濱沖俊史

●7 月 12 日（水）　午前（I）の部　第 12 会場
【調査・分類 - 地形・地質】　9:00 ～ 10:30
座　長：村上　哲（福岡大学）

0123　岩盤地すべり解析に用いるバランス断面法を模擬した弾塑性有限要素解析手法の提案
瀬崎章太郎（環境地質）・若井明彦・大野博之・小坂英輝

0124　新潟－長野県境に発達する更新世巨大山体崩壊群
朝比奈利廣（パスコ）

0125　風化花崗岩の切土造成地における二次元比抵抗探査を用いた水源調査
平塚智幸（基礎地盤コンサルタンツ）・大谷直毅・平野浩史・佐々木勝

0126　「平成 28 年熊本地震」による高速道路の土工構造物における変状調査結果の報告
細田寿臣（NEXCO 総研）・藤岡一頼・村上豊和

0127　5mDEM データを用いた地形要素、特に人工改変地の抽出手法の検討
佐々木達哉（応用地質）・先名重樹

0128　UAV 搭載型レーザスキャナによる植林地斜面調査に関する考察
小野貴稔（中日本航空）・沢田和秀・冨井隆春・鈴木義美

0129　地形情報とボーリングデータを併用した新潟市域における表層地盤モデル作成の試み
保坂吉則（新潟大）・尾崎佑輔・大貫敦史・大竹　雄

0130　ボーリングデータベースに基づく三次元グリッドモデル構築手法：東京低地への適用
木村克己（防災科研）・花島裕樹・大井昌弘

●7 月 12 日（水）　午前（II）の部　第 12 会場
【DS-2　室内土質試験への ISO 規格の導入と JIS 改訂作業の進捗状況】　10:50 ～ 12:20

主催委員会：基準部　室内試験規格・基準委員会
座　長：豊田　浩史（長岡技術科学大学）
副座長：仙頭　紀明（日本大学）
プログラム：
1. 挨拶
2. ISO 国内委員会関連発表
（1）一般発表（1 編、No.0002）
（2）TC182（「微動計測ツールに関する規格）の状況
宮田　喜壽（防衛大学校）
（3）一般発表（1 編、No.0003）
（4）基準英訳に関する実行委員会活動報告　－地盤工学会基準の英訳化の状況と普及活動－
佐藤　毅（幹事、アサノ大成基礎エンジニアリング）
3. 赤本関連発表
一般発表（6 編、No.0004 ～ 0009）
4. 全体ディスカッション

0002　地盤関連 ISO の審議状況と地盤工学会における ISO 活動－平成 28 年度－
浅田素之（清水建設）・今村　聡

0003　Action Report of JGS Technical Committee for ISO/TC221
椋木俊文（熊本大）・篠田昌弘

0004　室内土質試験方法の国際規格審議状況－ 2016 年度－
豊田浩史（長岡技科大）

0005　室内土質試験への ISO 規格の導入と JIS 改訂作業の進捗状況　－ WG1（物理特性）の報告－
原　　忠（高知大）・杉井俊夫・松川尚史

0006　工学的分類における人工材料の体系化に向けて
荒井靖仁（中央開発）・中村裕昭

0007　室内土質試験の JGS 改訂作業と新基準化の進捗状況－ WG2（化学特性）の報告－
肴倉宏史（国立環境研究所）・三浦俊彦

0008　室内土質試験への ISO 規格の導入と JIS 改正作業の進捗状況－ WG3（透水・圧密特性）の報告－
藤原照幸（地域地盤環境研究所）・渡部要一・神谷浩二・京野　修・酒匂一成・小泉和広・小島悠揮

0009　室内岩石試験の JGS 改訂作業の進捗状況－ WG4（力学特性）の報告－
岡田哲実（電力中研）・澁谷　啓・川口貴之

●7 月 12 日（水）　午後（I）の部　第 12 会場
【調査・分類 - 地盤情報データベース】　13:20 ～ 14:50
座　長：大井　昌弘（防火科学技術研究所）

0131　益城町安永におけるボーリング調査結果による地盤特性について
北田奈緒子（地域地盤環境研究所）・三村　衛・井上直人・宇野匡範・宗　哲仁

0132　ボーリングと微動探査を併用した熊本県益城町の地盤構造評価について
宇野匡範（京大）・三村　衛・北田奈緒子・吉田邦一

0133　全国電子地盤図システムによる高崎市の地盤のモデル化
土倉　泰（前橋工科大）・松井翔一

0134　高密度な地盤調査データベースと微地形区分を組み合わせた表層地盤条件の空間分布評価
大西徹夫（中央開発）・田中浩平・坂井公俊

0135　地盤情報データベースを活用した大分平野の地盤構成
濱田晃之（地域地盤環境研究所）・竹村恵二・北田奈緒子・越後智雄

0136　地盤調査結果における工学的基盤位置の自動抽出アルゴリズムの構築
坂元一雄（構造計画研究所）・田中浩平・坂井公俊・庄司正弘

0137　大阪地域の 250m メッシュ浅層地盤モデルにおける粘土層の圧密特性の見直し
小坂慎一（大阪市大）・大島昭彦・中村優孝・末吉拳一・春日井麻里・藤原照幸・濱田晃之

0138　北千住地区において 250m と 50m のメッシュで作成した地盤モデルの比較
佐藤　剛（東京電機大）・安田　進・石川敬祐

●7 月 12 日（水）　午後（II, III）の部　第 12 会場
【DS-4　地盤情報データベースの整備とその利活用】　15:10 ～ 18:30

主催委員会：国際部　ATC10
（Urban Geo-Informatics：都市地盤情報）国内委員会
座　長：三村　衛（京都大学）
副座長：北田奈緒子（地域地盤環境研究所）
プログラム：
1. はじめに
三村　衛（委員長、京都大学）
2. 話題提供
(1) メッシュサイズの違いが地盤のモデル化に与える影響
－北千住地区に関して－
安田　進（東京電機大学）
(2) 大阪平野における地盤情報と地下水利用との結合について
北田　奈緒子（地域地盤環境研究所）
(3) 大分平野地域における別府 - 万年山断層帯の分布について
竹村　恵二（京都大学地球熱学研究施設）
(4) 熊本県益城町における地盤特性について
三村　衛（京都大学）
一般発表　（2 編、No.0055 ～ 0056）
3. 質疑応答
4. 委員会活動報告
(1) 電子地盤図委員会の報告
(2) 関東支部「地盤情報を活用した首都直下型地震への対策検討委員会」の報告
(3) ATC10 委員会活動の報告
5. 質疑応答
6. ディスカッション

0055　ニューラルネットネットワークによる西大阪沖積粘土の土質特性の空間分布推定
小田和広（大阪大）

0056　三次元グリッドモデルに基づく中川低地南部における地震動増幅特性の評価
清水　翼（千葉大）・関口　徹・王寺秀介・鈴木一成

●7 月 13 日（木）　午前（I）の部　第 12 会場
【特別セッション　原子力発電所廃止措置のための地盤工学（廃炉地盤工学）の創出と人材育成】　9:00 ～ 10:30

主催委員会：調査・研究部　福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会
座　長：東畑　郁生（関東学院大学）
副座長：小峯　秀雄（早稲田大学）
プログラム：
1. 挨拶
東畑　郁生（委員長、関東学院大学）
2. 廃炉地盤工学講演会・講演内容ダイジェスト
小峯　秀雄（早稲田大学）
3. 廃炉のための地盤施工学
後藤　茂（地盤工学会／早稲田大学）
4. 早大院地盤工学特論 B における廃炉地盤工学人材育成の試みと一事例
渡邊　保貴（電力中央研究所）
倉持　隼斗（早稲田大学）
5. 廃炉地盤工学若手技術者の会の議論内容紹介
渡邊　保貴（電力中央研究所）
渡邉　康司（大林組）
6. 企業・大学における若手技術者育成と科研費・経産省等関連大型研究プロジェクトへの若手技術者の誘いに関するフロアーディスカッション
司会：小峯　秀雄（早稲田大学）
7. 閉会の挨拶
鈴木　誠（副委員長、千葉工業大学）

●7 月 13 日（木）　午前（II）の部　第 12 会場
【DS-7　エネルギーに基づく液状化予測の可能性】　10:50 ～ 12:20

主催委員会：調査・研究部　エネルギーに基づく液状化予測手法に関する研究委員会
座　長：國生　剛治（中央大学）
副座長：風間　基樹（東北大学）
プログラム：
1. 一般発表（8 編、No.0761 ～ 0768）

0761　液状化評価における地震波動エネルギー（Demand）と砂地盤のエネルギー容量（Capacity）の比較法
國生剛治（中央大）

0762　累積損失エネルギーに基づく土の液状化抵抗評価の現行の液状化強度に対する優位性
風間基樹（東北大）・河井　正・金　鍾官・富田真之

0763　エネルギーの釣合に基づく地盤液状化の評価方法　－ 入力エネルギーおよび分配エネルギーの感度解析 －
酒匂敦明（日大）・下村修一・安達俊夫

0764　平均有効主応力で正規化した消散エネルギーに基づく複数回液状化試験の分析
青柳悠大（東大）・古関潤一

0765　平均有効主応力で正規化した消散エネルギーに基づく豊浦砂の再液状化特性の定式化
山崎佑太朗（東大）・古関潤一・青柳悠大

0766　異なる相対密度を持った珪砂の液状化強度曲線の評価
本多　剛（竹中工務店）・重野喜政

0767　異方圧密状態が液状化強度や損失・ひずみエネルギーに及ぼす影響
原田健二（不動テトラ）・安田　進・石川敬祐

0768　地下水位変動による拘束圧の変化が砂質土の液状化特性に及ぼす影響
石川敬祐（東京電機大）・安田　進・武田　陽

●7 月 13 日（木）　午後（I, II）の部　第 12 会場
【DS-6　新しい地盤環境管理と基準に向けた取組】　13:20 ～ 16:40

主催委員会：調査・研究部　社会実装に向けた新しい地盤環境管理と基準に関する研究委員会
座　長：肴倉　宏史（国立環境研究所）
副座長：乾　徹（京都大学）
プログラム：
第 1 部
座長：保高　徹生（産業技術総合研究所）
1. 委員会報告：委員会について
肴倉　宏史（委員長、国立環境研究所）
2. 委員会報告

(1) WG1：溶出試験 WG の活動について
渡邊　保貴（電力中央研究所）
(2) WG2：地盤環境影響評価法 WG
乾　徹（京都大学）
(3) WG3：社会啓蒙 WG
龍原　毅（パシフィックコンサルタンツ）
(4) WG4：掘削岩石評価法 WG
品川　俊介（土木研究所）
(5) WG5：副産物有効利用 WG
肴倉　宏史（国立環境研究所）・加藤　雅彦（明治大学）・隅倉　光博（清水建設）

第 2 部
座長：肴倉　宏史（国立環境研究所）
1. 一般発表
・溶出試験関係
一般発表（5 編、No.0988 ～ 0992）
・安全性評価
一般発表（3 編、No.0993 ～ 0995）

0988 試料の乾湿条件・フィルター径が海成堆積物の砒素溶出量に与える影響
堀　睦（京大）・保高徹生・井本由香利・勝見　武・乾　徹・高井敦史

0989 シリアルバッチ溶出試験の課題と対応－振とう待機時間と振とう後残渣の保管条件が重金属等の溶出濃度に与える影響について－
田本修一（寒地土研）・倉橋稔幸

0990 散水型カラム浸透試験による自然由来砒素を含む岩石の溶出挙動評価
篠原智志（鹿島建設）・乾　徹・高井敦史・勝見　武

0991 カラム破過曲線に基づく土壌からの無機物質溶出機構の推定
井本由香利（産総研）・保高徹生・黒澤暁彦

0992 上向流カラム通水試験を用いた石炭灰混合材料の長期溶出特性
池田哲朗（福岡大）・佐藤研一・藤川拓朗・古賀千佳嗣

0993 不飽和層における物質移行特性に着目した汚染土壌の重金属等によるリスク評価法の検討
保高徹生（産総研）・張　紅・井本由香利・中村謙吾・勝見　武

0994 アンカー切土のり面の確率的安全性評価手法の開発
冨岡　明（岐阜大）・八嶋　厚・原　隆史・曽我宣之

0995 東京外環シールド工事における、一体の施工システムに潜む、中性固化材や工業薬品由来の汚染リスク排除に向けて（シールド工事の建設発生土にかかる環境安全品質の考え方）
水野克己（リーフエア）

●7 月 14 日（金）　午前（I, II）の部　第 12 会場
【DS-8　南海トラフ巨大地震による地盤災害に備えて】
9:00 ～ 12:20

主催委員会：関西支部　南海トラフ巨大地震に関する被害予測と防災対策研究委員会、中部支部　南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会
座　長：三村　衛（京都大学）
副座長：野田　利弘（名古屋大学）
プログラム：
第 1 部
座長：三村　衛（京都大学），野田　利弘（名古屋大学）
1. 委員会活動の概要説明
(1) 関西支部：南海トラフ巨大地震に関する被害予測と防災対策研究委員会
三村　衛（京都大学）
(2) 中部支部：南海トラフ巨大地震中部地域地盤災害研究委員会
野田　利弘（名古屋大学）
2. 研究成果報告
(1) 地盤情報データベースと防災マップを融合させた防災ハザードマップの開発（WG1）
大島　昭彦（大阪市立大学）
(2) 地震・津波による地盤・構造物の挙動予測（WG2）
清野　純史（京都大学）
(3) 被災後のロジスティクス（WG3）
奥村　与志弘（京都大学）
(4) 地盤情報を活用した広域地盤災害予測と個別の人工地盤・土構造物およびライフライン施設の被害予測（WG1）
杉井　俊夫（中部大学）
(5) 防災減災のための地盤改良技術とその効果の検証（WG2）
張　鋒（名古屋工業大学）
(6) 災害廃棄物の処理・利活用技術の開発（WG3）
中野　正樹（名古屋大学）
3. 全体討論
第 2 部
座長：三村　衛（京都大学），野田　利弘（名古屋大学）
1. 一般発表（6 編、No.0769 ～ 0774）
2. 発表者への質疑応答
3. 全体討論

0769 地盤情報データベースを活用したハザードマップツールの試作
福塚健次郎（アーステック東洋）・春日井麻里・三村　衛・大島昭彦・日置和昭・後藤浩之・鍋島康之・永井久徳・中嶋勲雄

0770 東日本大震災で発生した災害廃棄物等の分別土砂に関する夾雑物混入率を中心としたアーカイブ調査
鴇田　稔（アイコ）・野口真一・中村吉男・中野正樹・加藤雅彦

0771 地盤改良による仙台市折立地区の常時微動特性の変化
鍋島康之（明石高専）・平井俊之

0772 地盤動的解析のための試験結果のばらつきを考慮したパラメータ範囲についての検討
嶋田倫昌（神戸大）・飯塚　敦・竹山智英・鹿瀬一希

0773 変形特性に注目した堤防の地盤改良技術の耐震性能検証に関する解析的研究
張　鋒（名工大）・Linlin Gu・栗本悠平

0774 複合負荷弾塑性構成式を適用した水～土骨格連成有限変形解析による SCP 改良地盤の地震応答解析
山田正太郎（名大）・野田利弘・浅岡　顕・肥後隼大

●7 月 14 日（金）　午後（I）の部　第 12 会場
【調査・分類－ボーリング・サウンディング・リスクマネジメント・地下水調査】
13:20 ～ 14:50
座　長：渡部　要一（北海道大学）

0116 ポータブル式小型孔内せん断試験装置の開発
志鷹伸太朗（福井大）・小林泰三・平野圭都・佐々木峻之

0117 亜炭廃坑空洞の調査手法の検証
野溝昌宏（応用地質）・山本勝裕

0118 インターネット上の複数の地盤データベースを統合的に活用するためのツールの開発
石田栄介（エイト日本技術開発）・鈴木慎也・塚本博之

0120 自動式小型平板載荷・せん断試験ツールの開発と情報化施工への展開
吉兼一晟（福井大）・小林泰三・小田一磨

0121 地下水流動（水みち）の音響計測による検出に関する基礎検討
松岡永憲（アサノ大成基礎エンジニアリング）・深澤和行・荒井幸夫・小笹浩司・今代　稔・太田秀樹

0122 高速道路における降雨時斜面災害に対するリスクマネジメント
音地　拓（大阪大）・櫻谷慶治・小濱健吾・貝戸清之

●7 月 12 日（水）　午前（I）の部　第 13 会場
【地盤挙動－圧密・沈下①】
9:00 ～ 10:30
座　長：小島　謙一（鉄道総合技術研究所）

0379 泥炭地盤表層におけるアイソタック則を考慮した弾粘塑性モデルの適用検討事例
三木拓也（日本工営）・西村　聡・山添誠隆

0380 溶存気体の気化が真空圧密時の地盤内圧力変化に及ぼす影響
杉山友理（港空研）・長浦崇晃・竹山智英・飯塚　敦

0381 舞鶴若狭自動車道若狭地区の残留沈下と補修状況からみた対策工の事後評価
稲垣太浩（NEXCO 中日本）・中田正生

0382 遠心力場における真空圧密工法と盛土載荷併用時の力学挙動に関する実験
長谷川元輝（京大）・白神新一郎・澤村康生・木村　亮

0383 真空圧密工法への適用に向けたエジェクターの吸引性能の向上に関する実験的研究
上野一彦（五洋建設）・秋本哲平・森　翔大・Binh Nguyen・熊谷隆宏

0384 Laboratory Test on the Performances of Water-jet Ejector and Its Application Method for Vacuum Consolidation Method
ぴん ぐえん（五洋建設）・熊谷隆宏・森　翔太・上野一彦・秋本哲平

0385 圧密試験における一次圧密と二次圧密の分離測定の試み
近藤正佳（川崎地質）・橋本　保・坂上敏彦・太田秀樹

0386 うめきた 2 期地区の沖積，洪積粘土層の繰返し圧密挙動
末吉拳一（大阪市大）・大島昭彦・小坂慎一・久保田耕司・笹尾憲一

●7 月 12 日（水）　午前（II）の部　第 13 会場
【地盤挙動－圧密・沈下②】
10:50 ～ 12:20
座　長：早野　公敏（横浜国立大学）

0387 簡易サンプリング法を利用した沖積粘性土の沈下に関する研究（その 1. 概要）
高橋正志（ポラス暮し科学研究所）・大浦和香子・菊地康明・廣瀬　覚・石田哲朗

0388 簡易サンプリング法を利用した沖積粘性土の沈下に関する研究（その 2. 試験結果）
大浦和香子（ポラス暮し科学研究所）・菊地康明・上廣　太・廣瀬　覚・石田哲朗

0389 簡易サンプリング法を利用した沖積粘性土の沈下に関する研究（その 3. 圧密沈下）
菊地康明（ポラス暮し科学研究所）・大浦和香子・上廣　太・廣瀬　覚・石田哲朗

0390 試験盛土を用いた原位置および室内試験による圧縮沈下特性の比較検討
佐野祥男（神戸大）・李　俊憲・齋藤雅彦・片岡沙都紀・澁谷　啓

0391 原位置水浸沈下試験手法の開発に向けた現場検証実験
石原朱莉（神戸大）・佐野祥男・李　俊憲・片岡沙都紀・齋藤雅彦・澁谷　啓

0392 既存宅地盛土の沈下性能評価手法に関する事例研究
李　俊憲（関西地盤環境研究センター）・片岡沙都紀・田中孝行・一宮大祐・澁谷　啓

0393 不確かさを考慮した地盤解析結果の評価法
伊藤　肇（JIP テクノサイエンス）・太田秀樹・飯塚　敦

0394 圧密沈下量の推定における圧密曲線のモデル化とその誤差に関する確率論的考察
卜　令東（大阪大）・小田和広・山本浩司・藤原照幸・松井　保

●7 月 12 日（水）　午後（I）の部　第 13 会場
【地盤挙動－圧密・沈下③】
13:20 ～ 14:50
座　長：大向　直樹（応用地質）

0395 神戸空港浚渫土処分地の盛土施工後の残留沈下予測計算
岡田広久（神戸市）・大島昭彦・長谷川憲孝

0396 河川堤防における厚層粘土上の築堤盛土による圧密変形に関する考察
中土井佑輔（建設技術研究所）・李　圭太・小林猛嗣・富澤彰仁・岡嶋義行・吉川智勝・中上宗之・小高猛司

0397 三次元弾粘塑性有限要素解析による大水深埋立人工島隅角部の挙動に関する検討
元宗美郷（京大）・三村　衛・肥後陽介

0398 地盤調査結果を用いた埋立解析モデルの修正
片桐雅明（日建設計シビル）・園田　淳・樋口　晃・久賀圭介・山本修司・王丸冬二・大石幹太・加藤卓彦

0399 Stress redistribution in embankment due to basal subsidence using centrifuge models
タン グエン（京大）・ティラポン ピパットポンサー・北岡貴文・大津宏康

0400 笠岡粘土を用いた住宅基礎の沈下挙動に関する研究
廣瀬　覚（東洋大）・菊地康明・石田哲朗

0401 u-w － p formulation に基づく水～土骨格連成解析手法による高透水性土の即時沈下解析
豊田智大（名大）・野田利弘

●7月12日（水）　午後（II）の部　第13会場
【地盤挙動－締固め】　15:10 ～ 16:40
座　長：佐野　良久（NEXCO 総研）

0402 砂・Ca 型ベントナイト混合土における含水比および混練方法と団粒形成の相関に関する一考察
篠崎由梨（早大）・小峯秀雄・千々松正和・山田淳夫

0403 締固めた土の剛性・乾燥密度関係に対する飽和度の影響（その 1. 振動ローラ土槽実験）
三反畑勇（安藤ハザマ）・永井裕之・西尾竜文・菊池喜昭・龍岡文夫・真壁　淳・小薬はるな

0404 締固めた土の剛性・乾燥密度関係に対する飽和度の影響（その 2. 地盤反力係数等）
西尾竜文（安藤ハザマ）・三反畑勇・永井裕之・菊池喜昭・龍岡文夫・真壁　淳・小薬はるな

0405 締固めた土の剛性・乾燥密度関係に対する飽和度の影響（その 3. ローラ加速度等）
永井裕之（安藤ハザマ）・三反畑勇・西尾竜文・菊池喜昭・龍岡文夫・真壁　淳・小薬はるな

0406 締固めで得られた密度と飽和度が土の透水性に与える影響
曽田英揮（水資源機構）・斉藤哲夫・龍岡文夫

0407 飽和度に着目した転圧試験結果の整理（その 3）
岡本道孝（鹿島建設）・藤崎勝利・北本幸義・吉田　輝・小林一三・小林弘明

0408 トンネル岩ズリと砂質シルトを混合した地盤材料の締固め特性
黒岩祐介（東京理科大）・毛利惇士・渡部　優・兵動太一・菊池喜昭・龍岡文夫・三反畑勇・永井裕之

0409 締固め時の施工管理データと締固め地盤の飽和時せん断特性の関係
毛利惇士（東京理科大）・黒岩祐介・渡部　優・兵動太一・菊池喜昭・龍岡文夫・三反畑勇・永井裕之

0410 木片の混入が分別土砂の締固めに与える影響について
中村吉男（愛知工大）・野口真一・肴倉宏史・鴇田　稔

●7月12日（水）　午後（III）の部　第13会場
【地盤挙動－切土・掘削】　17:00 ～ 18:30
座　長：張　鋒（名古屋工業大学）

0411 泥水掘削溝壁近傍の施工機等の重量が掘削溝の安定性に及ぼす影響
山本竜也（中央大）・長谷祐暉・石井武司・齋藤邦夫

0412 隅角部泥水掘削溝の簡易的な安定性評価方法
長谷祐暉（中央大）・山本竜也・石井武司・齋藤邦夫

0413 表面移動速度の逆数を用いた法尻掘削斜面における斜面崩壊予測手法の検討
南出　奏（京大）・ティラポン ピパットポンサー・北岡貴文・大津宏康

0414 スパースモデリングを用いた土留め工における逆解析の基礎的検討
田崎陽介（東京都市大）・吉田郁政・大竹　雄・児玉真之介

0415 軟弱粘性土地盤の地下鉄近接施工における山留め変形対策
中沢楓太（東急建設）・沼上　清・三浦正悟・鈴木智寛

0416 傾斜面に沿った横抵抗を受けた土塊の滑り条件
加納武司（京大）・方　　堃・ティラポン ピパットポンサー・北岡貴文・大津宏康

0417 Physical models on base failure of slope subjected to surcharge loading
方　　堃（京大）・加納武司・ティラポン ピパットポンサー・北岡貴文・大津宏康

●7月13日（木）　午前（I）の部　第13会場
【地盤防災－豪雨（土石流①）】　9:00 ～ 10:30
座　長：中瀬　仁（東電設計）

0931 DDA と SPH を組み合わせた三次元固体・流体連成解析手法の開発と適用
陳　光斉（九大）・張　　洪・王　　偉

0932 一次元スティックースリップ現象のマイクロメカニクスに着目した粒状体の流動挙動
前田健一（名工大）・田中敬大・堀　耕輔・西村柾哉

0933 個別要素法解析を用いた粒状体流れの流下・堆積挙動に及ぼす粒子特性の影響
田中敬大（名工大）・前田健一・内藤直人・堀　耕輔

0934 DEM 解析によるため池堤体勾配が土砂流入時に与える影響についての検討
正田大輔（農村工研）・吉迫　宏・井上敬資・小嶋　創

0935 MPS 法による湛水されたため池貯水池への土石流流入解析
小嶋　創（東京農工大）・向後雄二・正田大輔・笹倉萌子・吉迫　宏・斎藤広隆

●7月13日（木）　午前（II）の部　第13会場
【地盤防災－豪雨（土石流②）】　10:50 ～ 12:20
座　長：若井　明彦（群馬大学）

0936 2016 年の台風 10 号による北海道日勝峠周辺の道路斜面災害について
伊東佳彦（寒地土研）・倉橋稔幸・角田富士夫・山崎秀策

0937 鉄道線路への土砂流入に対応する降雨モニタリングに関する検証
佐々木良（JR 西日本）・杉山友康

0939 道東自動車道 新得地区における土石流応急対策について
三浦由守（NEXCO 東日本）・篠田雅男

0940 近年土砂災害が発生した防府市および広島市の土石流発生頻度の推定
片岡　知（山口大）・鈴木素之・阪口和之・松本宏彰・楮原京子

0941 平成 25 年 7 月山口・島根豪雨災害で土石流が頻発した山口市阿東地区の土石流発生履歴
阪口和之（アジア航測）・鈴木素之・楮原京子・片岡　知・松本宏彰

0942 平成 28 年台風第 10 号により岩手県岩泉町、久慈市、宮古市で発生した土砂災害
八木澤武士（岩手大）・張磨陽祐・山川裕美恵・大河原正文

●7月13日（木）　午後（I）の部　第13会場
【一般－設計法・教育　他】　13:20 ～ 14:50
座　長：谷　和夫（東京海洋大学）

0027 変位レベル依存性を考慮した大断面開削トンネルに対する地盤反力係数の補正
西山和宜（鉄道総研）・仲山貴司・西岡英俊

0028 FEM を用いた信頼性解析とそれによる斜面安全率の評価
佐竹亮一郎（群馬大）・若井明彦

0029 残置土留壁が地震時に地中構造物へ与える影響と耐震補強対策への可能性
五十嵐徹（ニュージェック）・後藤浩之・澤田純男

0030 温度依存性を考慮した飽和・不飽和土の弾塑性モデルについて
山田孝大（東京農工大）・向後雄二・佐藤友孝・斎藤広隆

0031 ベイズ推定を用いた被害予測における死亡者数再現関数の検討
本田和也（神戸大）・橘　伸也・飯塚　敦

0032 高速道路法面を利用した法面研修施設による点検技術者の育成
野呂直史（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋）・行友良和・加藤智巳

0033 福島第一原発廃止処置における地盤工学技術者育成の現状と課題
熊谷浩二（八戸工大）

●7月13日（木）　午後（II）の部　第13会場
【調査・分類－サウンディング①】　15:10 ～ 16:40
座　長：神宮司元治（産業技術総合研究所）

0057 うめきた 2 期地区での地盤調査結果（その 1：調査概要とボーリング結果）
京矢侑樹（大阪市大）・大島昭彦・野山優一・安田賢吾・久保田耕司

0058 うめきた 2 期地区での地盤調査結果（その 2：動的コーン貫入試験）
深井　公（積水ハウス）・松谷裕治・平田茂良・市村仁志・野澤直樹・渡辺佳勝・大島昭彦・山田　卓・京矢侑樹・野山優一

0059 うめきた 2 期地区での地盤調査結果（その 3：スウェーデン式サウンディング試験）
松谷裕治（積水ハウス）・深井　公・小川正宏・野澤直樹・渡辺佳勝・下平祐司・大島昭彦

0060 うめきた 2 期地区での地盤調査結果（その 4：簡易サンプラーの適用性）
渋谷朋樹（サムシング）・矢野さおり・平田茂良・深井　公・小川正宏・大島昭彦

0061 接地抵抗を利用した地下水位簡易測定に関する考察
久賀真一（基礎地盤コンサルタンツ）・金行大輔・千葉久志

0062 観測井構築時の調査データに基づく帯水層の特性抽出に関する検討（大阪・うめきた周辺における検討事例）
藤原照幸（地域地盤環境研究所）・北田奈緒子・濱田晃之・伊藤浩子・大島昭彦・片山辰雄・加藤裕将

●7月14日（金）　午前（I）の部　第13会場
【地盤防災－地すべり・落石①】　9:00 ～ 10:30
座　長：荒木　功平（山梨大学）

0950 模型斜面を用いたサイフォン工の適用性に関する実験的研究
南口優貴（大阪大）・小泉圭吾・小田和広・小松　満・Tohari Adrin・櫻谷慶治

0951 上信越自動車道 香坂地区地すべりにおける、恒久対策工の検討について
西村光司（ネクスコ東日本エンジニアリング）・伊勢谷真樹・宗形和洋・奥村欣司・安積淳一・永井　宏

0952 地中変位の連続観測手法（水平多段孔内伸縮計）の提案
古宮一典（応用地質）・山田政典・吉田　浩・森山　豊・清水　豊・坂本祐樹・山本益男

0953 高速道路の切土のり面に発生した再活動地すべり箇所における土の物性値検証と安定解析に関する一考察
金子雅博（西日本高速道路エンジニアリング中国）・秦　二朗・鈴木素之

0954 層面断層をすべり面とした地すべりの例
橋場幸彦（NEXCO 中日本）・加藤靖郎・笠井克哲

0955 豪雨により発生した退行性地すべりの機構解析及び対策工法検討結果
植田　律（応用地質）・井原拓二・土肥　清・西野勝裕

0956 緩慢に変位する斜面から採取した地盤材料に対するクリープ試験
小早川博亮（電力中研）・田中姿郎

●7月14日（金）　午前（II）の部　第13会場
【地盤防災－地すべり・落石②】　10:50 ～ 12:20
座　長：石丸　真（電力中央研究所）

0957 二値化画像を用いた土砂を含む雪崩の流動観測に関する研究
水村秀喜（日大）・小田憲一・小林義和

0958 斜面崩壊土砂の堆積形状と到達域に関する室内模型実験
土田章仁（アサヒコンサルタント）・河野勝宣・西村　強・寺田幸太

0959 リング形状のワイヤロープユニットを用いた落石防護装置の実規模実験
塩入圭介（テザック）・沢田和秀・杉浦高志

0960 リング形状のワイヤユニットを用いた落石防護装置の実験後解析
沢田和秀（岐阜大）・杉浦高志・塩入圭介

0961 土砂災害における降雨パターンと地質・地盤分類の関係
高原利幸（金沢大）

0962 落石防護土堤の耐衝撃挙動に及ぼす落体質量と衝突速度の影響に関する DEM 解析
堀　耕輔（名工大）・前田健一・内藤直人・田中敬大・牛渡裕二・鈴木健太郎・川瀬良司

●7月14日（金）　午後（I）の部　第13会場
【地盤防災－地すべり・落石③】　13:20 ～ 14:50
座　長：沢田　和秀（岐阜大学）

0963 剥離型落石の危険度評価に関する研究

戎　剛史（国土防災技術）・大谷公貴・眞弓孝之・深田隆弘・澁谷　啓

0964　砕石群滑落実験に対する個別要素法による再現シミュレーション
中瀬　仁（東電設計）・阿部慶太・中村　晋・佐藤恭兵

0965　土壌水分量の変動に着目した斜面崩壊事例分析と乾湿繰り返し一面せん断クリープ試験
沢津橋雅裕（東大）・清田　隆

0966　地震時の斜面崩壊により落下する岩塊群を模擬する簡易実験手法に関する検討
吉井拓海（東北大）・河井　正・風間基樹・金　鍾官・小田哲史

0967　常時モニタリングによる浮石振動特性の気象変化に関する分析
藤岡一頼（NEXCO 総研）・三塚　隆・和地　敬・岡本　栄・甲斐国臣

0968　長大法面におけるアンカー荷重計測事例
小野寺正勝（応用地質）

0969　Effect of Soil Plasticity on Shallow Landslide triggered by Rainfall
イスティヤンテイ メガリア（山梨大）・後藤　聡

5. ディスカッションセッション（DS）

ディスカッションセッション（DS）は、特定のテーマにしぼったミニシンポジウム形式のセッションです。集中的な討議が行えるよう配慮したセッションで、本年は以下の 9 セッションを開催いたします。

各ディスカッションセッションにおける進行次第・話題提供・委員会報告・特別報告・投稿論文発表等の詳細については、**「4. 研究発表セッション一覧・プログラム」**をご参照下さい。

●DS1「地下水面より上の地盤の現場飽和透水性評価」
日　時：7 月 12 日（水）17：00～18：30
場　所：　第 10 会場（名古屋国際会議場 2 号館 3 階 234(b)）
座　長：西垣　誠（岡山大学）
副座長：杉井　俊夫（中部大学），細谷　真一（ダイヤコンサルタント）

●DS2「室内土質試験への ISO 規格の導入と JIS 改訂作業の進捗状況」
日　時：7 月 12 日（水）10：50～12：20
場　所：　第 12 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134）
座　長：豊田　浩史（長岡技術科学大学）
副座長：仙頭　紀明（日本大学）

●DS3「遺産の地盤災害からの保全」
日　時：7 月 13 日（木）9：00～12：20
場　所：　第 10 会場（名古屋国際会議場 2 号館 3 階 234(b)）
座　長：岩崎　好規（地域地盤環境研究所）
副座長：三村　衛（京都大学)

●DS4「地盤情報データベースの整備とその利活用」
日　時：7 月 12 日（水）15：10～18：30
場　所：　第 12 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134）
座　長：三村　衛（京都大学）
副座長：北田　奈緒子（地域地盤環境研究所）

●DS5「交通地盤工学における設計・評価・維持管理のイノベーション」
日　時：7 月 12 日（水）15：10～16：40
場　所：　第 10 会場（名古屋国際会議場 2 号館 3 階 234(b)）
座　長：石川　達也（北海道大学）
副座長：桃谷　尚嗣（鉄道総合技術研究所）

●DS6「新しい地盤環境管理と基準に向けた取組」
日　時：7 月 13 日（木）13：20～16：40
場　所：　第 12 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134）
座　長：肴倉　宏史（国立環境研究所）
副座長：乾　徹（京都大学）

●DS7「エネルギーに基づく液状化予測の可能性」
日　時：7 月 13 日（木）10：50～12：20
場　所：　第 12 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134）
座　長：國生　剛治（中央大学 名誉教授）
副座長：風間　基樹（東北大学）

●DS8「南海トラフ巨大地震による地盤災害に備えて」
日　時：7 月 14 日（金）9：00～12：20
場　所：　第 12 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134）
座　長：三村　衛（京都大学）
副座長：野田　利弘（名古屋大学）

●DS9「地盤品質判定士の役割と期待」
日　時：7 月 13 日（木）9：00～12：20
場　所：　第 4 会場（名古屋国際会議場 2 号館 2 階 224(a)）
座　長：北詰　昌樹（東京工業大学）
副座長：小田部　雄二（アサノ大成基礎エンジニアリング）

6. 展望

日　時：2017 年 7 月 13 日（木）　15:10～16:40
場　所：第 11 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 131/132）

テーマ：河川堤防
講演者：岡村　未対（愛媛大学）
司　会：西村　伸一（岡山大学）

7. 特別セッション（一般開放）

地盤工学会におけるダイバーシティの実現

少子高齢化による労働力人口の減少に対応した人材確保の観点から、様々な機関・企業が“ダイバーシティ”に取り組んでいます。地盤工学分野においても、人材の確保や多様な市場ニーズへの対応、国際競争力の保持などを実現するために、性別、年齢、国籍、学歴などにこだわらない、人材の多様性を受容・育成するためのダイバーシティの推進が必要です。地盤工学会は 2005 年度から企画部(現 事業企画戦略室)で男女共同参画に取り組み始めました。2010 年には男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会を設立し、多様な人材が活躍できる魅力ある学会を実現するために、様々な取組を行ってきました。

今年度も世代間や国籍間から見る「ダイバーシティ」について検討していきます。皆様奮ってご参加ください。

日　時：2017 年 7 月 12 日（水）午後 I　13:20～14:50
場　所：第 10 会場（名古屋国際会議場 2 号館 3 階 234(b)）
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
共　催：公益社団法人土木学会、一般社団法人土木技術者女性の会
後　援：男女共同参画学協会連絡会
座　長：田中　真弓（前委員長、鹿島建設(株)）
プログラム：

13:20～13:30	ダイバーシティ推進のさきにあるもの（仮題） 片岡　沙都紀（神戸大学）
13:30～13:50	地方でゆるっとダイバーシティ（仮題） 佐野　理（あおば技術士事務所）
13:50～14:10	夢への道のり　～研究者・外国人・女性として～（仮題） 崔　瑛（横浜国立大学）
14:10～14:30	超音波振動薬液注入工法開発の発想から完成まで（仮題） 野口　好夫（人材開発支援機構）
14:30～14:50	質疑応答、討議

“サロン・土・カフェ W”のご案内(☞詳細は p.50 をご覧ください)

毎年大好評のお茶会を今年も実施します。地盤工学に関わる女性たちが、お茶とお菓子をいただきながら、意見交換などを行うことで人と人との繋がりを深めることを目的としています。地盤工学会の会員以外の方や、男性の方もぜひご参加ください。

日時：2017 年 7 月 12 日（水）　15:10～16:40
場所：名古屋国際会議場 2 号館 3 階ロビー
費用：300 円（当日、会場で徴収いたします。お菓子の持ちこみ大歓迎）

原子力発電所廃止措置のための地盤工学(廃炉地盤工学)の創出と人材育成

21 世紀の最大の技術課題である福島第一原子力発電所の廃止措置に寄与することを目的に、地盤工学会では、文部科学省「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業　廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」において『福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム』(2015 年度～2019 年度) を早稲田大学・千葉工業大学とともに鋭意推進している。そのプログラムの遂行において、地盤工学会の日本全国に及ぶ広いネットワークを活用し、産官学の英知を結集するため、『福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会 (以降 : 廃炉地盤工学委員会、東畑郁生委員長)』を設立した。

廃炉地盤工学委員会では、中長期ロードマップに示された廃炉シナリオに対して、必要技術の抽出や既存技術の適用性･応用等、地盤工学技術の位置づけを明確かつ具体化し、より実効性の高いと考えられる廃炉シナリオの構築と技術開発を進めている。一方、廃炉シナリオ構築や技術開発のみならず、原子力分野の技術者と協働できる『新しい地盤工学技術者』を育成することを最重要課題と位置付け、原子力発電所の廃止措置に対して地盤工学観点から貢献できる人材の育成について、地盤工学会の講習会や早稲田大学大学院での教育事例を紹介しながら、「廃炉地盤工学」としての教育カリキュラムと教育方針・方法等について議論する。

日　時 : 2017 年 7 月 13 日 (木) 午前 I　9:00～10:30
会　場 : 第 12 会場 (名古屋国際会議場 1 号館 3 階 133/134)
主催委員会 : 福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会
座　長 : 東畑　郁生 (委員長、関東学院大学)
副座長 : 小峯　秀雄 (委員会座長、早稲田大学)

プログラム :

9:00～9:05　挨拶　東畑　郁生 (委員長、関東学院大学)
9:05～9:20　廃炉地盤工学講演会・講演内容ダイジェスト　小峯　秀雄 (早稲田大学)
9:20～9:35　廃炉のための地盤施工学　後藤　茂 (地盤工学会／早稲田大学)
9:35～9:50　早稲田大学大学院・地盤工学特論 B における廃炉地盤工学人材育成の試みと一事例　渡邊　保貴 (電力中央研究所)、倉持　隼斗 (早稲田大学)
9:50～10:00　廃炉地盤工学若手技術者の会の議論内容紹介　渡邊　保貴 (電力中央研究所)、渡邉　康司 (大林組)
10:00～10:25　企業・大学における若手技術者育成と科研費・経産省等関連大型研究プロジェクトへの若手技術者の誘いに関するフロアーディスカッション　司会：小峯　秀雄 (早稲田大学)
10:25～10:30　閉会の挨拶　鈴木　誠 (副委員長、千葉工業大学)

平成28年度道路保全地盤技術向上に資する調査・研究成果報告

地盤工学会では、多岐にわたる活動領域での調査・研究事業を行っており、その一環として、平成 24 年度から平成 28 年度までの期間において、「我が国の道路保全技術の向上に資する調査研究事業」に係る日本国内の 45 歳以下の研究者・技術者を対象に、学会が指定する下記の 3 テーマを調査研究課題とする研究助成事業を実施することになっています。

（調査研究課題：地盤工学会が指定する 3 テーマ）

① 切土・盛土部における道路保全技術に関する研究

② 橋梁との接合部における道路保全技術に関する研究

③ 道路下に敷設された埋設物や道路の陥没に関連する道路保全技術の研究

「平成 28 年度 道路保全地盤技術向上に資する調査・研究」については、第 52 回地盤工学研究発表会にて成果報告会を開催し、研究成果の発表の場を設けました。

日　時：2017 年 7 月 13 日（木）午前 I　9：00～10：30

会　場：第 11 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 131/132）

主催委員会：平成 28 年度道路保全地盤技術向上の調査・研究助成審査委員会

司　会：宮田　喜壽（委員長、防衛大学校）

プログラム：

9:00～ 9:05 開会挨拶　宮田喜壽（防衛大学校）

9:05～ 9:20 構造物接続部への適用を目指した泥炭地盤における長期沈下予測ツールの開発
山添誠隆（秋田工業高等専門学校）

9:20～ 9:35 縦打ち補強土工法の力学挙動の解明に関する実験的研究
加村晃良（福島工業高等専門学校）

9:35～ 9:50 集中豪雨後における RC 橋脚沈下現象の挙動解明と対策工の検討
葛西　昭（熊本大学大学院）

9:50～ 10:05 外部応力による地中空洞崩落・道路陥没発生メカニズムの解明
佐藤真理（島根大学）

10:05～ 10:30 質疑応答

平成28年度地盤工学会賞受賞者講演会

平成 28 年度地盤工学会賞は平成 29 年 3 月 17 日の理事会において 10 件の受賞を決定し、第 59 回通常総会（6 月 9 日）で表彰を行いました。第 52 回地盤工学研究発表会にて受賞者講演を開催し、受賞業績の内容紹介の場を設けました。

日　時：2017 年 7 月 13 日（木）午前Ⅱ　10:50～12:20
会　場：第 11 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 131/132）
主催委員会：平成 28 年度表彰委員会
司　会：大谷　順（委員長、熊本大学）

プログラム：

10:50～10:55　平成 28 年度地盤工学会賞に関する報告　大谷　順 (熊本大学)

10:55～11:00　軟弱泥炭地盤上の北海道新幹線函館総合車両基地の盛土造成
独立行政法人　鉄道建設・運輸施設整備支援機構

11:00～11:05　「命の道　つながる紀勢線」の完成に貢献した巨大法面建設時の岩盤評価手法および施工・管理技術　大成建設株式会社

11:05~11:10　津波浸透力の効果を考慮した防波堤腹付工の設計および施工技術
国土交通省四国地方整備局　高松港湾空港技術調査事務所

11:10~11:15　模型実験による地震時斜面崩壊開始エネルギー閾値の評価と実崩壊事例との対比
國生　剛治（中央大学名誉教授）

11:15~11:20　海底に堆積する粘土の波浪作用下における安定条件と自然含水比
熊谷　隆宏（五洋建設㈱）

11:20~11:25　The effects of block shape on the seismic behavior of dry-stone masonry retaining walls: A numerical investigation by discrete element modeling
福元　豊（長岡技術科学大学）

11:25~11:30　Study on the pore water pressure dissipation method as a liquefaction countermeasure using soil-water coupled finite deformation analysis equipped with a macro-element method　野田　利弘（名古屋大学）

11:30~11:35　A study on viscous properties and small strain characteristics of undisturbed gravelly soils　榎本　忠夫（茨城大学）

11:35~11:40　地盤汚染の封じ込めに用いられるソイルベントナイト遮水壁の空間的に連続な原位置性能評価手法の開発　髙井　敦史（京都大学）

11:40~11:45　Cyclic deformation-strength evaluation of compacted volcanic soil subjected to freeze-thaw sequence　松村　聡（港湾空港技術研究所）

11:45~11:50　閉会挨拶　大谷　順（熊本大学）

※（所属は現在）

平成28年8月北海道豪雨災害調査報告会

平成 28 年 8 月の中旬から下旬にかけて、複数の台風（7 号、9 号、10 号、11 号）が連続して日本列島に上陸し、北海道地方の広い範囲に甚大な被害をもたらしました。亡くなられた方への深い哀悼の意を表しますとともに、被災者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。（公社）地盤工学会では、本豪雨災害の社会的重要性を鑑み、北海道地方を中心とした産・官・学のメンバーからなる「平成 28 年 8 月北海道豪雨による地盤災害調査団」（団長：石川達也 北海道大学教授）を編成し、短期的・中長期的視野をもって事後の災害対策に資する現象の解明および関係機関に対する学術的助言等を行うために、被災地域の現地調査、資料の収集等の活動を行って来ました。本特別セッションは、その調査・分析結果について、報告を行います。

日　時：2017 年 7 月 13 日（木）午後 I　13:20～14:50
場　所：第 11 会場（名古屋国際会議場 1 号館 3 階 131/132）
主催委員会：平成 28 年 8 月北海道豪雨による地盤災害調査団

プログラム：

1. 被害調査概要
   石川　達也（団長、北海道大学）
2. 気象概要
   川端　伸一郎（北海道科学大学）
3. 国道 274 号・国道 38 号の被害概要と地盤工学的特徴
   木幡　行宏、川村　志麻（室蘭工業大学）
4. 道道・高速道路・鉄道の被害概要
   磯部　公一（北海道大学）
5. 河川堤防の被害と復旧の概要
   西村　聡（北海道大学）、川尻　峻三（北見工業大学）
6. 総括
   石川　達也（団長、北海道大学）
7. 質疑応答

8. 特別講演会（一般開放）

日　時　：　平成 29 年 7 月 13 日（木）
　　17 時 00 分～18 時 00 分
会　場　：　名古屋国際会議場 4 号館 1 階 白鳥ホール
講　師　：　NPO 法人ベースボールスピリッツ理事長
　　奥村 幸治　氏
演　題　：　強い組織の作り方
　　～イチロー・田中将大との出会いを通じて～

講演概要　：

プロ野球の世界で、チームを支える裏方（バッティングピッチャー）としての 4 年間の経験から強い組織をつくるポイントを知る。イチロー選手と出会ったオリックス、低迷時代の阪神、常勝チームだった西武。強いチームには理由がある。弱いチームにも理由がある。プロ野球 3 球団で 5 人の監督と複数のコーチとの経験より、裏側から見た強い組織のつくり方を伝授します。

また野球を通じて、メジャーリーガー、プロ野球選手に出会ってきました。専属打撃投手として、日本で活躍する一年前のイチロー選手をサポートしました。寮・グランド・遠征先・食事をともにすることで、イチロー選手が一流になる理由を目の当たりにし、考え方と意識、そして心・技・体のバランスがイチロー選手を支えていると肌で感じました。中学生の硬式野球クラブを結成してからは、教え子として、ニューヨークヤンキースの田中将大選手がいます。どのようにして過ごしたのか田中将大選手の原点を知っています。後のメジャーリーガーがどのような考え方をして、日々どのような行動をしていたかを実体験を交えて話します。

講師　プロフィール：

1993 年オリックス・ブルーウェーブ（現オリックス・バファローズ）にテスト入団後、翌年には後のメジャーリーガーとなるイチロー選手（マイアミ・マーリンズ）の専属打撃投手を務める。

イチロー選手が 210 安打を達成したときに、イチローの専属打撃投手を務めていたことから”イチローの恋人”としてマスコミに紹介され、それ以来、コメントを依頼されての TV 出演多数。その傍ら、自身も現役選手になる「夢」に向かい、幾度も入団テストの挑戦を行ったが、それは叶わず、1996 年に自らユニフォームを脱ぐ。

中学硬式野球チーム（宝塚ボーイズ）を結成し、監督を務める。宝塚ボーイズの教え子に田中将大（ニューヨーク・ヤンキース）、歳内宏明（阪神タイガース）がいる。

2008 年 NPO 法人ベースボールスピリッツを設立し、野球を通じて子ども達の健全な心身の成長を図るとともに幅広い世代交流、地域交流に努める。

講演は、そばにいたからこそ分かるイチロー選手が影で努力する理由やエピソードが随所に散りばめられ、また田中将大選手の強さの秘密などものぞく。野球をベースにロジカルに展開する講話は、聴講者の満足度も高い。

9. 交流会

地盤技術者や研究者の懇親を目的とした交流会を行います。お誘い合わせの上、是非ご参加ください。

日　時　：　7 月 13 日（木）18:30～20:30　（18:10 開場）
会　場　：　名古屋国際会議場 1 号館　4 階 レセプションホール
定　員　：　400 名
会　費　：　一般 7,000 円　（事前申し込み、6 月 9 日まで 6,000 円）
　　学生会員 3,000 円　（事前申し込み割引はありません）
申込方法：
事前申込み（6 月 9 日まで）されている方
事前申込み（6 月 9 日まで）をされている方は，事前に交流会参加票と領収書をお送りしております。
事前申込みをされていない方
大会初日もしくは二日目に、交流会参加受付にて、会費を現金にてお支払い願います。その際、交流会参加票を領収書とともにお渡しします。

交流会会場にご入場の際は交流会参加証をネームホルダーに入れて入口係員にご提示ください。
なお、定員に達した場合は、当日のお申し込みをお断りすることがあります。

交流会参加受付場所と受付時間

受付会場	施設名称	受付日	受付時間
総合受付	1 号館 1 階	7 月 12 日（水）	8：15～18：30
		7 月 13 日（木）	8：15～17：00
交流会会場	1 号館 4 階 レセプションホール	7 月 13 日（木）	17：00～

交流会 次第

日時： 平成 29 年 7 月 13 日（木） 18:30～20:30

場所： 名古屋国際会議場 1 号館 4 階 レセプションホール

17:00 会場前受付開始

18:10 開場

18:30 開会の辞

18:31 実行委員長挨拶

第 52 回地盤工学研究発表会実行委員長 中野 正樹
（名古屋大学大学院教授）

18:35 会長挨拶

公益社団法人地盤工学会会長 村上 章
（京都大学大学院教授）

18:40 来賓紹介

18:42 来賓挨拶

愛知県知事 大村 秀章 氏

名古屋市長 河村 たかし 氏

国土交通省中部地方整備局局長 塚原 浩一 氏

18:57 乾杯

公益社団法人地盤工学会 調査・研究部長 西村 伸一
（岡山大学教授）

20:20 次期開催地代表挨拶

第53回地盤工学研究発表会 実行委員長 長谷川 修一
（香川大学教授）

20:25 閉会の辞

公益社団法人地盤工学会中部支部支部長
第 52 回地盤工学研究発表会 実行副委員長 守屋 正平
（国土交通省中部地方整備局副局長）

（開会時刻は調整されることがございます。あらかじめご了承下さい）

10. 技術展示（一般開放）

地盤工学に関する技術の発展はめざましく、新しい施工法、材料、調査法、試験法、設計法、解析法や防災、環境保全に関する技術などが各機関で開発されています。そこで、各機関にこのような技術を紹介していただき、このコーナーで意見を交わしていただくことが、互いの技術の進歩と地盤工学・技術の発展につながると考え、「技術展示コーナー」を企画しました。

技術展示会場内には、**特別会員 PR コーナー、ドリンクコーナー、和菓子コーナー、地震体験コーナー、地盤品質判定士による住宅地盤相談コーナー、G-CPD 登録コーナー**をそれぞれ併設しています（いずれも無料）。休憩スペースも設置していますので、打ち合せや商談、休息、昼食の場としてもご利用いただけます。

7 月 12 日（水）の夕刻には、技術展示会場内で、下記のとおり**歓迎行事（ウェルカムイベント）**も実施いたしますので、ふるってご参加ください。技術展示会場への、皆様のご来場をお待ちしております。

開 催 日 ： 7 月 12 日（水）9：00～18：00　（但し、地震体験コーナーは 10:00～17:00）
7 月 13 日（木）9：00～16：40　（但し、地震体験コーナーは 10:00～16:30）
7 月 14 日（金）9：00～15：00　（但し、地震体験コーナーは 10:00～14:00）

会　場 ： 名古屋国際会議場 1 号館 1 階　イベントホール

展示内容： 72 団体による実物・模型・パネル・ビデオなどによる最新技術の展示紹介および意見交換、および地盤品質判定士による住宅地盤相談コーナー
※ 出展内容の詳細については、別冊**「技術展示のしおり」**をご覧ください。

技術展示　歓迎行事（ウェルカムイベント）

開 催 日： 7 月 12 日（水）18：00～19：00

次　第 ：

18:00　挨拶（地盤工学会会長　村上　章）
18:05　挨拶および乾杯（実行委員会委員長　中野正樹）
18:10～　歓談
18:30　中締め（中部支部長，実行委員会副委員長　守屋正平）
18:30～　歓談
19:00　閉会の辞

進行：神谷浩二（実行委員会技術展示部会）

内　容 ：
（1）記念枡の配布
（2）愛知県内の地酒の提供（ソフトドリンク，ビール有り）

出展団体一覧

番号	出展者名
1	地盤品質判定士会（地盤品質判定士による住宅地盤相談会）
2	日本ニューメリカルアルゴリズムズグループ株式会社（日本 NAG）
3	株式会社奥村組
4	日本スペースイメージング株式会社
5	静的圧入締固め工法（CPG 工法）研究会
6	ＶＳＬ協会、ブイ・エス・エル・ジャパン株式会社
7	新日鐵住金株式会社
8	エコジオ工法協会
9	奥山ボーリング株式会社，株式会社ネクスコ・メンテナンス東北
10	NEXCO 中日本グループ（中日本高速道路株式会社、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社）
11	応用地質株式会社
12	WILL 工法協会
13	株式会社ダイヤコンサルタント
14	株式会社レアックス
15	愛知県陶器瓦工業組合
16	株式会社フジタ
17	株式会社ワイビーエム
18	株式会社マルイ
19	JIP テクノサイエンス株式会社
20	ジオ・ラボネットワーク
21	大成建設株式会社
22	TRD 工法協会
23	国土交通省 中部地方整備局 名古屋港湾空港技術調査事務所
24	SUPERJET 研究会、クロスジェット協会
25	多数アンカー式補強土壁協会
26	株式会社テイコク
27	木材活用地盤対策研究会
28	ジャパンホームシールド株式会社
29	PAN WALL 工法協会
30	五大開発株式会社
31	一般社団法人セメント協会
32	株式会社地層科学研究所
33	川崎地質株式会社
34	土留部材引抜同時充填工法研究会
35	鹿島建設株式会社、ケミカルグラウト株式会社
36	株式会社エスイー

番号	出展者名
37	フロテックアンカー技術研究会
38	真空圧密ドレーン工法研究会
39	株式会社アサヒテクノ
40	株式会社メイホーエクステック
41	株式会社技研製作所
42	PC フレーム協会
43	前田工繊株式会社
44	中部電力株式会社
45	日本システム管理株式会社
46	株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング
47	中央開発株式会社
48	株式会社アーク情報システム
49	大日コンサルタント株式会社
50	株式会社不動テトラ
51	テスコ株式会社
52	計測ネットサービス株式会社
53	基礎地盤コンサルタンツ株式会社
54	東邦ガス株式会社
55	中日本建設コンサルタント株式会社
56	RRR 工法協会
57	三信建設工業株式会社
58	日鉄住金セメント株式会社
59	大起理化工業株式会社
60	国土防災技術株式会社
61	サンスイ・ナビコ株式会社
62	日本基礎技術株式会社
63	日特建設株式会社
64	既設アンカー緊張力モニタリングシステム研究会
65	株式会社大林組
66	流動化処理工法研究機構 中部支部
67	株式会社マイダスアイティジャパン
68	清水建設株式会社
69	日本国土開発株式会社
70	地盤注入開発機構
71	中部地中熱利用促進協議会、岐阜地中熱利用研究会、地下水・地下熱資源強化活用研究会
72	株式会社竹中土木
73	株式会社丸東製作所

11. 特別会員ＰＲコーナー（一般開放）

地盤工学会の特別会員の様々な技術等を紹介するパンフレット・資料を展示、配布する「特別会員PR コーナー」を設置しております。

日　時：2017 年 7 月　12 日（水）9：00～18：00
　　13 日（木）9：00～16：40
　　14 日（金）9：00～15：00
場　所：名古屋国際会議場　1 号館 1 階イベントホール（技術展示会場に併設）

特別会員 PR コーナー　出展者一覧　（出展者番号は入会順）

【1 級】

1. （株）大林組技術研究所
2. 鹿島建設（株）

【3 級】

3. 飛島建設（株）
4. 日鐵住金建材（株）
5. 中日本高速道路（株）

【4 級】

6. 東急建設（株）技術研究所
7. 大林道路（株）
8. （株）アースプライム
9. 日特建設（株）
10. 丸藤シートパイル（株）
11. 海洋工業（株）
12. 兼松サステック（株）
13. 全国マイ独楽工業会
14. （一社）北陸地域づくり協会
15. 応用地質（株）中部支社
16. エポコラム協会
17. 平成テクノス（株）
18. DJM 工法研究会
19. （有）仁平製作所
20. 川崎地質（株）
21. 前田工繊（株）
22. （株）技研製作所
23. 中林建設（株）
24. 太洋基礎工業（株）
25. （株）フジタ　名古屋支店
26. （株）ランドクラフト
27. NPO 住宅地盤品質協会
28. フジサンケイビジネスアイ
29. （一社）気泡工法研究会
30. （一社）GRID WALL 工法協会

特別会員 PR コーナー　出展目録

【1 級】

1. （株）大林組技術研究所
   1) ジオフレックスビーム工法
   2) CO2 貯留技術

2. 鹿島建設（株）
   1) 凍土方式陸側遮水壁工事　福島第一原子力発電所｜汚染水対策
   2) 100 年をつくる会社　KAJIMA CORPORATION

【3 級】

3. 飛島建設（株）
   1) 丸太打設液状化対策＆カーボンストック（LP-LiC）工法のパンフレット
   2) 丸太打設液状化対策＆カーボンストック（LP-LiC）工法の概要書

4. 日鐵住金建材（株）
   1) 長尺貫入可能な押出式排水パイプ　テレスコドレーンパイプカタログ
   2) 斜面対策工　Geo ベルトカタログ

5. 中日本高速道路（株）
   1) 中日本レポート 2017

【4 級】

6. 東急建設（株）技術研究所
   1) 2016 年 CSR 報告書
   2) 技術研究所報 No.42

7. 大林道路（株）
   1) e グース(改質グースアスファルト舗装)
   2) IH 式舗装撤去工法

8. （株）アースプライム
   1) 会社案内

9. 日特建設（株）
   1) NITTOC2017
   2) 会社案内（仮称）

10. 丸藤シートパイル（株）
   1) ランドクロス　仮設橋梁
   2) Hyper（ハイパー）桟橋

11. 海洋工業（株）
   1) 動圧密広報
   2) リフューズプレス工法

12. 兼松サステック（株）
   1) ジオテック事業部概要
   2) 環境パイル＆LP-LiC 工法カタログ

13. 全国マイ独楽工業会
   1) トップベース工法カタログ
   2) 液状化対策パンフレット（予定）

14. （一社）北陸地域づくり協会
   1) ほくりく地盤情報システムパンフレット
   2) W/C ミータ MT-400 パンフレット

15. 応用地質（株）中部支社

1) 樹木診断サービス

16. エポコラム協会

1) 平成 28 年版　先端建設技術・技術審査証明概要書
2) 土木施工単価

17. 平成テクノス（株）

1) JOG 工法カタログ

18. DJM 工法研究会

1) DJM カタログ
2) DJM 技術マニュアル

19. （有）仁平製作所

1) 自動式地盤調査機
2) レキ層用偏芯治具

20. 川崎地質（株）

1) 技術カタログ 1
2) 技術カタログ 2

21. 前田工繊（株）

1) アデムウォール工法
2) KABUTO 工法

22. （株）技研製作所

1) 50th ANNIVERSARY リーフレット
2) 「ケースでわかる災害対策」抜粋リーフレット

23. 中林建設（株）

1) 全天候フォレストベンチ工法パンフレット
2) 全天候フォレストベンチ工法施工事例集

24. 太洋基礎工業（株）

1) 会社案内（総合カタログ）

25. （株）フジタ　名古屋支店

1) フジタの環境技術
2) トンネル CIM と覆工コンクリート施工管理システム

26. （株）ランドクラフト

1) ソイルキャッチャー・地下水チェイサーのカタログ

27. NPO 住宅地盤品質協会

1) 協会誌「住品協だより vol.12」

28. フジサンケイビジネスアイ

1) 展示会「地盤技術フォーラム」ご案内パンフレット

29. （一社）気泡工法研究会

1) AWARD 工法　気泡工法

30. （一社）GRID WALL 工法協会

1) 液状化対策工法

12. サロン・土・カフェW（一般開放）

日　時　：2017 年 7 月 12 日（水）15:10～16:40
場　所　：名古屋国際会議場 2 号館 3 階ロビー
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
参加費用　：300 円(当日、会場で徴収いたします。お菓子の持ちこみ大歓迎)

内　容

男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会では、学会を多様な人材の宝庫と捉え、“多様な人材の個性を価値として活かし、それぞれが実力を発揮できる文化や環境の構築”であるダイバーシティの推進のための活動を行っております。

上記の活動の一環であるサロン・土・カフェWは、地盤工学研究発表会の行事の一つとして毎年好評をいただいており、今年も開催いたします。地盤工学に携わる方たちが、お茶とお菓子をいただきながら、リラックスした雰囲気で意見交換などを行い、人と人との繋がりを深めることを目的としています。

元来、会員全体のわずか 3%を占める女性会員を対象としておりましたが、近年では、老若男女を問わずダイバーシティに関心のあるたくさんの方の交流の場となっております。地盤工学会の会員・非会員に拘わらず、少しでも興味のある方は気軽にご参加ください。

昨年度の岡山大会のサロン・土・カフェ W に参加してくださった皆様

男女、世代、出身国の違いを越えて、熱く語り合っています。

特別セッション（一般開放セッション・参加無料）

『地盤工学会におけるダイバーシティの実現』のご案内

（☞プログラム詳細は P.36 をご覧ください）

日　時：2017 年 7 月 12 日（水）午後 I　13:20～14:50
会　場：第 10 会場（名古屋国際会議場 2 号館 3 階 234(b)）
主催委員会：男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会
共　催：公益社団法人土木学会，一般社団法人土木技術者女性の会
後　援：男女共同参画学協会連絡会
座　長：田中　真弓（前委員長、鹿島建設株式会社）

13. 見学会

(a) 会員用見学会

会員用見学会に関する情報はメールニュースにて配信しております。
（キャンセル方法は、市民向け見学会の参加キャンセル時の連絡先を参照ください）

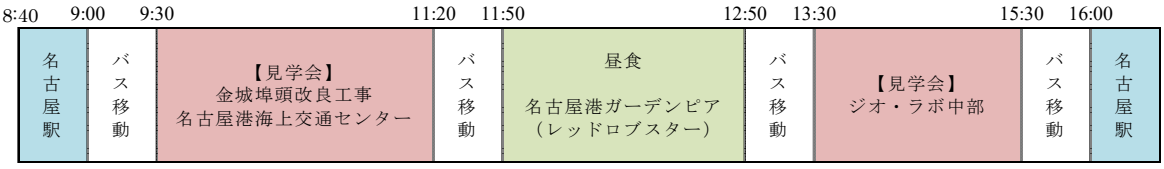
(b) 市民向け見学会（会員も参加可）

一般の見学ツアーにはない地盤工学会ならではの見学箇所を盛り込んだ市民向けの見学会（会員も参加可）を下記の通り実施します。

【くらしの見学会】陸と海と暮らしをつなぐ金城ふ頭・地盤体験

市民向け見学会では、金城ふ頭とジオ・ラボ中部を見学いたします。
金城ふ頭ではターミナル機能を強化するために実施中の、岸壁を水深 10m から 12m に深くする工事を見学予定です。名古屋港の管制塔である名古屋港海上交通センターに登り、名古屋港を見渡すことも予定しています。ジオ・ラボ中部では、名古屋地盤に関する知識を学び、地盤に関する実験施設を見学する予定です。

日　時：7 月 15 日（土）
定　員：30 名程度
行　程：下記を予定しております。



集　合：8:40　JR 名古屋駅新幹線口側の噴水付近
解　散：名古屋駅
備　考：荒天時や台風等で警報が発令された場合など、参加者の安全の確保が困難と判断される場合は、見学会を中止いたします。

下図の JR 名古屋駅新幹線口側の噴水付近に集合してください

申し込み：
- 平成 29 年 6 月 16 日（金）募集締切
- 往復はがきにて地盤工学会中部支部にお申し込みください。

（詳細は、第 52 回地盤工学研究発表会ホームページ：
http://www.knt.co.jp/ec/2017/52jiban/
にてご確認ください）

服装・所持品など：

- 汚れても良い服装でお越しください。
- 工事現場は屋外ですので、飲み物や帽子の用意など熱中症対策をお願いいたします。
  見学会は 1 日で，昼食が含まれますので持参不要です。

参加キャンセル時の連絡先：

- 7 月 11 日（火）よりも前のキャンセルは地盤工学会中部支部までご連絡ください。
- 7 月 11 日（火）以降におけるキャンセルは総合受付まで直接お越し頂くか、
  jgschubu@gmail.com までご連絡ください（11 日よりも前にキャンセルされる場合は、このアドレスに連絡しないようにしてください）。

市民向け見学会に関するお問い合わせ先：

（公社）地盤工学会中部支部
「地盤工学会中部支部・市民見学会」事務局
TEL：052-222-3747 / FAX：052-222-3773
E-mail：jibanchu@jeans.ocn.ne.jp

14. インターネット接続

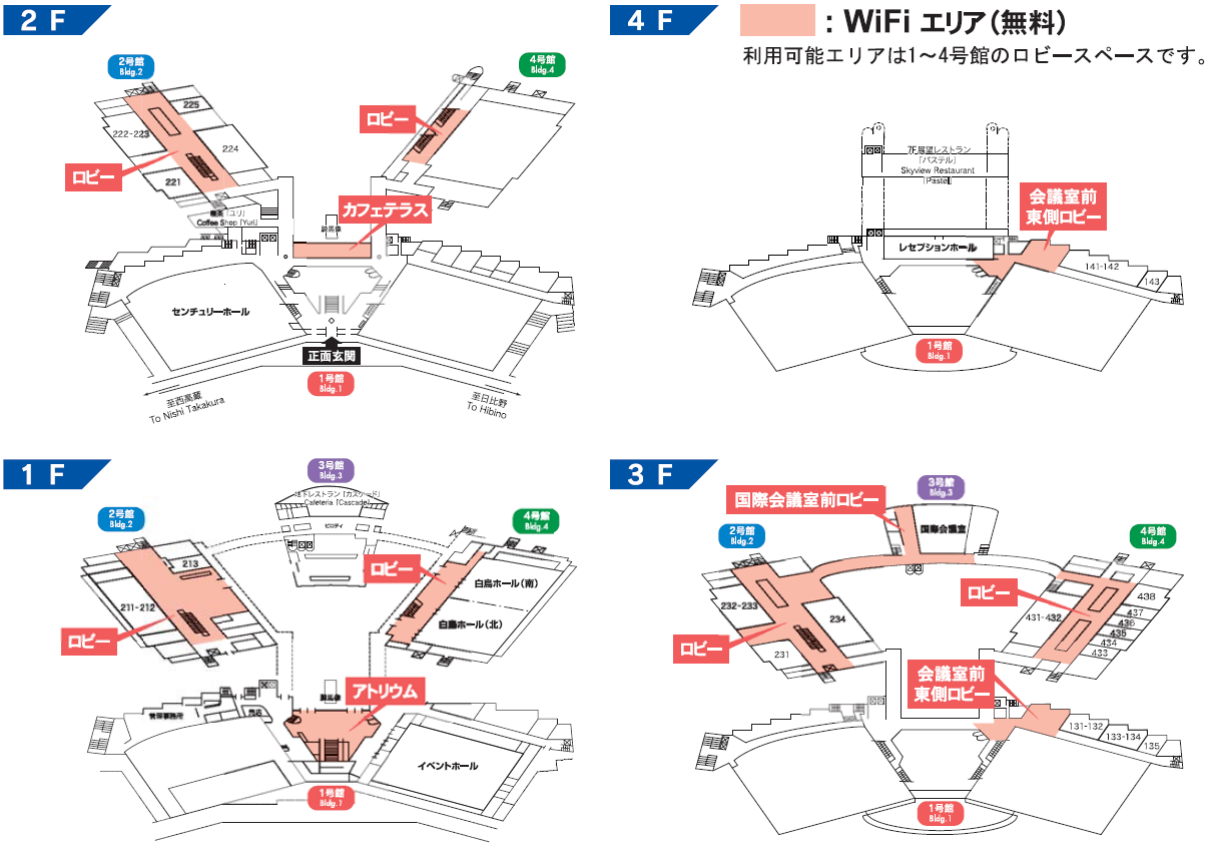
名古屋国際会議場では、下記のエリアで無線 LAN がご利用になれます。

SSID（ネットワークID） ncc

プロバイダ契約や公衆無線LAN契約は必要ありません。

ご持参の端末の無線LAN機能を設定することによりご利用可能です。
（設定方法は機種ごとに異なりますので、利用者ご自身でご対応ください）

※ パスワードは必要ありません。



無線 LAN エリアマップ

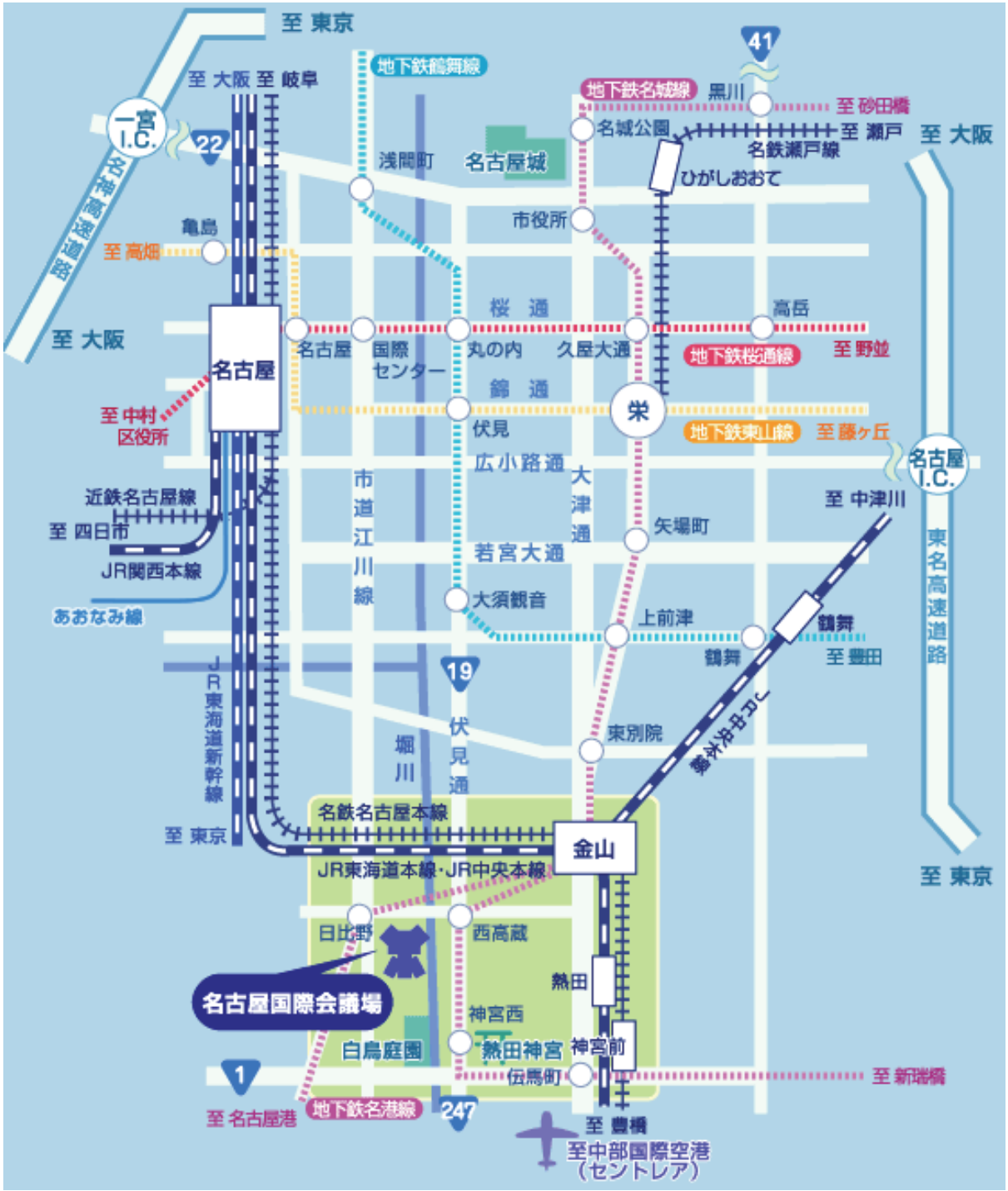
15. 交通案内

研究発表会の会場に関する情報を以下にお示しします。(以下の情報は、名古屋国際会議場のホームページから得たものです。)

会　場：　名古屋国際会議場
住　所：　〒456-0036　名古屋市熱田区熱田西町 1 番 1 号
ＴＥＬ：　052-683-7711
ＦＡＸ：　052-683-7777

(1) 周辺マップ

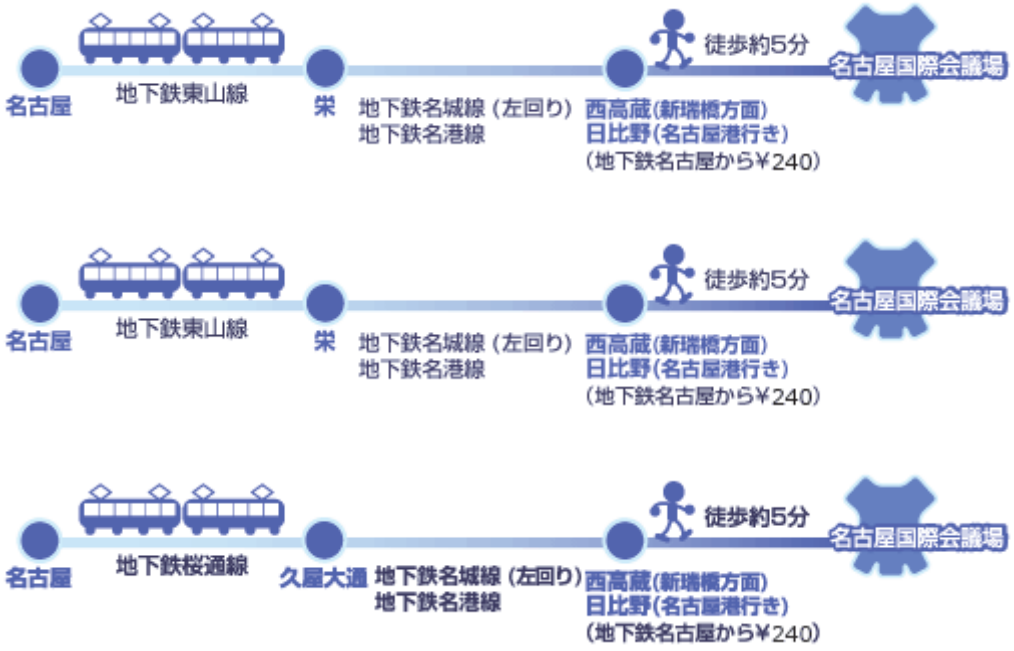
(2) 広域マップ



至 東京
至 大阪 至 岐阜
一宮 I.C.
22
名神高速道路
地下鉄鶴舞線
浅間町
名古屋城
地下鉄名城線
黒川
41
至 砂田橋
名城公園
至 瀬戸
名鉄瀬戸線
ひがしおおて
至 大阪
市役所
亀島
至 高畑
桜 通
高岳
至 大阪
名古屋
名古屋
国際センター
丸の内
久屋大通
地下鉄桜通線
至 野並
錦 通
栄
至 中村区役所
伏見
地下鉄東山線
至 藤ヶ丘
名古屋 I.C.
広小路通
大津通
市道江川線
近鉄名古屋線
至 四日市
JR関西本線
あおなみ線
至 中津川
矢場町
若宮大通
東名高速道路
大須観音
上前津
鶴舞
鶴舞
至 豊田
19
JR東海道新幹線
伏見通
堀川
東別院
JR中央本線
名鉄名古屋本線
至 東京
金山
JR東海道本線・JR中央本線
至 東京
日比野
西高蔵
熱田
名古屋国際会議場
神宮西
白鳥庭園
熱田神宮
神宮前
伝馬町
至 新瑞橋
1
至 名古屋港
地下鉄名港線
247
至 豊橋
至中部国際空港
(セントレア)

(3) 名古屋国際会議場までのアクセス

名古屋駅から (所要時間約20分)

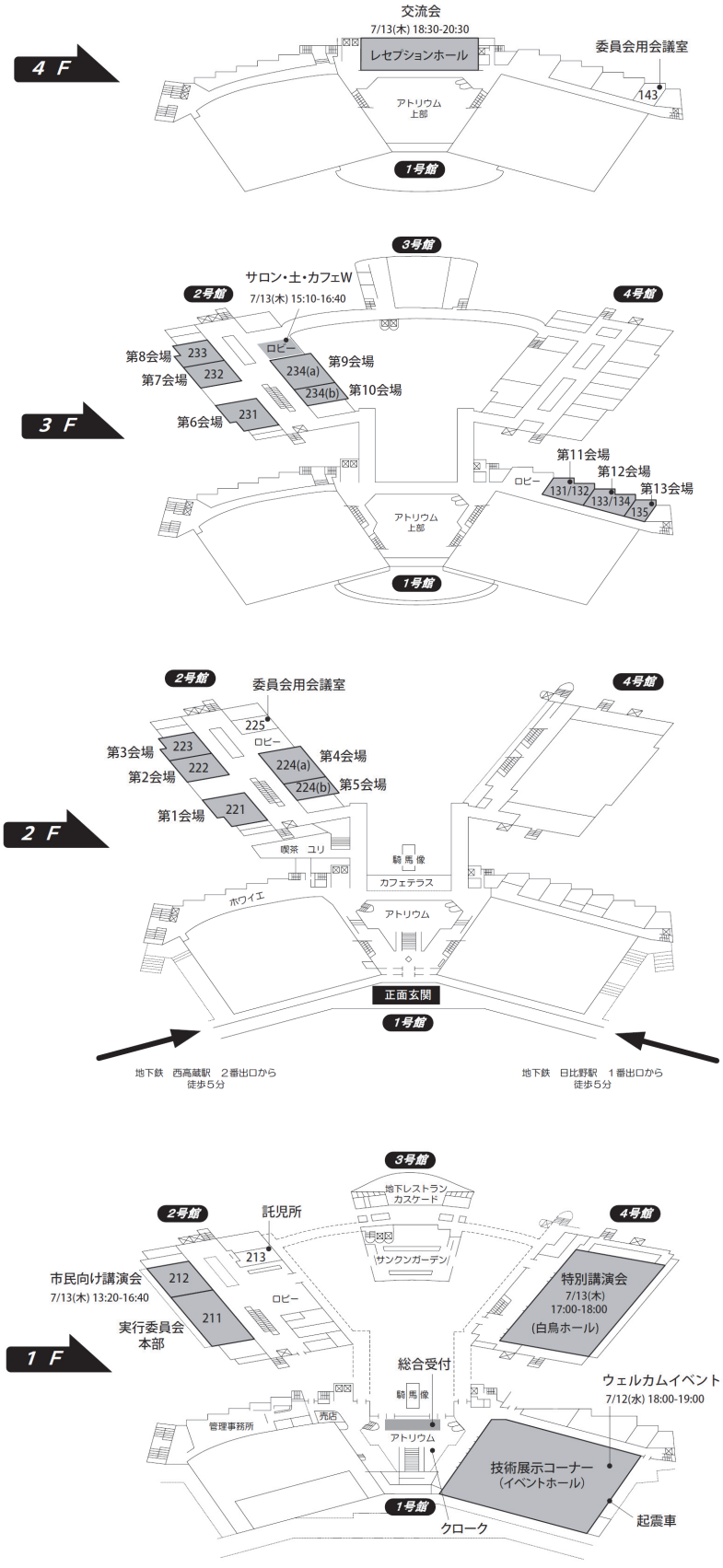


中部国際空港（セントレア）から (所要時間約40分)

名古屋空港から (所要時間約50分)

※ 会場へは公共交通機関をご利用ください。

名古屋国際会議場　〒456-0036　名古屋市熱田区熱田西町１番１号　ＴＥＬ：052-683-7711



主　催

公益社団法人
地盤工学会
https://www.jiban.or.jp

後　援　国土交通省中部地方整備局，愛知県，岐阜県，三重県，名古屋市